

平成23年度

名古屋市立大学大学院薬学研究科

自己点検・評価報告書

2011

## 目 次

- 1 平成23年度博士(薬学)学位取得者
- 2 平成23年度薬学修士学位取得者
- 3 平成23年度薬学部でなされた講演会、研究会、シンポジウム
- 4 研究業績目録(2011年1月から2011年12月)
- 5 科学研究費等補助金
- 6 学外との共同研究等
- 7 新聞報道等
- 8 進路および就職状況
- 9 薬学部在籍者名簿

# 1 平成23年度博士(薬学)学位取得者

薬博第 274 号

平成 23 年 3 月 31 日

村井 雅子

荷電コロイド結晶化に対する拡散泳動および沈降の影響に関する研究

(主査) 平嶋 尚英 教授

(副査) 山中 淳平 教授 (副査) 尾関 哲也 教授

(副査) 樋口 恒彦 教授 (副査) 奥藺 透 准教授

薬博第 275 号 平成 23 年 3 月 31 日

丹羽 里実

前立腺疾患におけるイオンチャネルの機能解析

(主査) 藤井 聡 教授

(副査) 今泉 祐治 教授 (副査) 木村 和哲 教授

(副査) 大澤 匡弘 准教授 (副査) 大矢 進 准教授

薬博第 276 号 平成 24 年 3 月 23 日

池田 麻美子

核内選択的レドックスイメージングのための蛍光団含有ニトロキシドの開発

(主査) 樋口 恒彦 教授

(副査) 宮田 直樹 教授 (副査) 中村 精一 教授

(副査) 瀧井 猛将 准教授 (副査) 中川 秀彦 准教授

薬博第 277 号 平成 24 年 3 月 23 日

菱川 和宏

二光子励起作動型一酸化窒素供与剤の開発と生体応用

(主査) 木村 和哲 教授

(副査) 宮田 直樹 教授 (副査) 梅澤 直樹 教授

(副査) 池田 慎一 准教授 (副査) 中川 秀彦 准教授

薬博第 278 号 平成 24 年 3 月 23 日

田原 耕平

生分解性微粒子の siRNA デリバリーシステムへの応用とマスト細胞への影響

(主査) 尾関 哲也 教授

(副査) 平嶋 尚英 教授 (副査) 林 秀敏 教授 (副査) 井上 勝央 准教授

薬博第 279 号 平成 24 年 3 月 23 日

吉澤 幸樹

荷電コロイド2成分混合系の相挙動の研究

(主査) 平嶋 尚英 教授

(副査) 山中 淳平 教授 (副査) 尾関 哲也 教授

(副査) 林 秀敏 教授 (副査) 奥菌 透 准教授

薬博第 280 号 平成 24 年 3 月 23 日

岸本 圭史

肺形成ならびに骨形成における脂肪細胞分化関連遺伝子 fad104 の役割の解明

(主査) 服部 光治 教授

(副査) 今川 正良 教授 (副査) 小野寄 菊夫 教授 (副査) 田中 正彦 准教授

薬博第 281 号 平成 24 年 3 月 23 日

田中 広治

MALDI-TOF MS を用いたスフィンゴ脂質の網羅的分析方法の確立と応用

(主査) 藤井 聡 教授

(副査) 鶴見 達也 客員教授 (副査) 加藤 晃一 教授 (副査) 樋口 恒彦 教授

薬博第 282 号 平成 24 年 3 月 23 日

永利 麻衣

植物機能性成分の生合成に関わる新規配糖化酵素の単離と機能解析

(主査) 星野 真一 教授

(副査) 水上 元 教授 (副査) 中川 秀彦 准教授 (副査) 佐藤 匡史 准教授

薬博第 283 号 平成 24 年 3 月 23 日

保嶋 智也

蛍光性物質を活用したトランスポーターの機能評価及び機能探索

(主査) 今泉 祐治 教授

(副査) 湯浅 博昭 教授 (副査) 頭金 正博 教授 (副査) 牧野 利明 准教授

薬博第 284 号 平成 24 年 3 月 23 日

堀田 祐志

両側内腸骨動脈結紮に伴う勃起障害および膀胱機能障害に対する vardenafil 連日投与の効果について

(主査) 小野 秀樹 教授

(副査) 木村 和哲 教授 (副査) 今泉 祐治 教授 (副査) 藤井 聡 教授

薬博第 285 号 平成 24 年 3 月 23 日

小谷 仁司

生薬の有効利用を目指した天然由来核内受容体リガンドの探索と機能解析

(主査) 小野 秀樹 教授

(副査) 水上 元 教授 (副査) 宮田 直樹 教授 (副査) 井上 勝央 准教授

## 2 平成23年度薬学修士学位取得者

小笹 弘貴 (薬化学)

リガンド-タンパク質間の CH $\cdots$ O 水素結合に関する研究および PHF8 選択的阻害薬の創製

粕谷 侑輝 (薬化学)

クリックケミストリーを用いた HDAC3 選択的阻害薬の創製

河合 翔太 (薬化学)

NO 放出時に蛍光増大を伴うクマリン型新規光作動性 NO ドナーの開発

田中 裕子 (薬化学)

部位特異的な一重項酸素検出を目指したオルガネラ局在性 TMP 誘導体の開発

北尾 考史 (精密有機反応学)

ペプチドタグと選択的に結合する蛍光試薬の開発：タンパク質の蛍光標識をめざして

渡辺 二規 (精密有機反応学)

Scholarisine A の合成研究

大橋 令 (生体超分子システム解析学)

小脳プルキンエ細胞の樹状突起形成におけるリアノジン受容体の役割

小森 和紀 (コロイド・高分子物性学)

視覚化手法によるコロイド系の相転移及び相分離過程の研究

菅生 行紘 (コロイド・高分子物性学)

大型・高品質コロイド結晶を用いたチューナブル光学材料の作製と応用

谷地 知大 (コロイド・高分子物性学)

塩基拡散に伴う格子面間隔の不均一性の研究

宇野 剛 (生命分子構造学)

バイセルを用いたガングリオシドと  $\alpha$ -シヌクレインの NMR 相互作用解析

山本 さよこ (生命分子構造学)

分子動力学計算と常磁性 NMR 法を用いた糖鎖の動的立体構造解析法の構築

伊佐 憲吾 (分子生物薬学)

TCL/TC10 $\beta$ L 欠損マウスの樹立と解析

落合 なつき (分子生物薬学)

Fad24 過剰発現がマウス組織形態に与える影響の解析および fad24 欠損マウスの樹立と解析

福重 香 (薬物送達学)

siRNA 封入脂質ナノパーティクルの物性評価とヒアルロン酸を用いた効率的な siRNA デリバリーシステムの開発

梶田 梨恵 (生薬学)

和漢生薬に含まれる細胞致死活性成分の探索

島戸 陽太 (生薬学)

白朮と蒼朮の薬能の違いに関する研究



～RAW264.7細胞を用いた抗炎症作用の比較～

谷口 恵一（生体防御機能学）

自然加齢マウスにおける結核ワクチン *Mycobacterium bovis* BCG の有効性の解析

横山 領介（生体防御機能学）

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL3 の標的分子の探索とその生理的意義の検討

成瀬 貴文（遺伝情報学）

脊髄小脳変性症の原因遺伝子 Ataxin-2 の生理機能

丸山 史登（細胞分子薬効解析学）

腎動脈結紮高血圧モデルマウスにおける血管径制御機構に対する内向き整流性 K<sup>+</sup>チャンネル(K<sub>ir</sub>2.1)の寄与

木谷 友次朗（病態生化学）

脳の形成と機能に必須な分泌タンパク質リーリンの C-t site 切断機構に関する研究

田頭 大志（病態生化学）

難読症関連遺伝子 KIAA0319 による神経細胞形態制御の分子機構の解明

大久保 雅彦（薬物動態制御学）

ラット小腸における SMCT 様トランスポーターによるニコチン酸輸送の解析

西嶋 千尋（薬物動態制御学）

腸管での urate 動態に関わるトランスポーターの機能及び役割と種差

林 里佳（薬物動態制御学）

PCPT の prostaglandin E<sub>2</sub> 輸送機能の解析

智谷 尊史（病態解析学）

スフィンゴシン誘導体がグルコシルセラミドの代謝に与える影響の解析

野口 祐美子（医薬品代謝解析学）

Smad3 欠損マウス由来 MEF を用いた脂肪細胞分化に関する研究

宮嶋 ちはる（医薬品代謝解析学）

pseudokinase TRB1 の T 細胞における発現制御とその機能に関する研究

王 曉慧（医薬品代謝解析学）

生薬抽出物によるストレス誘導性分子 TRB3 の発現誘導に関する研究

楽 怡（医薬品代謝解析学）

TGFβによる成熟白色脂肪細胞の大型脂肪滴の減少効果に関する研究

大竹 沙紀（中枢神経機能薬理学）

Oxaliplatin 誘発性神経障害の発症予防に関する研究

倉岡 聖哉（中枢神経機能薬理学）

成熟マウス脊髄後角 glycine 性シナプス伝達に対する glycine 取り込み阻害の影響  
柵木 悠 (中枢神経機能薬理学)

ラット脊髄後角 C-線維誘発性集合電位の長期増強に対する oxytocin の作用

### 3 平成23年度薬学部でなされた 講演会、研究会、シンポジウム

■平成24年度入試大学院説明会

開催日：平成23年5月22日（日）

場 所：薬学部 薬友会館 水野ホール

研究科長挨拶 宮田直樹研究科長

大学院概要 今泉祐治教授

研究概要 山中淳平教授

頭金正博教授

鶴見達也客員教授

道川誠客員教授

川西客員教授

佐藤陽治客員准教授

大学院における生活

修了後の進路

博士前期課程入試についての説明

博士課程設置・博士後期課程改組についての考え方

各研究室での個別面談についての相談・案内

施設説明と見学案内・および閉会

学生代表

星野真一教授

湯浅博昭教授

平嶋尚英教授

樋口恒彦教授

樋口恒彦教授

## ■平成23年度薬学部オープンキャンパス

開催日：平成23年8月6日（土）

場 所：薬学部図書館講堂

大学紹介ビデオの上映

薬学部の紹介（特色と使命・入試）

薬学部教育について

就職・進路状況について

学生生活について

宮田直樹薬学部長

樋口恒彦教授

星野真一教授

学生代表

模擬講義（午前）

模擬講義（午後）

保護者説明会

キャンパス案内

個別相談

服部光治教授

水上元教授

林秀敏教授

大学院生

教員

## ■第61回名古屋市立大学薬学祭

開催日：平成23年10月29日（土）・30日（日）

場 所：薬学部図書館講堂

講演会名：「あっぱれ薬学大先生」

講師名：宮崎仁志

所 属：名古屋市衛生研究所食品部主任研究員

演 題：食品中の放射性物質の検査

講師名：瀧井猛将

所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科 生体防御機能学分野 准教授

演 題：魔法の弾丸をもとめて～人類史上最大の感染症、結核を打ち抜く魔法の弾丸～

講師名：服部光治

所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科 病態生化学分野 教授

演 題：サプリメントと生活改善薬

講師名：鈴木匡

所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科 臨床薬学分野 教授

演 題：新しい薬学部と新しい薬剤部業務

■平成23年度秋のオープンキャンパス（第61回名古屋市立大学薬学祭と同時開催）

開催日：平成23年10月29日（土）・30日（日）

場 所：薬学部図書館講堂

説明者：29日（午前）中川秀彦准教授 （午後）服部光治教授

30日（午前）林秀敏教授 （午後）瀧井猛将准教授

大学紹介ビデオの上映

薬学部の紹介（特色と使命・入試）

薬学部教育について

就職・進路状況について

質疑応答

個別相談

■平成23年度薬学系業界説明会

開催日：平成23年11月28日（月）

場 所：薬学部 薬友会館 水野ホール

創薬・医療用医薬品について  
治験について  
株式会社

第一三共株式会社  
サイトサポート・インスティテュート

一般用医薬品について

ロート製薬株式会社

■平成23年度キャリア支援講演会

開催日：平成23年12月5日（月）

場 所：薬学部 薬友会館 水野ホール

開会挨拶

星野真一 薬学研究科就職委員長

「企業が求める人材」  
研究センター 加藤直人

旭化成ファーマ株式会社 医薬研

「病院薬剤師の業務について」

豊橋市民病院 薬局 町支優和

「患者様の笑顔を目標に～製薬会社の使命と創薬研究～」

エーザイ株式会社人材開発部

新庄浩子

「薬業界で働く薬剤師～先輩達の仕事を知ろう～」株式会社スズケン 坂明展

「製薬企業における医薬品開発について～臨床開発業務を中心に～」

大鵬薬品工業株式会社 砂原良

平

「病院への就職及び病院での薬剤師・看護師の役割について」

社団法人全国社会保険協会連合会奈良社会保険病

院 看護部 村井麻里子

閉会挨拶  
職委員長

中西真 医学研究科修士課程就

■名古屋市立大学－国立医薬品食品衛生研究所 連携大学院発足&名古屋市立大学

大学院薬学研究科

医薬品質保証学分野・医薬品安全性評価学分野発足 公開シンポジウム

開催日：平成23年7月16日（土）

場 所：大学院薬学研究科 研究棟2階会議室

主 催：名古屋市立大学 大学院薬学研究科

共 催：名古屋市立大学東海薬剤師生涯学習センター

開会の挨拶  
長・学長

戸苅創 名古屋市立大学理事

「レギュラトリーサイエンスと国立衛研」  
研究所 所長

大野泰雄 国立医薬品食品衛生

「医薬品の品質保証に求められるもの：製剤の特性評価、製造及び管理」

奥田晴宏 名古屋市立大学大学院薬学研究科 医薬品質保証学分野 客  
員教授

国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 部長

「医薬品安全性評価研究の新しいトレンド：より安全・安心な医療薬物治療を目指  
して」

頭金正博 名古屋市立大学 大学院薬学研究科 医薬品安全性評価学分  
野 教授

「細胞の品質：再生医療/細胞治療/細胞・組織加工医薬品の開発状況と展望」

佐藤陽治 名古屋市立大学 大学院薬学研究科 医薬品質保証学分野  
客員准教授

国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子細胞医薬部 室長

閉会の挨拶  
大学院薬学研究科長

宮田直樹 名古屋市立大学 大

■名古屋市立大学 大学院薬学研究科 創薬基盤科学研究所 設立記念シンポジウム

開催日：平成23年11月12日（土）

場 所：大学院薬学研究科 薬友会館 水野ホール

主 催：名古屋市立大学 大学院薬学研究科

開会の挨拶  
大学院薬学研究科長

宮田直樹 名古屋市立大学 大

「日本のアカデミアにおける創薬オープンイノベーション」

長野哲雄 東京大学 創薬オープンイノベーションセンター長  
東京大学 薬学系研究科 教授

「製薬企業からの提言：創薬イノベーションと人材の育成」

近藤裕郷 塩野義製薬株式会社 執行役員 信頼性保証本部長  
日本薬学会 医薬化学部会長

「大学における創薬研究に望む：医薬品審査の立場から」

内海英雄 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 理事・審査  
センター長

「大学における創薬研究：医療の立場から」

上田龍三 名古屋市病院局長  
名古屋市立大学 顧問 病院連携理事 名誉教授・特任  
教授

総合討論

閉会の挨拶

平嶋尚英 名古屋市立大学 創薬基盤科学研究所長  
名古屋市立大学 大学院薬学研究科 副研

究科長

#### ■春の薬草園市民公開

開催日：平成23年5月13日（金）・5月14日（土）

場 所：薬学部 薬草園・薬友会館 水野ホール

#### ■秋の薬草園市民公開

開催日：平成23年10月14日（金）・10月15日（土）

場 所：薬学部 薬草園・薬友会館 水野ホール

#### ■平成23年度 市民公開講座 統一テーマ：“今”を学び豊かに生きよう！

《第2講座》 病気の診断・治療に貢献する科学（3講演）

開催日：平成23年10月15日（土）

場 所：薬学部薬友会館水野ホール



講師名：前田康博

所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科 病院薬剤学分野 講師

演題：発症前に病気を診断予測する

講師名：梅澤直樹

所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科 精密有機反応学分野 准教授

演題：薬の「かたち」を考える：どんな分子がくすりになるか？

講師名：山中淳平

所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科 コロイド・高分子物性学分野 教授

演題：ナノ粒子とその医薬領域への応用

#### ■東海薬剤師生涯学習センター講座

講義コース(三公立連携薬剤師生涯学習支援講座)

平成23年 6月1日(水) 20:00~21:30

名市大 頭金 正博 名古屋市立大学薬学部教授

「医薬品の安全性確保とレギュラトリー・サイエンス」

平成23年6月15日(水) 20:00~21:30

岐阜薬科大学 岸田 修一 岐阜薬科大学客員教授/前厚生労働省大臣官房審議官

「薬剤師を取り巻く状況と薬剤師への期待」

平成23年7月13日(水) 20:00~21:30

静岡県大 前田 利男 静岡県立大学准教授

「2型糖尿病の治療戦略—DPP-4 阻害薬の有用性を中心として」

平成23年8月10日(水) 20:00~21:30

名市大 大澤 匡弘 名古屋市立大学薬学部准教授

「エビデンスに基づいて向精神薬を使い分ける！」～薬理的視点から薬剤師ならではの判断を下す～

平成23年9月14日(水) 20:00~21:30

岐阜薬科大学 保住 功 岐阜薬科大学・薬物治療学教授

「高齢者の薬物療法」

平成24年10月12日(水) 20:00~21:30

静岡県大 中野 眞汎 静岡県立大学客員教授、熊本大学名誉教授

「ヘルシンキ宣言を理解して臨床研究推進・臨床試験審査に役立てる」

平成23年11月16日(水) 20:00~21:30

名市大明石 恵子 名古屋市立大学看護学部教授

「フィジカルアセスメントの基本」

平成23年12月14日(水) 20:00~21:30

岐阜薬大 稲葉 幸二 岐阜県保険医協会理事(いなば歯科医院)

「薬剤師さんに知ってもらいたい歯医者のお仕事」

平成23年1月11日(水) 20:00~21:30

静岡県大 山田 浩 静岡県立大学薬学部教授

「機能性食品の有効性と安全性評価」

■生涯学習センター連携講座 第27回(2011年)名古屋市立大学薬学部卒後教育講座

9月期

平成23年9月11日(日) 9:30~11:00 名市大薬学研究科図書館講堂

服部 正巳 愛知学院大学歯学部 高齢者歯科学講座主任教授・附属病院口腔金属アレルギー外来科長

「歯科領域における金属アレルギーの診断と治療」

平成23年9月11日(日) 11:20~12:50 名市大薬学研究科図書館講堂

渡邊 正 公立学校共済組合東海中央病院 病院長

「緩和医療の意義と役割」

10月期

平成23年10月16日(日) 9:30~11:00 名市大薬学研究科図書館講堂

土肥 靖明 名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学分野 准教授

「合剤は降圧治療を変えるか」

平成23年10月16日(日) 11:20~12:50 名市大薬学研究科図書館講堂

尾関 哲也 名古屋市立大学大学院薬学研究科 薬物送達学分野教授

「創薬を支える薬物送達システム」ー最適な薬物治療をめざした創剤研究ー

11月期

平成23年11月6日(日) 9:30~11:00 名市大薬学研究科図書館講堂

加藤 久美子 名古屋第一赤十字病院 女性泌尿器科 部長

「女性泌尿器科の最新医療－尿失禁と骨盤臓器脱」

平成23年11月6日(日) 11:20~12:50 名市大薬学研究科図書館講堂

小鹿 幸生 名古屋市立大学大学院医学研究科 神経内科学分野 教授

「認知症の全て(治療薬の現在と未来)」

## ■実習・演習コース

「問診の技法」

平成23年12月8日(木) 19:00~21:00 名市大薬学部実習棟 OSCE 室

藤井 聡 名古屋市立大学薬学部病態解析学 教授

「よくある症状 その1 頭痛」

平成23年12月15日(木) 19:00~21:00 名市大薬学部実習棟 OSCE 室

藤井 聡 名古屋市立大学薬学部病態解析学 教授

「よくある症状 その2 胸痛」付録：携帯心電計で分かることの実習

平成24年1月12日(木) 19:00~21:00 名市大薬学部実習棟 OSCE 室

藤井 聡 名古屋市立大学薬学部病態解析学 教授

「よくある症状 その3 発熱」

平成24年1月19日(木) 19:00~21:00 名市大薬学部実習棟 OSCE 室

藤井 聡 名古屋市立大学薬学部病態解析学 教授

「よくある症状 その4 腹痛」

## ■「薬剤師のための臨床心理学演習」名市大薬学部実習棟

大脇 真奈春日井市民病院・大阪大学人間科学研究科 臨床心理士

(チューター) 渡邊 啓介 春日井市民病院 臨床心理士

横木 由美子 愛知学院大学学生相談室 臨床心理士

平成23年8月20日(土) 15:00~17:30 非言語コミュニケーション①

平成23年9月24日(土) 15:00~17:30 非言語コミュニケーション②

平成23年10月1日(土) 15:00~17:30 緊張・リラクゼーション

平成23年11月5日(土) 15:00~17:30 がん患者会からの話

平成24年1月7日(土) 15:00~17:30 ブリーフサイコセラピー

平成24年2月4日(土) 15:00~17:30 インクルーシブセラピー

平成24年3月3日(土) 15:00~17:30 演習のまとめ

■「初心者パソコン/グミ製剤/無菌操作 実習」

愛知県薬剤師会生涯学習特別委員会企画(名古屋市立大学東海薬剤師生涯学習センター 協力)

平成23年7月31日(日) 13:00~17:00 名市大薬学部実習棟 CBT 室

名古屋市立大学薬学部臨床薬学教育研究センター 教授

「①初心者のためのパソコンを利用したEラーニング教室」

平成23年8月28日(日) 13:00~17:00 名市大薬学部実習棟 模擬薬局

静岡県立大学薬学部 教授

薬局でもできるグミ調剤「飲みにくい薬を飲みやすくする工夫」

平成23年9月25日(日) 13:00~17:00 名市大薬学部実習棟 CBT 室

名古屋市立大学薬学部臨床薬学教育研究センター 教授

「②初心者のためのパソコンを利用した医薬品情報の活用」

平成23年12月18日(日) 13:00~17:00 名市大薬学部実習棟 模擬薬局

名古屋市立大学薬学部臨床薬学教育研究センター 教授

在宅で必要な注射薬の手技を学ぶ「あなたは正しい手洗いができますか」

■特別講演会, 研究会, シンポジウム

開催日: 平成23年6月9日

講演会名: 日本薬学会東海支部特別講演会

講師名：宍戸 宏造 教授  
所属：徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部  
演題：分子内 Oxy-Michael 反応における配座制御と天然物合成への展開  
世話分野：薬化学分野

開催日：平成 23 年 6 月 9 日  
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会  
講師名：Duy H. Hua 教授  
所属：Department of Chemistry, Kansas State University  
演題：Total Synthesis of (+)-Myricic Acid A and Bio-evaluation of Its Synthetic Intermediates  
世話分野：薬化学分野

開催日：平成 23 年 9 月 9 日  
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会  
講師名：藤堂 洋三 先生  
所属：富山化学工業株式会社  
演題：創薬研究と知的財産（特許）について  
世話分野：薬化学分野

開催日：平成 23 年 1 月 22 日  
講演会名：第 4 回 日本化学会東海支部 若手研究者フォーラム 金属の関与する多彩な化学  
講師名：1) 木下 英司, 2) 寺尾 潤, 3) 吉沢 道人  
所属：1) 広島大学大学院医歯薬学総合研究科,  
2) 京都大学大学院工学研究科,  
3) 東京工業大学資源化学研究所  
演題：1) リン酸基認識素子としての二核亜鉛錯体とオミクス解析技術への応用, 2) クロスカップリング反応を鍵とする分子ワイヤの合成とビルドアップ型分子配線, 3) 多環芳香族分子を利用した三次元構造体の機能開拓  
世話人：梅澤 直樹

開催日：平成 23 年 11 月 17 日  
講演会名：特別講演会（兼 大学院講義「センサーデバイス開発学」）  
講師名：古田 寿昭 教授  
所属：東邦大学理学部生物分子科学科  
演題：細胞の生理機能を光制御するケージド化合物  
世話人：樋口 恒彦, 梅澤 直樹

開催日：平成 23 年 11 月 25 日  
講演会名：第 125 回薬学談話会  
講師名：米田 誠治 先生  
所属：鈴鹿医療科学大学薬学部  
演題：次世代白金制がん剤の創薬研究  
世話人：梅澤 直樹

開催日：平成 23 年 6 月 17 日  
講師名：菊蔭 孝太郎 助教  
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科  
演題：遷移金属触媒を用いた酸化反応系および第四級不斉炭素構築反応の開発

世話分野：薬品合成化学分野

開催日：平成23年1月27日

講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会

講師名：栗本英治

所属：名城大学薬学部

演題：「トランスレーショナルな創薬科学研究と起業活動」

場所：名古屋市立大学 大学院薬学研究科 研究棟 2F 会議室

世話人：加藤 晃一

開催日：平成23年2月10日～12日

会議名：岡崎統合バイオサイエンスセンター10周年記念シンポジウム

場所：岡崎コンファレンスセンター

世話人：加藤 晃一、高田慎治、富永真琴

開催日：平成23年6月26日～29日

会議名：「揺らぎと生体機能」平成23年度合同班会議

場所：ゆうばりホテルシュージャロ

世話人：加藤 晃一

開催日：平成23年7月4日

講演会名：部門公開セミナー

講師名：稲葉謙次

所属：九州大学生体防御医学研究所

演題：「タンパク質品質管理に関わるジスルフィド結合形成・開裂因子の構造的基盤」

場所：分子科学研究所 山手3号館9階セミナー室

世話人：加藤 晃一

開催日：平成23年10月14日

講演会名：部門公開セミナー

講師名：Dr.Catherine Sautes Fridman

所属：European Federation of Immunological Societies

演題：The multifaceted immune microenvironment in human cancers

場所：分子科学研究所 山手3号館2階共通セミナー室

世話人：加藤 晃一

開催日：平成23年10月12日～14日

会議名：第71回岡崎コンファレンス

「糖鎖分子科学の新たな展望」

場所：岡崎コンファレンスセンター

世話人：若槻壮市、加藤晃一

開催日：平成23年11月1日

講演会名：部門公開セミナー

講師名：Dr.Christian Griesinger

所属：Max-Planck Institute for Biophysical Chemistry, Germany

演題：Macromolecular dynamics studied by NMR: Impact for infection, cancer and neurodegeneration

場 所：分子科学研究所 山手3号館2階共通セミナー室  
世 話 人：加藤 晃一

開 催 日：平成23年5月29-31日(シンポジウム開催は30日)  
講演会名：日本薬剤学会第26回年会シンポジウム6 経肺投与製剤の現状と展望  
場 所：タワーホール船堀 東京都江戸川区  
世話分野：薬物送達学分野(日本薬剤学会経肺投与製剤フォーカスグループ執行部、シンポジウムオーガナイザー：尾関 哲也)

開 催 日：平成23年7月20-22日  
講演会名：日本薬剤学会第37回製剤セミナー 高齢社会を支える創剤・包装技術  
場 所：ヤマハリゾートつま恋, 静岡県掛川市満水2000  
世話分野：薬物送達学分野(製剤セミナー実行委員：尾関 哲也)

開 催 日：平成23年9月15, 16日  
講演会名：平成23年度中部談話会 研究・技術交流会- 日本の粉体産業を支える研究・技術 -  
場 所：紅葉屋 愛知県知多郡美浜町大字野間字畑中9番地  
世話分野：薬物送達学分野(粉体工学会中部談話会世話人：尾関 哲也)

開 催 日：平成23年11月22日  
講演会名：第3回粉末吸入剤研究会 DPI: 新たなる展開  
場 所：ANAクラウンプラザホテル富山  
世話分野：薬物送達学分野(粉末吸入剤研究会世話人：尾関 哲也)

開 催 日：平成23年12月6日  
講演会名：第5回私の粉論粒子設計工学はDDS開発をどのように変えたか?  
講 師 名：川島 嘉明 教授  
所 属：愛知学院大学薬学部  
場 所：名古屋大学東山キャンパス内, グリーンサロン東山  
世話分野：薬物送達学分野(粉体工学会中部談話会世話人：尾関 哲也)

開 催 日：平成23年5月25日  
講演会名：第120回薬学談話会  
講 師 名：近藤 俊哉 先生  
所 属：鈴鹿医療科学大学薬学部  
演 題：植物界に広く分布する「リボゾーム不活性化タンパク質」  
世 話 人：牧野利明

開 催 日：平成23年12月1日  
講演会名：第40回生薬分析シンポジウム  
世 話 人：牧野利明

開 催 日：平成23年12月9日  
講演会名：第126回薬学談話会  
講 師 名：井上 靖道 先生  
所 属：医薬品代謝解析学分野  
演 題：がん抑制遺伝子 p53、RB の機能制御とその破綻による細胞がん化  
世 話 人：寺坂和祥

開催日 : 平成 23 年 4 月 27 日  
講演会名 : 日本薬学会東海支部特別講演会(大学院講義)  
講師名 : 三品 昌美 教授  
所属 : 東京大学大学院医学系研究科分子神経生物学  
演題 : グルタミン酸受容体から見えてきた脳高次機構と発達障害  
世話分野 : 細胞分子薬効解析学分野

藤井 聡

トリアージ 頭痛を訴える患者への対応 I セルフメディケーション振興財団 薬剤師のための症候論研修会  
2011 年 1 月 30 日 名古屋市立大学

藤井 聡

トリアージ 頭痛を訴える患者への対応 II セルフメディケーション振興財団 薬剤師のための症候論研修会  
2011 年 2 月 6 日 名古屋市立大学

藤井 聡

生理活性脂質と血管疾患 川口秀明教授最終講義記念シンポジウム  
2011 年 2 月 25 日 北海道大学医学部学友会館フラテホール (札幌).

藤井 聡

やせていてもメタボ！これって本当？瑞穂生涯学習センタープログラム  
2011 年 3 月 1 日 名古屋市瑞穂生涯学習センター

藤井 聡

健やかな老後を過ごすための薬のはなし～あたらしい薬のみかた、つかいかた～  
2011 年 5 月 22 日 ウェルフェア健康大学 (名古屋).

藤井 聡

薬剤師に必要なフィジカルアセスメント 薬剤師のためのスキルアップセミナーフィジカルアセスメント・ベーシック  
2011 年 6 月 5 日 (名古屋市立大学)

藤井 聡

これだけは知っておきたい 日常治療薬の正しい使い方 降圧薬:最近の薬に強くなろう 名市大 医療保健学び直し講座  
2011 年 6 月 7 日 (名古屋市立大学)

藤井 聡

血栓症治療における薬物選択と問題点ならびに抗血栓療法のコントラバーシー 技術情報協会講演会  
2011 年 6 月 22 日 (東京)

藤井 聡

オープンセミナー 在宅とフィジカルアセスメント 間質性肺炎におけるフィジカルアセスメントと消化器系におけるフィジカルアセスメント



2011年8月7日（名古屋市立大学）

藤井 聡

フィジカルアセスメントと継続可能な質の高いチーム医療 H23 医療チーム連携実践事業 フィジカルアセスメント研修報告

2011年9月10日（名古屋市立大学薬学部）

藤井 聡

薬剤師に必要なフィジカルアセスメント 薬剤師のためのスキルアップセミナーフィジカルアセスメント・アドバンス編コース 1β遮断薬と心不全の症例、抗てんかん薬とワーファリンの相互作用の症例

2011年12月11日（名古屋市立大学）

開催日：平成23年7月8日

場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

シンポジウム名：（社）日本薬理学会市民公開講座

恐ろしい乱用薬物の魔力（講師 鍋島俊隆）

世話分野：中枢神経機能薬理学分野

開催日：平成23年9月16日

講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会（第1回名古屋市立大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンスセミナー）

講師名：石黒 昭博 博士

所属：医薬品医療機器総合機構

演題：市販後における医薬品の安全性確保のための行政上の対応

世話分野：医薬品安全性評価学分野

開催日：平成23年10月17日

講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会（第2回名古屋市立大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンスセミナー）

講師名：宇山 佳明 博士

所属：医薬品医療機器総合機構

演題：医薬品開発の国際化と承認審査

世話分野：医薬品安全性評価学分野

開催日：平成23年12月3日

場所：アクトシティ浜松

シンポジウム名：第32回日本臨床薬理学会 パネルディスカッション3「アジアにおける医薬品開発と共同臨床試験」

世話人：頭金 正博, 宇山 佳明

開催日：平成23年12月5日

講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会

講師名：Frank Gonzalez 博士

所属：米国 NIH/NCI

演題：PPARα-dependent induction of uncoupling protein 2 protects against acetaminophen-induced liver toxicity

世話分野：医薬品安全性評価学分野

開催日：平成23年12月7日  
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会（第3回名古屋市立大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンスセミナー）  
講師名：折井 孝男 博士  
所属：N T T東日本関東病院  
演題：医薬品の情報と医薬品情報  
世話分野：医薬品安全性評価学分野

開催日：平成23年1月14日  
場所：名古屋国際ホテル  
講演会名：中部日本プラスチック製品工業協会 新春講演会  
講師名：木村 和哲 教授  
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学  
演題：日常治療薬の正しい知識と使い方  
世話人：中部日本プラスチック製品工業協会

開催日：平成23年1月20日  
場所：愛知学院大学薬学部  
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会  
講師名：木村 和哲 教授  
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学  
演題：生活習慣病とED  
世話人：愛知学院大学薬学部

開催日：平成23年2月25日  
場所：名古屋マリオットホテル  
講演会名：Cardio-Lipidology 4th  
講師名：木村 和哲 教授  
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学  
演題：慢性腎臓病(CKD)における血管内皮機能障害に対するエゼチミブ投与の有用性  
世話人：佐藤 孝一、木村和哲、伊藤猛雄、土肥靖明 他数名

開催日：平成23年3月4日  
場所：リーガホテルゼスト高松  
講演会名：緩和ケアセミナー  
講師名：木村 和哲 教授  
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学  
演題：緩和ケアにおける最新の薬物療法について  
世話人：高松市医師会

開催日：平成23年3月17日  
場所：名古屋観光ホテル  
講演会名：名古屋中小企業振興会経営者フォーラム  
講師名：木村 和哲 教授  
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学  
演題：日常治療薬の正しい知識と使い方

世 話 人：名古屋中小企業振興会

開 催 日：平成 23 年 3 月 19 日

場 所：名古屋市立大学薬学部

講演会名：三公立連携薬剤師生涯学習支援講座 ―特別プログラム―

講 師 名：木村 和哲 教授

所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学

演 題：新しい薬剤師の時代

世 話 人：三公立連携薬剤師生涯学習支援講座

開 催 日：平成 23 年 4 月 1 日

場 所：名古屋市立大学病院

講演会名：平成 23 年度新規採用者研修

講 師 名：木村 和哲 教授

所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学

演 題：医薬品の安全管理について

世 話 人：名古屋市立大学病院

開 催 日：平成 23 年 4 月 8 日

場 所：大塚製薬工場輸液情報センター1 階会議室

講演会名：大塚製薬工場 臨床勉強会

講 師 名：木村 和哲 教授

所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学

演 題：ED 基礎研究から新しい治療法への提言

世 話 人：大塚製薬工場名古屋支店

開 催 日：平成 23 年 5 月 9 日

場 所：名古屋観光ホテル

講演会名：中部プラスチック金型協同組合 記念講演

講 師 名：木村 和哲 教授

所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学

演 題：日常治療薬の正しい知識と使い方

世 話 人：中部プラスチック金型協同組合

開 催 日：平成 23 年 5 月 31 日

場 所：名古屋市立大学医学部研究棟 11 階 講義室 B

講演会名：名市大 医療・保健 学びなおし講座

講 師 名：木村 和哲 教授

所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学

演 題：これだけは知っておきたい 日常治療薬の使い方 くすりの正しい飲み方

世 話 人：名古屋市立大学 医学部事務室内「名市大 学びなおし講座」事務局

開 催 日：平成 23 年 7 月 3 日

場 所：新大阪ワシントンホテルプラザ

講演会名：名市大薬友会関西支部 特別講演

講 師 名：木村 和哲 教授

所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学

演 題：これからの薬剤師に求められるもの - チーム医療におけるスキルミックス -  
世 話 人：薬友会関西支部

開 催 日：平成 23 年 7 月 5 日  
場 所：名古屋市立大学医学部研究棟 11 階 講義室 B  
講演会名：名市大 医療・保健 学びなおし講座  
講 師 名：木村 和哲 教授  
所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学  
演 題：これだけは知っておきたい 日常治療薬の使い方 生活習慣病 と ED  
世 話 人：名古屋市立大学 医学部事務室内「名市大 学びなおし講座」事務局

開 催 日：平成 23 年 11 月 5 日  
場 所：南山高等学校男子部  
講演会名：南山高等学校男子部「進路の日」特別講演  
講 師 名：木村 和哲 教授  
所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学  
演 題：これからの薬剤師に求められるもの - チーム医療におけるスキルミックス -  
世 話 人：南山高等学校男子部 PTA

開 催 日：平成 23 年 11 月 21 日  
場 所：協和発酵キリン株式会社名古屋支店  
講演会名：勉強会 特別講演  
講 師 名：木村 和哲 教授  
所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学  
演 題：名市大病院での「麻薬」の取り扱い  
世 話 人：協和発酵キリン株式会社

開 催 日：平成 23 年 12 月 6 日  
場 所：名古屋市立大学薬学部  
講演会名：名古屋市立大学薬学部生対象企業研究セミナー  
講 師 名：木村 和哲 教授  
所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学  
演 題：名古屋市立大学病院薬剤部  
世 話 人：名古屋市立大学薬学部

開 催 日：平成 23 年 12 月 17 日  
場 所：名古屋市立大学医学部研究棟 11 階 講義室 A  
講演会名：平成 23 年度 名古屋市立大学「医・薬・看の連携研究の推進」助成事業  
【共同開催】 名古屋市新興再興感染症講演会  
講 師 名：木村 和哲 教授  
所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学  
演 題：抗菌薬が効きにくい 「耐性菌を作らない！拡散しない！」  
抗菌薬適正使用 -耐性菌発生防止に向けて-  
世 話 人：名古屋市立大学

開 催 日：平成 23 年 5 月 26 日  
場 所：名古屋市立大学医学部

講演会名：第53回糖尿病イブニングカンファレンス  
座長：菊池千草 講師  
講師名：武藤達也  
所属：愛知医科大学病院  
演題：臨床現場でのインスリン注入器導入時のかかわり  
講師名：草田典子  
所属：稲沢市民病院  
演題：当院におけるCGMSの実際  
主催：糖尿病イブニングカンファレンス（世話人；菊池千草 講師，水野久美子，他）

開催日：平成23年9月6日  
場所：名古屋市立大学医学部研究棟  
講演会名：名市大医療・保健 学びなおし講座  
講師名：鈴木 匡  
所属：名古屋市立大学  
演題：薬と保険制度  
主催：名古屋市立大学大学院医学研究科

開催日：平成23年9月11日  
場所：名古屋市立大学薬学部  
講演会名：第27回（2011年）名古屋市立大学薬学部卒後教育講座  
講師名：服部正巳  
所属：愛知学院大学歯学部  
演題：歯科領域における金属アレルギーの診断と治療  
講師名：渡邊 正  
所属：公立学校共済組合東海中央病院  
演題：緩和医療の意義と役割  
主催：卒後教育委員会（委員；宮田直樹，伊藤友香，大矢 進，小野秀樹，菊池千草，木村和哲，黒野幸久，白井直洋，鈴木 匡，瀧井猛将，藤井 聡，他）

開催日：平成23年10月16日  
場所：名古屋市立大学薬学部  
講演会名：第27回（2011年）名古屋市立大学薬学部卒後教育講座  
講師名：土肥靖明  
所属：名古屋市立大学大学院医学研究科  
演題：合剤は降圧治療を変えるか  
講師名：尾関哲也  
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科  
演題：創薬を支える薬物送達システム—最適な薬物治療をめざした創剤研究—  
主催：卒後教育委員会（委員；宮田直樹，伊藤友香，大矢 進，小野秀樹，菊池千草，木村和哲，黒野幸久，白井直洋，鈴木 匡，瀧井猛将，藤井 聡，他）

開催日：平成23年10月27日  
場所：名古屋市立大学医学部  
講演会名：第54回糖尿病イブニングカンファレンス  
座長：水野久美子  
講師名：石郷景子

所 属：大垣市民病院  
演 題：当院における糖尿病検査と神経伝導検査  
講 師 名：加藤宏一  
所 属：愛知医科大学  
演 題：糖尿病性神経障害の成因と治療  
主 催：糖尿病イブニングカンファレンス（世話人；菊池千草 講師，水野久美子，他）

開 催 日：平成 23 年 11 月 6 日  
場 所：名古屋市立大学薬学部  
講演会名：第 27 回（2011 年）名古屋市立大学薬学部卒後教育講座  
講 師 名：加藤久美子  
所 属：名古屋第一赤十字病院  
演 題：女性泌尿器科の最新医療—尿失禁と骨盤臓器脱  
講 師 名：小鹿幸生  
所 属：名古屋市立大学大学院医学研究科  
演 題：認知症の全て（治療薬の現在と未来）  
主 催：卒後教育委員会（委員；宮田直樹，伊藤友香，大矢 進，小野秀樹，菊池千草，木村和哲，黒野幸久，白井直洋，鈴木 匡，瀧井猛将，藤井 聡，他）

開 催 日：平成 23 年 12 月 7 日  
場 所：名古屋市立大学薬学部 模擬薬局  
講演会名：薬剤師再就業支援講座 調剤実習  
講演会名：松永民秀，鈴木 匡  
主 催：愛知県薬剤師会

開 催 日：平成 23 年 12 月 11 日  
場 所：明治安田生命名古屋ホール  
講演会名：県民公開講座  
講 師 名：おおたわ史絵  
演 題：女性と健康について  
主 催：愛知県薬剤師会（女性・勤務・青年薬剤師部会；菊池千草 講師，他）

開 催 日：平成 23 年 12 月～平成 24 年 3 月  
研修会名：三公立連携薬剤師生涯学習支援講座  
場 所：名市大薬学部水野ホール（TV 会議システムによる中継）  
講 師 名：年間プログラム参照  
世 話 人：東海薬剤師生涯学習センター（藤井 聡、鈴木 匡）

開 催 日：平成 23 年 12 月～平成 24 年 3 月  
研修会名：チーム医療に貢献する薬局薬剤師の養成  
場 所：名市大薬学部、医学部、名市大病院  
世話人：名市大薬剤師臨床研修委員会  
内 容：報告書参照  
事務局長：鈴木 匡

（企業研修）

薬剤師のためのスキルアップセミナー（年間 4 回） 講師  
主催：東邦薬品株式会社

日時：平成 23 年 8 月 7 日 12 時 40 分～17 時 45 分  
9 月 4 日 10 時～17 時  
12 月 11 日 9 時 15 分～17 時

場所：名古屋市立大学薬学部実習棟

実習講師： 藤井 聡, 鈴木

## 4 研究業績目録

(2011年1月から2011年12月)

### 【薬化学分野】

(原報)

Taeko Horinouchi, Hidehiko Nakagawa, Takayoshi Suzuki, Kiyoshi Fukuhara, Naoki Miyata



A novel mitochondria-localizing nitrobenzene derivative as a donor for photo-uncaging of nitric oxide  
*Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **21**, 2000-2002 (2011)

Taeko Horinouchi, Hidehiko Nakagawa, Takayoshi Suzuki, Kiyoshi Fukuhara, Naoki Miyata  
Photoinduced nitric oxide release in mitochondria from a nitrobenzene derivative  
*Chem. Eur. J.*, **17**, 4809-4813 (2011)

Daisuke Ogasawara, Takayoshi Suzuki, Koshiki Mino, Rie Ueda, Mohammed N Khan,  
Takuya Matsubara, Koichi Koseki, Makoto Hasegawa, Ryuzo Sasaki, Hidehiko Nakagawa,  
Tamio Mizukami, Naoki Miyata  
Synthesis and biological activity of optically active NCL-1, a lysine-specific demethylase 1 selective  
inhibitor  
*Bioorg. Med. Chem.*, **19**, 3702-3708 (2011)

Naoya Ieda, Hidehiko Nakagawa, Taeko Horinouchi, Tao Peng, Dan Yang, Hiroki Tsumoto,  
Takayoshi Suzuki, Kiyoshi Fukuhara and Naoki Miyata  
Peroxynitrite Generation from NO-releasing Nitrobenzene Derivative in Response to Photoirradiation  
*Chem. Commun.*, **47**, 6449-6451 (2011)

Shusaku Uchida, Kumiko Hara, Ayumi Kobayashi, Koji Otsuki, Hiroataka Yamagata, Teruyuki  
Hobara, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata, Yoshifumi Watanabe  
Epigenetic status of *Gdnf* in the ventral striatum determines susceptibility and adaptation to daily  
stressful events  
*Neuron*, **69**, 359-372 (2011)

Ann Florence B. Victoriano, Kenichi Imai, Hiroaki Togami, Takaharu Ueno, Kaori Asamitsu,  
Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata, Kuniyasu Ochiai, Takashi Okamoto.  
Novel histone deacetylase inhibitor NCH-51 activates latent HIV-1 gene expression  
*FEBS Lett.*, **585**, 1103-1111 (2011)

(総説・著書・総合論文など)

Hidehiko Nakagawa 【review】  
Photocontrollable nitric oxide (NO) and nitroxyl (HNO) donors and their release mechanisms  
*Nitric Oxide*, **25**, 195-200 (2011)

Kazuhiro Hishikawa, Hidehiko Nakagawa, Naoki Miyata 【review】  
Nitric oxide donors activated by two-photon excitation  
*Yakugaku Zasshi*, **131**, 317-324 (2011)

Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata 【review】  
Lysine demethylases inhibitors  
*J. Med. Chem.*, **54**, 8236-8250 (2011)

(学会発表)

Hidehiko Nakagawa, Mamiko Ikeda, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata

Differential oxidative stress in nuclei revealed by organelle-specific redox spin probe

International Symposium on Free Radical Research: Contribution to Medicine, 2011.1.20-22 (Kyoto)  
P59.

池田麻美子、中川秀彦、伴静華、鈴木孝禎、宮田直樹

細胞内部位特異的酸化ストレス評価を目指したオルガネラ分布型スピンプローブの開発

第9回次世代を担う有機化学シンポジウム, 2011年5月28-28日(東京) 1-13

堀之内妙子、中川秀彦、菱川和宏、鈴木孝禎、福原潔、宮田直樹

ミトコンドリア局在型光作動性NOドナーの開発と性能の検証

日本薬学会第131年会、2011年3月28-31日(静岡) 29G-am02

永野裕樹、中川秀彦、鈴木孝禎、宮田直樹

ピラゾロン誘導体が示す抗プリオン活性の作用機序解明を目指したアフィニティ抽出プローブの合成

日日本薬学会第131年会、2011年3月28-31日(静岡) 31P-0332

家田直弥、中川秀彦、鈴木孝禎、宮田直樹

新規光応答性hROS供与化合物の合成と評価

日本薬学会第131年会、2011年3月28-31日(静岡) 31P-0333

田中裕子、中川秀彦、鈴木孝禎、宮田直樹

細胞内一重項酸素検出を目指したオルガネラ局在性TMP誘導体の合成

日本薬学会第131年会、2011年3月28-31日(静岡) 31P-0334

菱川和宏、中川秀彦、江藤圭、堀之内妙子、鈴木孝禎、福原潔、古田寿昭、鍋倉淳一、宮田直樹

二光子励起作動型一酸化窒素(NO)ドナーによる細胞内NO放出

日本薬学会第131年会、2011年3月28-31日(静岡) 31P-0335

池田麻美子、中川秀彦、鈴木孝禎、宮田直樹

核内酸化状態の可視化を目指した新規各分布型 fluorescein 誘導体の開発

日本薬学会第131年会、2011年3月28-31日(静岡) 31P-0336

小笠原大介、鈴木孝禎、上田理恵、三野光識、中川秀彦、水上民夫、宮田直樹

LSD1 選択的阻害剤 NCL1 の光学活性体の酵素阻害活性評価および細胞増殖阻害活性評価

日本薬学会第131年会、2011年3月28-31日(静岡) 31P-0350

粕谷侑輝、鈴木孝禎、太田庸介、六鹿元雄、津元裕樹、中川秀彦、河村葉子、宮田直樹

銅触媒 in situ click chemistry の発見

日本薬学会第131年会、2011年3月28-31日(静岡) 31P-0351

小笹弘貴、鈴木孝禎、浜田翔平、三野光識、中川秀彦、水上民夫、宮田直樹

JMJD2 タンパク質-阻害薬間の CH...O 水素結合の重要性

日本薬学会第 131 年会、2011 年 3 月 28-31 日 (静岡) 31P-0352

平石龍太、平尾優佳、山下直也、鈴木孝禎、長土居有隆、中川秀彦、五嶋良郎、西村善文、  
宮田直樹

神経変性疾患や悪性腫瘍治療薬を目指した mSin3B-NRSF 複合体形成阻害化合物の探索

日本薬学会第 131 年会、2011 年 3 月 28-31 日 (静岡) 31P-0377

清家雄、中川秀彦、鈴木孝禎、宮田直樹

Pin1 阻害化合物の合成と活性評価

日本薬学会第 131 年会、2011 年 3 月 28-31 日 (静岡) 31P-0420

亀田英里、中川秀彦、松尾和哉、津元裕樹、鈴木孝禎、宮田直樹

4-メルカプトメチルクマリン誘導体の RNS との反応による蛍光変化の比較

日本薬学会第 131 年会、2011 年 3 月 28-31 日 (静岡) 31P-0433

今井英里佳、Ahmed Khan MOHAMMED NASSER、鈴木孝禎、中川秀彦、宮田直樹

2-アニリノベンズアミド誘導体の合成と SIRT 阻害活性評価

日本薬学会第 131 年会、2011 年 3 月 28-31 日 (静岡) 31Z-pm02

平野達也、鈴木孝禎、竹内理人、原貴史、平澤明、辻本豪三、中川秀彦、宮田直樹

GPR40 に対して選択的に作用する化合物の創製

日本薬学会第 131 年会、2011 年 3 月 28-31 日 (静岡) 31Z-pm07

中川秀彦

光制御型 NO ドナーによる NO 供与の位置・時間制御

日本薬学会第 131 年会、2011 年 3 月 28-31 日 (静岡) S02-2

中川秀彦、堀之内妙子、鈴木孝禎、福原潔、宮田直樹

ミトコンドリア局在するニトロベンゼン誘導体からの光制御一酸化窒素遊離

日本ケミカルバイオロジー学会第 6 年会、2011 年 5 月 23 日-25 日 (東京) P-053

鈴木孝禎、太田庸介、坂東優篤、白髭克彦、李政樹、飯田真介、上田龍三、中川秀彦、宮田  
直樹

HDAC8 選択的阻害剤の創製とその応用

日本ケミカルバイオロジー学会第 6 年会、2011 年 5 月 23 日-25 日 (東京) O-12

池田麻美子、中川秀彦、鈴木孝禎、宮田直樹【優秀演題賞】

核局在性を有する新規 fluorophore-nitroxide プローブの開発

第 6 4 回日本酸化ストレス学会学術集会、2011 年 7 月 2-3 日 (北海道) P13

田中裕子、中川秀彦、鈴木孝禎、宮田直樹【優秀演題賞】

細胞内一重項酸素検出を目指したミトコンドリア分布型 TMP 誘導体の合成と評価

第 6 4 回日本酸化ストレス学会学術集会、2011 年 7 月 2-3 日 (北海道) P14

家田直弥、中川秀彦、Peng Tao, Yang Dan, 鈴木孝禎, 宮田直樹

*N*-nitroso-4-aminophenol 構造を有する光応答性パーオキシナイトライト供与化合物の創製  
第64回日本酸化ストレス学会学術集会、2011年7月2-3日（北海道）P19

菱川 和宏, 中川 秀彦, 江藤 圭, 堀之内妙子, 鈴木 孝禎, 福原 潔, 古田 寿昭,  
鍋倉 淳一, 宮田 直樹  
二光子励起作動型一酸化窒素供与剤からの細胞内一酸化窒素放出  
第64回日本酸化ストレス学会学術集会、2011年7月2-3日（北海道）P75

宮田直樹【招待講演】  
創薬化学のすすめ：タンパク質の翻訳後修飾  
創薬懇話会 2011 in 岡山, 2011年7月6-7日（岡山）招待講演4

粕谷侑輝, 鈴木孝禎, 太田庸介, 中川秀彦, 宮田直樹  
銅触媒 *in situ* クリックケミストリー  
創薬懇話会 2011 in 岡山, 2011年7月6-7日（岡山）P06-9

小笹弘貴, 鈴木孝禎, 浜田翔平, 三野光識, 中川秀彦, 水上民夫, 宮田直樹  
ヒストン脱メチル化酵素 JMJD2 の阻害薬認識における CH...O 水素結合の重要性  
創薬懇話会 2011 in 岡山, 2011年7月6-7日（岡山）P06-10

中川秀彦, 永野裕樹, 木全絢子, 大山亮, 鈴木孝禎, 宮田直樹, 福内友子, 堂浦克美, 太田  
茂  
抗プリオン活性を有するピラゾロン誘導体の作用機序の検討  
創薬懇話会 2011 in 岡山, 2011年7月6-7日（岡山）P-06-14

Mohammed Naseer Ahmed Khan, 鈴木孝禎, 三野光識, 中川秀彦, 水上民夫, 宮田直樹  
Synthesis and biological activity of *N*-alkylated analogues of NCL-1, a lysine-specific demethylase 1  
selective inhibitor  
第57回日本薬学会東海支部総会・本会, 2011年7月9日（愛知）E1500

小笹弘貴, 鈴木孝禎, 浜田翔平, 三野光識, 中川秀彦, 水上民夫, 宮田直樹  
ヒストン脱メチル化酵素の阻害薬認識における CH...O 水素結合の重要性  
第57回日本薬学会東海支部総会・本会, 2011年7月9日（愛知）E1510

家田直弥, 中川秀彦, Peng Tao, Yang Dan, 津元裕樹, 鈴木孝禎, 福原潔, 宮田直樹  
Nitrobenzene 構造を有する光応答性 ONOO<sup>-</sup>ドナーの創製  
第44回酸化反応討論会, 2011年11月4-5日（大阪）P-09

河合翔太, 中川秀彦, 鈴木孝禎, 宮田直樹  
光誘起 NO 放出を起こすクマリン型新規 NO ドナーの開発  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術集会 2011、2011年11月23日  
（愛知）N-A01

Daisuke Ogasawara, Takayoshi Suzuki, Rie Ueda, Mohammed Naseer Ahmed Khan, Koshiki  
Mino, Hidehiko Nakagawa, Tamio Mizukami, and Naoki Miyata  
Design, Synthesis, and Biological Activity of cyclopropylamine-based LSD1 inhibitor  
8th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium, 29 Nov.-2 Dec. 2011 (Tokyo) 2P-177

Takayoshi Suzuki, Yosuke Ota, Yuki Kasuya, Hidehiko Nakagawa, and Naoki Miyata  
Protein-Templated Copper-Catalyzed Azide-Alkyne Cycloaddition

8th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium, 29 Nov.-2 Dec. 2011 (Tokyo) 2P-218

Yuki Kasuya, Takayoshi Suzuki, Yosuke Ota, Hiroki Tsumoto, Hidehiko Nakagawa, Naoki Miyata

Discovery of Isozyme-Selective Histone Deacetylase Inhibitor by Click Chemistry

8th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium, 29 Nov.-2 Dec. 2011 (Tokyo) 2P-220

Hiroki Ozasa, Takayoshi Suzuki, Shohei Hamada, Koshiki Mino, Hidehiko Nakagawa, Tamio Mizukami, and Naoki Miyata

The Importance of CH...O Hydrogen Bond in Protein-Ligand Binding

8th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium, 29 Nov.-2 Dec. 2011 (Tokyo) 2P-221

Naoya Ieda, Hidehiko Nakagawa, Tao Peng, Dan Yang, Takayoshi Suzuki, and Naoki Miyata  
Synthesis and Evaluation of A Novel Photo-controllable Peroxynitrite Generator

8th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium, 29 Nov.-2 Dec. 2011 (Tokyo) 2P-226

## 【精密有機反応学分野】

(原報)

Naoki Umezawa, Yuka Noro, Kazuhiro Ukai, Nobuki Kato, and Tsunehiko Higuchi  
Photocontrol of Peptide Function: Backbone Cyclization Strategy with Photocleavable Amino Acid  
*ChemBioChem*, **12**, 1694-1698 (2011).

(学会発表)

串田優, 加藤信樹, 梅澤直樹, 樋口恒彦  
化学進化的合成化学: 新規スカッフオルドの合成とアミロイドβ親和性分子創製の検討  
日本薬学会第131年会. 2011年3月29日(静岡); 29F-am01.

野呂侑加, 鵜飼和宏, 梅澤直樹, 加藤信樹, 樋口恒彦  
環状化戦略を用いたペプチド機能光制御法  
日本薬学会第131年会. 2011年3月29日(静岡); 29G-am03.

今村優希, 大沢智子, 梅澤直樹, 富田泰輔, 岩坪威, 加藤信樹, 樋口恒彦  
基質認識機構探索をめざしたγセクレターゼ阻害フォルダマーの開発  
日本薬学会第131年会. 2011年3月29日(静岡); 29G-pm07.

浜口雄, 加藤信樹, 梅澤直樹, 樋口恒彦  
ルテニウムポルフィリン-ピリジンN-オキシド系による環状エーテル類の効率的酸化反応  
日本薬学会第131年会. 2011年3月29日(静岡); 29L-pm04.

鈴木潤, 白川慶典, 梅澤直樹, 加藤信樹, 樋口恒彦  
シトクロムP450配位構造錯体の触媒反応性に与える軸配位子近傍置換基の顕著な加速効果  
日本薬学会第131年会. 2011年3月30日(静岡); 30M-pm15.

### 梅澤直樹【招待講演】

フォルダマーを用いた医薬化学: γ-セクレターゼ阻害剤の開発  
日本薬学会第131年会. 2011年3月31日(静岡); S31-6.

Hiroshi SUZUKI, Yoshinori Shirakawa, Takehiro YAMANE, Naoki UMEZAWA, Nobuki KATO,  
Tsunehiko Higuchi  
Significant Effect of NH-S Hydrogen Bonding on Redox Features of Heme Thiolate Complex  
Relevant to Cytochrome P450.

10th International Symposium on Activation of Dioxygen and Homogeneous Catalytic Oxidation.  
2011年7月6日(Okinawa); P6.

### 梅澤直樹【招待講演】

金属錯体部位をもつ発蛍光型色素の開発: ペプチドタグ配列の選択的標識をめざして  
第24回生物無機化学夏季セミナー. 2011年8月29日(大阪);

梅澤直樹, 今村優希, 大沢智子, 岩坪威, 加藤信樹, 富田泰輔, 樋口恒彦

$\gamma$ -セクレターゼを阻害するフォルダマーの創製

第5回バイオ関連化学シンポジウム. 2011年9月12日(つくば); 1A-01.

樋口恒彦, 齋藤俊輔, 梅澤直樹, 加藤信樹

亜酸化窒素を酸化剤とする金属ポルフィリン触媒アルケン二量化反応

第61回錯体化学討論会. 2011年9月18日(岡山); 2C-01.

樋口恒彦

シトクロム P450 配位構造錯体のチオレート軸配位子に与える近傍置換基の顕著な効果

第108回触媒討論会. 2011年9月20日(北見); 1I07.

梅澤直樹

ペプチド機能を光制御する方法

名工大・名市大合同テクノフェア 2011. 2011年10月20日(名古屋); G-03.

齋藤俊輔, 大竹廣雄, 梅澤直樹, 加藤信樹, 廣部雅昭, 樋口恒彦

亜酸化窒素-金属ポルフィリン触媒系によるアルケンカップリング反応

第44回酸化反応討論会. 2011年11月4日(吹田); 1O-05.

鈴木潤, 白川慶典, 梅澤直樹, 加藤信樹, 樋口恒彦

ヘムチオレート錯体の酸化還元特性に与える軸配位子近傍置換基の特徴的効果

第44回酸化反応討論会. 2011年11月5日(吹田); P-51.

樋口恒彦【特別企画講演】

可視光駆動による一方向回転分子の開発能

日本化学会第91春季年会 特別企画講演. 2011年3月26日(神奈川);

Tsunehiko Higuchi【招待講演】

Ruthenium porphyrin-heteroaromatic N-oxide: a robust and versatile oxidizing system.

10th International Symposium on Activation of Dioxygen and Homogeneous Catalytic Oxidation.

2011年7月5日(Okinawa); IL-6.

## 【薬品合成化学分野】

(原報)

Connor L. Martin, Seiichi Nakamura, Ralf Otte, and Larry E. Overman

Total Synthesis of (+)-Condylocarpine, (+)-Isocondylocarpine, and (+)-Tubotaiwine.

*Org. Lett.*, **13**, 138–141 (2011).

Kotaro Kikushima, Jeffrey C. Holder, Michele Gatti, and Brian M. Stoltz

Palladium-Catalyzed Asymmetric Conjugate Addition of Arylboronic Acids to Five-, Six-, and Seven-Membered  $\beta$ -Substituted Cyclic Enones: Enantioselective Construction of All-Carbon Quaternary Stereocenters.

*J. Am. Chem. Soc.*, **133**, 6902–6905 (2011).

(総説・著書・総合論文など)

橋本俊一，中村精一

カルボニルイリドの1,3-双極付加環化

「天然物合成で活躍した反応 実験のコツとポイント」有機合成化学協会編，  
化学同人 pp 70–71 (2011) .

(学会発表)

戸井田明憲，猪狩俊博，讃井しおり，橋本俊一，中村精一

海産毒スピロリドDの合成研究

日本薬学会第131年会．2011年3月31日（静岡）；31W-am17.

中村精一【招待講演】

イオンチャネルに作用する両性イオン性海洋天然物の全合成

若手研究者評価支援機構『イノベーティブマリンテクノロジー研究者育成』  
総合研究センター『統合的バイオイメージング研究者育成事業』合同シンポジウム  
『第2回 天然物化学の新展開』．2011年7月2日（高知）．

赤堀禎紘，橋本俊一，中村精一

抗腫瘍性サポニン・シラシロシドE-1の合成研究

第37回反応と合成の進歩シンポジウム．2011年11月7日（徳島）；1P-69.



**【機能分子構造学分野】**

(学会発表)

Kaori-Ambe-Suzuki, Yukari Ohyama, Naohiro Shirai, Shin-ichi Ikeda  
Ni/ZnX<sub>2</sub>-Promoted Domino Reaction of Enynes and Enones Including Unstrained C-C Bond  
Cleavage

第 58 回有機金属化学討論会. 2011 年 9 月 9 日 (名古屋) ; P3B-27

## 【生体超分子システム解析学分野】

(原報)

Kohei Tahara, Takeshi Sakai, Hiromitsu Yamamoto, Hirofumi Takeuchi, Naohide Hirashima, and Yoshiaki Kawashima

Improvements in transfection efficiency with chitosan modified poly(DL-lactide-co-glycolide) nanospheres prepared by the emulsion solvent diffusion method, for gene delivery.

*Chem. Pharm. Bull.*, **59**, 298-301 (2011).

Mariko Miyata, Yasushi Kishimoto, Masahiko Tanaka, Kouichi Hashimoto, Naohide Hirashima, Yoshiharu Murata, Masanobu Kano, and Yoshiko Takagishi

A role of myosin Va in cerebellar plasticity and motor learning: a possible mechanism underlying neurological disorder in myosin Va disease.

*J. Neurosci.*, **31**, 6067-6078 (2011).

Masahiko Tanaka, Minami Asaoka, Yuchio Yanagawa, and Naohide Hirashima

Long-term gene-silencing effects of siRNA introduced by single-cell electroporation into postmitotic CNS neurons.

*Neurochem. Res.*, **36**, 1482-1489 (2011).

Hidehiro Nomura, Satoshi Tadokoro, and Naohide Hirashima

Liprin-alpha is involved in exocytosis and cell spreading in mast cells.

*Immunol. Lett.*, **139**, 110-116 (2011).

Yumiko Nagai, Satoshi Tadokoro, Hiroki Sakiyama, and Naohide Hirashima

Effects of synaptotagmin 2 on membrane fusion between liposomes that contain SNAREs involved in exocytosis in mast cells.

*Biochim. Biophys. Acta-Biomembranes*, **1808**, 2435-2439 (2011).

Yoshikazu Inoh, Tadahide Furuno, Naohide Hirashima, Dai Kitamoto, and Mamoru Nakanishi  
Rapid delivery of small interfering RNA by biosurfactant MEL-A-containing liposomes.

*Biochem. Biophys. Res. Commun.*, **414**, 635-40 (2011).

Yosuke Morita, Satoshi Tadokoro, Masao Sasai, Dai Kitamoto, and Naohide Hirashima

Biosurfactant mannosyl-erythritol lipid inhibits secretion of inflammatory mediators from RBL-2H3 cells.

*Biochim. Biophys. Acta-General Subjects*, **1810**, 1302-1308 (2011).

(総説)

平嶋尚英、田所 哲

マスト細胞の脱顆粒と SNARE 関連分子

*臨床免疫・アレルギー科*, **51**, 617-622 (2011).

(特許申請)

該当せず

(学会発表)

伊納義和, 古野忠秀, 平嶋尚英, 北本 大, 中西 守

新規正電荷リポソームによる迅速な siRNA 細胞内導入法の開発

日本薬学会第 131 年会, 2011 年 3 月 29 日 (静岡); 29P-0082.

田所 哲, 中西 守, 平嶋尚英

再構成リポソームを用いた SNARE 結合分子 complexin の機能解析

日本薬学会第 131 年会, 2011 年 3 月 29 日 (静岡); 29P-0083.

田中正彦, 高岸芳子, 平嶋尚英

単一細胞エレクトロポレーションによる siRNA 導入を用いた小脳プルキンエ細胞における myosin Va 発現抑制効果の解析

日本薬学会第 131 年会, 2011 年 3 月 30 日 (静岡); 30P-0259.

鈴木 匡, 岡田浩美, 土屋照雄, 賀川義之, 木村和哲, 杉山 正, 並木徳之, 平嶋尚英, 中村光浩, 小菅和仁, 前田 徹, 林 秀樹, 野口博司, 小野秀樹, 藤井 聡

三公立連携薬剤師生涯学習支援講座: 3 年間の活動とその評価

日本薬学会第 131 年会, 2011 年 3 月 31 日 (静岡); 31P-0899.

田中正彦, 高岸芳子, 平嶋尚英

小脳プルキンエ細胞樹状突起形成における、siRNA の単一細胞エレクトロポレーションによる myosin Va 発現抑制の効果

第 34 回日本神経科学大会, 2011 年 9 月 15 日 (横浜); P2-c01.

大橋 令, 坂田真一, 平嶋尚英, 田中正彦

小脳プルキンエ細胞樹状突起形成におけるリアノジン受容体の役割

第 34 回日本神経科学大会, 2011 年 9 月 17 日 (横浜); P3-f06.

Hidehiro Nomura, Satoshi Tadokoro, Masahiko Tanaka, and Naohide Hirashima

Involvement of active-zone molecules and cell adhesion in exocytosis of mast cells

第 49 回日本生物物理学会年会, 2011 年 9 月 17 日 (姫路); 2K1624.

Satoshi Tadokoro, Yumiko Nagai, Mamoru Nakanishi, and Naohide Hirashima

Effects of synaptotagmin II on membrane fusion of liposomes containing SNARE proteins involved in exocytosis in mast cells

第 84 回日本生化学会大会, 2011 年 9 月 23 日 (京都); 3P-0299.

Satoshi Tadokoro and Naohide Hirashima

Functional analysis of synaptotagmin II involved in mast cell exocytosis using in vitro SNARE mediated fusion assay

第 40 回日本免疫学会学術集会, (千葉); 3-K-W67-9-P.

**大橋 令, 坂田真一, 平嶋尚英, 田中正彦**

小脳プルキンエ細胞樹状突起形成におけるリアノジン受容体の役割

第 21 回日本病院薬剤師会東海ブロック学術大会・平成 23 年度日本薬学会東海支部例会合同  
大会. 2011 年 11 月 23 日 (名古屋) ; C-P10.

**大橋 令, 坂田真一, 平嶋尚英, 田中正彦**

小脳プルキンエ細胞樹状突起形成におけるリアノジン受容体 1 型及び 2 型の役割

第 34 回日本分子生物学会年会. 2011 年 12 月 13 日 (横浜) ; 1P-0414.

【コロイド・高分子物性学分野】

(原報)

Masako Murai, Masatake Fujioka, Akiko Toyotama, Masakatsu yonese, and Junpei Yamanaka

Uphill Diffusion of Charged Colloidal Particles during Unidirectional Crystallization under pH Gradient

*Chemistry Letters* Vol.40, No.1, 42-43(2011)

Ryota Nagano, Akiko Toyotama and Junpei Yamanaka

pH-and Temperature-induced Crystallization of Aqueous Dispersions of Positively Charged Poly(styrene-co-2-vinylpyridine) Particles

*Chemistry Letters* Vol.40, No.12, 1366-1367(2011)

Koki yoshizawa, Tohru Okuzono, Tsuyoshi Koga, Tomohiro Taniji, and Junpei Yamanaka

Exclusion of Impurity Particles during Grain Growth in Charged Colloidal Crystals

*Langmuir* Vol.27, 13420-13427(2011)

Akiko Toyotama and Junpei Yamanaka

Heating-Induced Freezing and Melting Transitions in Charged Colloids

*Langmuir* Vol.27, No.5, 1569-1572(2011)

(学会発表)

奥蘭透、村井雅子、山本政彰、豊玉彰子、山中淳平

荷電コロイド結晶沈降過程の粗視化モデルによるシミュレーション

第1回ソフトマター研究会 2011年8月3-5日 (京都)

Tohru Okuzono, Masako Murai, Masaaki Yamamoto, Akiko Toyotama, Junpei Yamanaka

Kinetic processes of charged colloidal crystals under gravity

8th Liquid Matter Conference 2011年9月6日-10日 (Wien, Austria)

山中淳平、豊玉彰子、吉澤幸樹、小森和紀、菅生行紘、谷地知大

第63回コロイドおよび界面化学討論会 2011年9月7日-9日 (京都)

吉澤幸樹、谷地知大、奥蘭透、山中淳平

荷電コロイド結晶の結晶グレイン境界への不純物排除

第63回コロイドおよび界面化学討論会 2011年9月7日-9日 (京都)

菅生行紘、吉澤幸樹、豊玉彰子、奥蘭透、山中淳平

荷電コロイド結晶の一方向成長に伴う不純物粒子の排除

第63回コロイドおよび界面化学討論会 2011年9月7日-9日 (京都)

菅生行紘、恩田佐智子、豊玉彰子、澤田勉、伊藤研策、内田文生、瀧口義浩、原滋郎、山中淳平

一方向成長によるシリカコロイドの結晶化と光学特性評価

第 63 回コロイドおよび界面化学討論会 2011 年 9 月 7 日-9 日 (京都)

谷地知大、藤岡正剛、奥蘭透、山中淳平

荷電コロイド結晶の一方向成長における格子面間隔の過渡的不均一

第 63 回コロイドおよび界面化学討論会 2011 年 9 月 7 日-9 日 (京都)

小森和紀、吉澤幸樹、豊玉彰子、奥蘭透、山中淳平

荷電コロイド 2 成分混合系における粒子の協同運動

第 63 回コロイドおよび界面化学討論会 2011 年 9 月 7 日-9 日 (京都)

永野亮太、豊玉彰子、山中淳平

コロイド分散系の温度誘起固-液相転移

第 63 回コロイドおよび界面化学討論会 2011 年 9 月 7 日-9 日 (京都)

山中淳平

電荷誘起結晶化によるコロイド結晶成長

第 41 回結晶成長国内会議 (NCCG-41) 2011 年 11 月 3-5 日 (つくば)

## 【生命分子構造学分野】

(原報)

Maho Yagi-Utsumi, Koichi Matsuo, Katsuhiko Yanagisawa, Kunihiro Gekko, and Koichi Kato  
Spectroscopic characterization of intermolecular interaction of A $\beta$  molecules promoted on GM1 micelles

*Int. J. Alzheimer's Dis.* **2011**, ID 950932, 10 pages (2011)

Mayumi Kanagawa, Tadashi Satoh, Akemi Ikeda, Yukiko Nakano, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, Kyoko Kojima-Aikawa, and Yoshiki Yamaguchi

Crystal structures of human secretory proteins ZG16p and ZG16b reveal a Jacalin-related  $\beta$ -prism fold

*Biochem. Biophys. Res. Commun.* **404**, 201-205 (2011)

Nongluk Sriwilajaroen, Sachiko Kondo, Hirokazu Yagi, Nobuhiro Takemae, Takehiko Saito, Hiroaki Hiramatsu, Koichi Kato, and Yasuo Suzuki

N-Glycans from porcine trachea and lung: Predominant NeuAc $\alpha$ 2-6Gal could be a selective pressure for influenza variants in favor of human-type receptor

*PLoS ONE* **6**, e16302 (2011)

Kaori Asamitsu, Yurina Hibi, Kenichi Imai, Ann Florence B. Victoriano, Eiji Kurimoto, Koichi Kato, and Takashi Okamoto

Functional characterization of human cyclin T1 N-terminal region for human immunodeficiency virus-1 tat transcriptional activation

*J. Mol. Biol.* **410**, 887-895 (2011)

Yukiko Kamiya, Sayoko Yamamoto, Yasunori Chiba, Yoshifumi Jigami, Koichi Kato

Overexpression of a homogeneous oligosaccharide with  $^{13}\text{C}$  labeling by genetically engineered yeast strain

*J. Biomol. NMR* **50**, 397-401 (2011)

Sayoko Yamamoto, Takumi Yamaguchi, Máté Erdélyi, Christian Griesinger, and Koichi Kato  
Paramagnetic lanthanide tagging for NMR conformational analyses of N-linked oligosaccharides

*Chem. Eur. J.* **17**, 9280-9282 (2011)

Shinya Hanashima, Koichi Kato, and Yoshiki Yamaguchi

$^{13}\text{C}$ -NMR quantification of proton exchange at LewisX hydroxyl groups in water

*Chem. Commun.* **47**, 10800-10802 (2011)

Masaaki Sugiyama, Eiji Kurimoto, Hirokazu Yagi, Kazuhiro Mori, Toshiharu Fukunaga, Mitsuhiro Hirai, Giuseppe Zaccai, and Koichi Kato

Kinetic asymmetry of subunit exchange of homooligomeric protein as revealed by deuteration-assisted small-angle neutron scattering

*Biophys. J.* **101**, 2037-2042 (2011)

Takashi Hirano, Olivier Serve, Maho Yagi-Utsumi, Emi Takemoto, Takeshi Hiromoto, Tadashi Satoh, Tsunehiro Mizushima, and Koichi Kato

Conformational dynamics of wild-type Lys-48-linked diubiquitin in solution

*J. Biol. Chem.* **286**, 37496-37502 (2011)

Tsunehiro Mizushima, Hirokazu Yagi, Emi Takemoto, Mami Shibata-Koyama, Yuya Isoda, Shigeru Iida, Kazuhiro Masuda, Mitsuo Satoh, and Koichi Kato

Structural basis for improved efficacy of therapeutic antibodies on defucosylation of their Fc glycans

*Genes Cells* **16**, 1071-1080 (2011)

Hirokazu Yagi, Eri Ohno, Sachiko Kondo, A. Yoshida, and Koichi Kato

Development and application of multidimensional HPLC mapping method for O-linked oligosaccharides

*Biomolecules* **1**, 48-62 (2011)

Morihisa Fujita, Reika Watanabe, Nina Jaensch, Maria Romanova-Michaelides, Tadashi Satoh, Masaki Kato, Howard Riezman, Yoshiki Yamaguchi, Yusuke Maeda, and Taro Kinoshita

Sorting of GPI-anchored proteins into ER exit sites by p24 proteins is dependent on remodeled GPI

*J. Cell Biol.* **194**, 61-75 (2011)

Mayumi Kanagawa, Tadashi Satoh, Akemi Ikeda, Yoshiyuki Adachi, Naohito Ohno, Yoshiki Yamaguchi

Structural Insights into Recognition of Triple-helical  $\beta$ -Glucans by an Insect Fungal Receptor

*J. Biol. Chem.* **286**, 29158-29165 (2011)

Elena Peletskaya, Mark Andrade, Alla Gustchina, George Merkel, Jerry Alexandratos, Dongwen Zhou, Ravi S. Bojja, Tadashi Satoh, Mikhail Potapov, Alex Kogon, Viktor Potapov, Alexander Wlodawer, and Anna Marie Skalka

Localization of ASV integrase DNA contacts by site-directed crosslinking and their structural analysis

*PLoS ONE* **6**, e27751 (2011)

(総説・著書・総合論文など)

Koichi Kato

Systematic structural analyses of glycoconjugates: NMR and sugar library approaches

高分子, **60**, 116 (2011)

加藤晃一

糖鎖の生命分子構造学

分子研レターズ, **63**, 4-7 (2011)

Olivier Serve, Yukiko Kamiya, and Koichi Kato

Redox-dependent chaperoning, following PDI footsteps

*Protein Folding* (E.C. Walters ed.), NOVA Science Publishers (New York), pp.489-500 (2011)



柳澤勝彦, 山口芳樹, 矢木真穂, 加藤晃一

920MHz 超高磁場 NMR 装置を用いた神経変性疾患関連タンパク質の構造解析

*Nanotech Japan Bulletin*, Vol.4, No.2 (2011)

Yukiko Kamiya, Maho Yagi-Utsumi, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

Structural and molecular basis of carbohydrate-protein interaction systems as potential therapeutic targets

*Current Pharmaceutical Design* **17**, 1672-1684 (2011)

高橋禮子, 近藤幸子, 加藤晃一

多次元糖鎖マップ法とウェブアプリケーション “GALAXY”

生物薬科学実験講座 第4巻 糖質[II] 糖タンパク質実験法 (川寄敏祐編), pp.64-76 (2011)

矢木宏和, 加藤晃一

多次元 HPLC マッピングによる糖タンパク質糖鎖の定量的プロファイリング

バイオ医薬品開発における糖鎖技術 (早川堯夫, 掛樋一晃, 平林 淳監修), pp.242-252(2011)

Yoshinori Uekusa, Miya Kamihira-Ishijima, Osamu Sugimoto, Takeshi Ishii, Shigenori Kumazawa, Kozo Nakamura, Ken-ichi Tanji, Koichi Kato, Akira Naito, and Tsutomu Nakayama

The study of catechin-phospholipid membranes interaction by solution and solid-state NMR spectroscopy

Proceedings of The 4th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science (ICOS 2010), HB-P-28 (2011)

加藤晃一

先輩受領者からのメッセージ「さあ、これからだ！」

内藤財団時報 第 87 号, pp43 (2011)

矢木宏和

第 28 回内藤コンファレンス印象記「内藤コンファレンスに参加して」

内藤財団時報 第 87 号, pp120 (2011)

佐藤匡史

Research topics 研究成果

“Structural Insights into Recognition of Triple-helical  $\beta$ -Glucans by an Insect Fungal Receptor”

構造細胞生物学 Structural Cell Biology NEWS LETTER no.9, p3 (2011)

Tadashi Satoh, Eri Sakata, Shunsuke Yamamoto, Yoshiki Yamaguchi, A.Sumiyoshi, Soichi Wakatsuki, and Koichi Kato

Structural study of K48-linked tetraubiquitin

*Photon Factory Activity Report 2010 "Users' Report"* **28**, 243 (2011)

Tadashi Satoh, and Yoshiki Yamaguchi

Structural basis of sugar recognition of misfolded glycoproteins by OS-9 MRH domain in ER-associated degradation

*Photon Factory Activity Report 2010 "Highlights"* **28**, 50-51 (2011)

Maho Yagi-Utsumi, Koichi Matsuo, Katsuhiko Yanagisawa, Kunihiko Gekko, Koichi Kato  
Spectroscopic characterization of inter-molecular interaction of amyloid  $\beta$  promoted on GM1 micelles  
*HiSOR Activity Report 2010* (Hiroshima Synchrotron Research Center, Hiroshima University),  
P148-149 (2011)

加藤晃一

自然科学研究機構 岡崎バイオサイエンスセンター10周年記念シンポジウムを開催  
総研大ニュースレター, 第34号, 1-2 (2011)

Tsutomu Nakayama, Takeshi Ishii, Yosinori Uekusa, Koichi Kato, and Shigenori  
Interaction of tea catechins with phospholipids – Roles in their tastes and biological activities  
*J. Food Drug Anal.* **20**, Suppl. 1, 305-308 (2011)

加藤晃一

ガングリオシドクラスターを舞台とするアミロイド $\beta$ の重合開始機構  
「揺らぎと生体機能」ニュースレター, No. 30, 2 (2011)

加藤晃一

「揺らぎと生体機能」平成23年度合同班会議報告  
「揺らぎと生体機能」ニュースレター, No. 32, 8 (2011)

加藤晃一

加藤グループの矢木真穂研究員が日本蛋白質科学会 若手奨励賞を受賞  
「揺らぎと生体機能」ニュースレター, No. 32, 16 (2011)

加藤晃一

常磁性プローブを用いた糖鎖立体構造の NMR 解析法の開発  
「揺らぎと生体機能」ニュースレター, No. 34, 1 (2011)

加藤晃一

均一な糖鎖を発現する遺伝子改変酵母を利用した安定同位体標識法  
「揺らぎと生体機能」ニュースレター, No. 34, 2 (2011)

加藤晃一

中性子小角散乱で探るホモオリゴマータンパク質の4次構造の揺らぎ  
「揺らぎと生体機能」ニュースレター, No. 36, 1 (2011)

加藤晃一

ユビキチン 2 量体のコンフォメーションのダイナミクス  
「揺らぎと生体機能」ニュースレター, No. 36, 2 (2011)

加藤晃一

糖鎖の改変による治療抗体の有効性向上の構造基盤  
「揺らぎと生体機能」ニュースレター, No. 36, 3 (2011)

**加藤晃一**

加藤グループの山本さよこさんがISNMR 2011にて若手ポスター賞を受賞

「揺らぎと生体機能」 ニュースレター, No. 36, 11 (2011)

**植草義徳**

加藤晃一教授が第48回(2011年度)ベルツ賞を受賞

「揺らぎと生体機能」 ニュースレター, No. 37, 7 (2011)

(学会発表)

**Hirokazu Yagi, Noriko Takahashi, and Koichi Kato 【招待講演】**

Development of multi-dimensional HPLC mapping for N-glycans and its application for functional glycomics

98<sup>th</sup> Indian Science Congress. 2011年1月4日 (Chennai) .

**Takumi Yamaguchi, Sayoko Yamamoto, Máté Erdélyi, Christian Griesinger, and Koichi Kato 【招待講演】**

NMR conformational analysis of N-linked oligosaccharides by paramagnetic tagging

98<sup>th</sup> Indian Science Congress. 2011年1月5日 (Chennai) .

**Koichi Kato 【基調講演】**

Sugar-protein interaction systems as potential therapeutic targets

98<sup>th</sup> Indian Science Congress. 2011年1月5日 (Chennai) .

**加藤晃一 【招待講演】**

抗体医薬の開発に向けた多次元 HPLC 法および NMR 法による糖鎖解析技術

技術情報協会セミナー「バイオ/抗体医薬品における特性解析技術と免疫原性評価法」 .  
2011年1月20日 (東京) .

**Koichi Kato 【招待講演】**

Structural Glycomic Approaches to Molecular Recognition Events on Cell Surfaces

IX<sup>th</sup> International Symposium on “Biochemical Roles of Eukaryotic Cell Surface Macromolecules” .  
2011年1月28日 (Trivandrum) .

**加藤晃一 【招待講演】**

複合糖質の構造生物学

岡崎統合バイオサイエンスセンター 10周年記念シンポジウム. 2011年2月11日 (岡崎) .

**Yoshinori Uekusa, Miya Kamihira-Ishijima, Osamu Sugimoto, Ken-ichi Tanji, Kozo Nakamura, Takeshi Ishii, Shigenori Kumazawa, Akira Naito, Tsutomu Nakayama, Koichi Kato**

The molecular mechanism of the interaction between tea catechins and phospholipid membranes by NMR spectroscopy

京都大学大学院理学研究科・基礎生物学研究所・分子科学研究所 三機関若手交流会.  
2011年2月19日 (京都) ; P-27.

Le Anh Nguyen, Yukiko Kamiya, Takumi Yamaguchi, Koichi Kato

Chemical immobilization of *N*-linked oligosaccharides for analyzing their interactions with proteins

The Winter School of SOKENDAI/Asian Core Program “Frontiers of Molecular Science –Life, Material, Energy, and Space”. 2011 年 2 月 20 日 (Okazaki) .

Yoshinori Uekusa, Miya Kamihira-Ishijima, Osamu Sugimoto, Ken-ichi Tanji, Kozo Nakamura, Takeshi Ishii, Shigenori Kumazawa, Akira Naito, Tsutomu Nakayama, Koichi Kato

The molecular mechanism of the interaction between tea catechins and phospholipid membranes by NMR spectroscopy

The Winter School of SOKENDAI/Asian Core Program “Frontiers of Molecular Science –Life, Material, Energy, and Space”. 2011 年 2 月 20 日 (Okazaki) .

Le Anh Nguyen, Yukiko Kamiya, Takumi Yamaguchi, Koichi Kato

Chemical immobilization of *N*-linked oligosaccharides for analyzing their interactions with proteins

The Winter School of SOKENDAI/Asian Core Program “Frontiers of Molecular Science –Life, Material, Energy, and Space”. 2011 年 2 月 22 日 (Okazaki) ; P21-12.

Yoshinori Uekusa, Miya Kamihira-Ishijima, Osamu Sugimoto, Ken-ichi Tanji, Kozo Nakamura, Takeshi Ishii, Shigenori Kumazawa, Akira Naito, Tsutomu Nakayama, Koichi Kato

The molecular mechanism of the interaction between tea catechins and phospholipid membranes by NMR spectroscopy

The Winter School of SOKENDAI/Asian Core Program “Frontiers of Molecular Science –Life, Material, Energy, and Space”. 2011 年 2 月 22 日 (Okazaki) ; P22-04.

Koichi Kato, Hirokazu Yagi, Yukiko Kamiya, Miho Nishio, Takumi Yamaguchi, Sayoko Yamamoto, Maho Yagi-Utsumi, Tsunehiro Mizushima 【招待講演】

A systematic approach to structural glycobiology

Third Korea-Japan Seminar on Biomolecular Sciences-Experiments and Simulations.  
2011 年 2 月 27 日 (Jeju) .

矢木真穂 【招待講演】

ガングリオシドクラスターに結合したアミロイドβペプチドの NMR 構造解析

立命館グローバル・イノベーション研究機構「蛋白質のリフォールディングおよびフォールディング病発症機構の解明のための統合研究」セミナー. 2011 年 3 月 4 日 (滋賀) .

廣本武史, 水島恒裕, 金 相佑, 矢木真穂, 大川慶祐, 佐伯 泰, 田中啓二, 加藤晃一

19S 制御因子の複合体形成を介助するシャペロン分子の機能と構造

平成 22 年度ターゲットタンパク研究プログラム公開シンポジウム.  
2011 年 3 月 11 日 (東京) ; 生命 A2.

加藤晃一

マルチドメインタンパク質の立体構造のダイナミクス

第 12 回分子スケールナノセンター運営委員会. 2011 年 3 月 22 日 (岡崎)

諸原 理, 藤田大士, 佐藤宗太, 山口芳樹, 加藤晃一, 藤田 誠

RDC structural analysis of an oligopeptide within a magnetically oriented host  
磁場配向性ホストに内包されたオリゴペプチドの RDC 構造解析

日本化学会第 91 春季年会(2011). 2011 年 3 月 29 日 (横浜); 4A3-15.

山口拓実, 山本さよこ, 宇野 剛, 加藤晃一

糖鎖の NMR による立体構造解析法の開発

中部地区 4 機関ナノテク総合支援: 平成 22 年度成果報告会. 2011 年 3 月 30 日 (名古屋); P04.

加藤晃一【学術振興賞受賞講演】

タンパク質の翻訳後修飾の構造生物学研究

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡); AL05.

植草義徳, 上平美弥, 杉本 収, 丹治健一, 中村浩蔵, 石井剛志, 熊澤茂則, 加藤晃一, 内藤 晶, 中山 勉

NMR 法によるカテキン類とリン脂質膜との分子間相互作用解析

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡); 30L-pm08.

神谷由紀子, 千葉靖典, 喜多島敏彦, 地神芳文, 加藤晃一

安定同位体標識と超高磁場 NMR 計測を用いた高マンノース型糖鎖の立体構造解析

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡); 30Z-pm01.

矢木宏和, 齋藤拓也, 柳澤 亮, Robert YU, 加藤晃一

神経幹細胞に特異的に発現している LewisX 型糖鎖の機能解析

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡); 30Z-pm03.

栗本英治, 杉山正明, 佐橋広紀, 坂田絵理, 岡本健太, 南 康文, 加藤晃一

中性子小角散乱による PA28 $\alpha\beta$ 複合体および $\alpha 7$  ホモリングの動的・高次構造解析

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡); 30P-0054.

文庫有志, 矢木宏和, 雨宮瑛子, 栗本英治, 加藤晃一

カイコを利用した甘味受容体細胞外領域の大量発現系構築および味覚修飾タンパク質クルクリンとの相互作用

2010 年度 生物物理学会中部支部講演会. 2011 年 3 月 30 日 (名古屋); T-2.

Mahesh S. Chandak, Takashi Nakamura, Koki Makabe, Koichi Kato, Kunihiro Kuwajima  
Hydrogen-exchange studies of the free heptameric GroES

2010 年度 生物物理学会中部支部講演会. 2011 年 3 月 31 日 (名古屋); T-12.

加藤晃一【招待講演】

天然及び非天然変性状態にあるタンパク質の NMR 研究の実際

天然変性タンパク質の分子認識機構と機能発現 第 2 回若手育成講習会  
「NMR によるタンパク質解析法の基礎的理解」. 2011 年 4 月 26 日 (大阪).

Trinh Xuan Ahn, Takumi Yamaguchi, Koichi Kato

Preparation of water-soluble glycoconjugated poly(acrylamide) for NMR analyses of carbohydrate-carbohydrate interactions

EXODASS (post-JENESYS) Program by IMS 2011, "Improvement of Fundamental Research Base for Environmental and Energy Problem" Mini Symposium. 2011年5月26日(岡崎).

矢木真穂, 加藤晃一【招待講演】【若手奨励賞】

ガングリオシドクラスターを舞台とするアミロイドβの構造転移と分子間相互作用

Conformational transition and intermolecular interaction of amyloid β promoted on ganglioside clusters

第11回日本蛋白質科学会年会. 2011年6月8日(大阪); 2SA-03,2P-107.

加藤晃一【招待講演】

糖鎖によるタンパク質の運命と機能の制御

第27回日本DDS学会. 2011年6月10日(東京).

加藤晃一【招待講演】

NMRで探る神経変性疾患の分子メカニズム

第8回原子・分子・光科学(AMO)討論会. 2011年6月18日(東京).

矢木真穂【招待講演】

GM1クラスターを舞台とするアミロイドβの重合開始機構

第12回若手NMR研究会. 2011年6月24日(滋賀).

花島慎弥, 加藤晃一, 山口芳樹

水酸基プロトン交換速度に着目したLewisX糖鎖間の相互作用解析

第38回生体分子科学討論会. 2011年6月24日(筑波); 39.

加藤晃一

NMRを利用したタンパク質・複合糖質の揺らぎの検出とその機能関連の探査

新学術領域「揺らぎと生体機能」平成23年度合同班会議. 2011年6月27日(夕張).

佐藤匡史

GPIアンカー型タンパク質の輸送シグナルの提示と検知の構造生物学

新学術領域研究「構造細胞生物学」第2回全体会議. 2011年7月7日(奈良).

大川慶祐, 矢木真穂, 廣本武史, 矢木宏和, 水島恒裕, 佐藤匡史, 加藤晃一

NMR法を用いた分子シャペロンUmp1とプロテアソームサブユニット複合体との相互作用解析

第57回日本薬学会東海支部総会大会. 2011年7月9日(名古屋); B1730.

藤田盛久, 佐藤匡史, 加藤雅樹, 山口芳樹, 前田裕輔, 木下タロウ

GPIの構造変化と積荷受容体p24によるGPIアンカー型タンパク質輸送の制御

第30回日本糖質学会年会. 2010年7月11日(長岡); A1-06.

金川真由美, 佐藤匡史, 池田明美, 中野佑妃子, 矢木宏和, 加藤晃一, 相川京子, 山口芳樹  
ヒト ZG16p と ZG16b は Jacalin と同様のβ-プリズムフォールドを有する  
第 30 回 日本糖質学会年会. 2010 年 7 月 12 日 (長岡) ; P-053.

矢木真穂, 加藤晃一  
ガングリオシドクラスターが誘起するアミロイドβ重合の開始機構の解明  
第 30 回 日本糖質学会年会. 2010 年 7 月 12 日 (長岡) ; P-107.

吉村 武, 鳴海麻衣, 矢木宏和, 北村邦男, Jan Sedzik, 加藤晃一, 池田一裕  
末梢神経髄鞘の主要構成蛋白質 myelin protein zero の糖鎖構造  
第 30 回 日本糖質学会年会. 2010 年 7 月 13 日 (長岡) ; P-108.

竹内英明, 今村幸治, 平山 真, 堀 貴治  
レクチンによるブドウ球菌属の識別  
第 31 回糖質学会年会. 2011 年 7 月 13 日 (長岡) ; P-112.

矢部宇一郎  
3D HPLC 法による糖鎖構造解析  
第 1 回「糖鎖科学中部拠点」研究会. 2011 年 7 月 15 日 (名古屋) .

矢木真穂  
ガングリオシドクラスターを舞台とするアミロイドβの重合開始機構  
第 1 回「認知症研究を知る若手研究者の集まり」. 2011 年 7 月 31 日 (大府) .

神谷由紀子【招待講演】  
糖タンパク質の細胞内運命決定機構の構造基盤  
生化学若い研究者の会 第 3 回名古屋支部セミナー. 2011 年 8 月 19 日 (名古屋) .

加藤晃一【依頼講演】  
糖鎖が広げるタンパク質の世界  
科学技術振興機構研究開発戦略センター俯瞰ワークショップ「構造生命科学」.  
2011 年 9 月 10 日 (東京) .

Yoshiki Yamaguchi【招待講演】  
Structural glycobiology approach: a glimpse into the recognition event of glycan-binding protein  
第 31 回内藤コンファレンス. 2011 年 9 月 15 日 (札幌) ; D-2.

Koichi Kato【招待講演】  
Structural and molecular basis of carbohydrate-protein interaction systems as potential therapeutic targets  
第 31 回内藤コンファレンス. 2011 年 9 月 15 日 (札幌) ; D-3.

Takeshi Yoshimura, Mai Narumi, Hirokazu Yagi, Kunio Kitamura, Jan Sedzik, Koichi Kato, Kazuhiro Ikenaka  
Structure determination of *N*-glycans on a few pmol glycoprotein and its application to the structural analysis of *N*-glycans on myelin protein zero  
第 31 回内藤コンファレンス. 2011 年 9 月 15 日 (札幌) ; PS[II]-22.

Tsutomu Fujimori, Yukiko Kamiya, Koichi Kato, Kazuhiro Nagata, Mobuko Hosokawa  
Functional analysis of MRH domain-containing lectin XTP3-B in mammalian endoplasmic reticulum  
quality control

第 31 回内藤コンファレンス. 2011 年 9 月 15 日 (札幌); PS[II]-56.

**加藤晃一【招待講演】**

ユビキチン-プロテアソームシステムにおけるオリゴマータンパク質の構造揺らぎ  
Conformational fluctuations of oligomeric proteins involved in the ubiquitin-proteasome system

第 49 回日本生物物理学会年会. 2011 年 9 月 17 日 (姫路); 2SG-01.

Mahesh Chandak, Takashi Nakamura, Koki Makabe, Uin Chen, Koichi Kato, Kunihiro  
Kuwayama

Dynamic structural fluctuations of free heptameric GroES studied by hydrogen-exchange 2D NMR  
techniques

第 49 回日本生物物理学会年会. 2011 年 9 月 17 日 (姫路); 2D1648.

**矢木宏和【招待講演】**

神経細胞の分化における N 型糖鎖の機能解明

The functional significance of the N-glycans in the differentiation of neural stem cells

第 34 回日本神経科学大会. 2011 年 9 月 17 日 (横浜); MS4-E-1.

齋藤拓也, 矢木宏和, 柳澤 亮, Robert K. Yu, 加藤晃一

LewisX 型糖鎖の神経細胞系における特異的な発現とその機能解析

第 84 回日本生化学会大会. 2011 年 9 月 22 日, 23 日 (京都); 2T8a-2, 3P-0002.

藤田盛久, 佐藤匡史, 加藤雅樹, 山口芳樹, 前田裕輔, 木下タロウ

p24 ファミリータンパク質は、リモデリングされた GPI アンカーに結合し、輸送小胞へ組込  
む積荷受容体である

第 84 回 日本生化学会大会. 2010 年 9 月 22 日 (京都); 2T15a-5.

金川真由美, 池田明美, 佐藤匡史, 中野佑妃子, 相川京子, 山口芳樹

ヒト ZG16p レクチンのリガンド認識の多様性の構造基盤

第 84 回 日本生化学会大会. 2010 年 9 月 23 日 (京都); 3P-0041.

吉田将人, 大澤宏祐, 高木基樹, 広川貴次, 植草義徳, 加藤晃一, 新家一男, 夏目 徹, 土  
井隆行

タンパク質間相互作用阻害活性を有する Thielocin B1 の全合成と相互作用解析

第 53 回天然有機化合物討論会. 2011 年 9 月 29 日 (大阪); 41.

**Koichi Kato【招待講演】**

Structural and dynamics views of the ubiquitin-proteasome system

The 11<sup>th</sup> KIAS Conference on Protein Structure and Function. 2011 年 10 月 6 日 (Seoul) .

**Koichi Kato【招待講演】**

A systematic approach for structural glycoproteomics

The 23rd Annual Meeting of the Korean Society for Molecular and Cellular Biology.  
2011 年 10 月 7 日 (Seoul) .



Koichi Kato, Hirokazu Yagi, Takumi Yamaguchi, Sayoko Yamamoto, Yukiko Kamiya, Maho Yagi-Utsumi 【招待講演】

NMR analyses of carbohydrate-protein interaction systems as potential therapeutic targets

Glycobiology Japan-Netherland Joint Seminar 2011. 2011年10月10日（名古屋）.

Koichi Kato 【招待講演】

Structural views of functional and pathological roles of sugar chains

第71回岡崎コンファレンス「糖鎖分子科学の新たな展望」. 2011年10月12日（岡崎）.

Mayumi Kanagawa, Tadashi Satoh, Akemi Ikeda, Yoshiyuki Adachi, Naohito Ohno, and Yoshiki Yamaguchi

A novel binding mode of beta-GRP/GNBP3 N-terminal domain with laminarhexaose - structural insight into recognition of triple-helical beta-glucan

第71回岡崎コンファレンス「糖鎖分子科学の新たな展望」. 2011年10月13日（岡崎）; P7.

Sayoko Yamamoto, Takumi Yamaguchi, Máté Erdélyi, Christian Griesinger, Koichi Kato

Paramagnetic NMR approach to analyses of conformations and dynamics of oligosaccharides in solution

第71回岡崎コンファレンス「糖鎖分子科学の新たな展望」. 2011年10月13日（岡崎）; P8.

Yukiko Kamiya, Sayoko Yamamoto, Yasunori Chiba, Yoshifumi Jigami, and Koichi Kato

Development of metabolic <sup>13</sup>C-labeling techniques for NMR analyses of high-mannose-type oligosaccharides using genetically engineered yeast strains

第71回岡崎コンファレンス「糖鎖分子科学の新たな展望」. 2011年10月13日（岡崎）; P10.

Hirokazu Yagi, Takuya Saito, Makoto Yanagisawa, Robert K. Yu and Koichi Kato

Lewis X containing glycans expressed on mouse embryonic neural stem cells regulates their proliferation via Notch signaling pathway

第71回岡崎コンファレンス「糖鎖分子科学の新たな展望」. 2011年10月13日（岡崎）; P12.

Takeshi Yoshimura, Mai Narumi, Hirokazu Yagi, Kunio Kitamura, Jan Sedzik, Koichi Kato and Kazuhiro Ikenaka

An analytical method for N-glycans on a few pmol glycoprotein and its application to the analysis of N-glycans on myelin protein zero

第71回岡崎コンファレンス「糖鎖分子科学の新たな展望」. 2011年10月13日（岡崎）; P15.

Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato

NMR spectroscopic characterization of the pathogenic interaction of amyloid  $\beta$  peptide with ganglioside clusters

第71回岡崎コンファレンス「糖鎖分子科学の新たな展望」. 2011年10月13日（岡崎）; P17.

Shinya Hanashima, Koichi Kato, Yoshiki Yamaguchi

<sup>13</sup>C-NMR quantification of proton exchange at LewisX hydroxyl groups in water

第71回岡崎コンファレンス「糖鎖分子科学の新たな展望」. 2011年10月14日（岡崎）.

**西尾美穂, 神谷由紀子, 佐藤匡史, 内海真穂, 加藤晃一【受賞講演】**

レクチンとカルシウム結合タンパク質の協働的相互作用による血液凝固因子の細胞内輸送の構造基盤

糖鎖科学名古屋拠点 “第9回若手のカフォーラム”. 2011年10月22日 (岐阜); S-2.

**神谷由紀子, 山本さよこ, 千葉靖典, 喜多島敏彦, 地神芳文, 加藤晃一**

遺伝子改変酵母を用いて安定同位体標識を施した高マンノース型糖鎖の超高磁場 NMR 解析

糖鎖科学名古屋拠点 “第9回若手のカフォーラム”. 2011年10月22日 (岐阜); P-5.

**山口拓実, Zhang Ying, 山本さよこ, 加藤晃一**

常磁性プローブを用いた糖鎖の NMR 立体構造解析

糖鎖科学名古屋拠点 “第9回若手のカフォーラム”. 2011年10月22日 (岐阜); P-6.

**住田瑞季, 矢部宇一郎, 宮城妙子, Sadagopan Magesh, 木曾 真, 北島 健, 佐藤ちひろ**

エキソソーム局在シアリダーゼの発見およびその分泌機構の解析

糖鎖科学名古屋拠点 “第9回若手のカフォーラム”. 2011年10月22日 (岐阜); O-3.

**Koichi Kato【招待講演】**

Structural views of biological functions of sugar chains

瀋陽薬科大学大学院特別講義. 2011年10月25日 (Shenyang) .

**Maho Yagi-Utsumi【招待講演】**

Conformational transition and intermolecular interaction of amyloid  $\beta$  molecules promoted on GM1 clusters

瀋陽薬科大学大学院特別講義. 2011年10月25日 (Shenyang) .

**Koichi Kato**

Structural and Molecular Basis of Carbohydrate-Protein Interaction Systems as Potential Therapeutic Targets

3<sup>rd</sup> Asian Communications of Glycobiology and Glycotechnology (ACGG 3<sup>rd</sup> Conference).

2011年10月27日・28日 (ポスター), 29日 (口頭) (Shanghai) .

**Maho Yagi-Utsumi and Koichi Kato**

NMR characterization of interaction modes of amyloid  $\beta$  with ganglioside clusters

3<sup>rd</sup> Asian Communications of Glycobiology and Glycotechnology (ACGG 3<sup>rd</sup> Conference).

2011年10月27日・28日 (Shanghai) .

**Ying Zhang, Takumi Yamaguchi, Sayoko Yamamoto and Koichi Kato**

NMR Study of the Conformation and Dynamics of GM3 Sugar Moiety by Paramagnetic-tagging

3<sup>rd</sup> Asian Communications of Glycobiology and Glycotechnology (ACGG 3<sup>rd</sup> Conference).

2011年10月27日・28日 (Shanghai) .

**Shinya Hanashima, Koichi Kato and Yoshiki Yamaguchi**

Observation of Hydroxyl Proton Exchanges in a LewisX-LewisX Interaction by <sup>13</sup>C-NMR

3<sup>rd</sup> Asian Communications of Glycobiology and Glycotechnology (ACGG 3<sup>rd</sup> Conference).

2011年10月27日・28日 (Shanghai) .

**Yukiko Kamiya 【招待講演】**

Molecular basis of glycoprotein-fate determination through interactions with intracellular lectins  
Nagoya University Global COE Mini-Symposium:Toward Systems Glycobiology  
“Biosynthesis and catabolism of glycoproteins”. 2011 年 11 月 7 日（名古屋）.

**Tadashi Satoh 【招待講演】**

Structural basis of sugar recognition by intracellular lectins involved in glycoprotein transport and degradation

Nagoya University Global COE Mini-Symposium:Toward Systems Glycobiology  
“Biosynthesis and catabolism of glycoproteins”. 2011 年 11 月 7 日（名古屋）.

Ganesh Prasad Subedi, Tadashi Satoh, Shinya Hanashima, Akemi Ikeda, Hiroshi Nakada, Reiko Sato, Mamoru Mizuno, Noriyuki Yuasa, Yoko Fujita-Yamaguchi, Yoshiki Yamaguchi  
NMR analysis of an anti-carbohydrate antibody MLS128 single-chain Fv fragment toward elucidation of the multivalent recognition mechanism

2011 Annual Conference of the Society for Glycobiology. 2011 年 11 月 10 日（Seattle）.

**加藤晃一 【招待講演】**

第 3 の生命鎖＝糖鎖の分子科学

計算分子科学研究拠点 第 1 回実験化学との交流シンポジウム. 2011 年 11 月 11 日（京都）.

**Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato**

Conformational transition and intermolecular interaction of amyloid  $\beta$  molecules promoted on ganglioside clusters

第 50 回 NMR 討論会記念国際シンポジウム ISNMR2011. 2011 年 11 月 16 日（横浜）; L-04.

**Jun Uzawa, Shinya Hanashima, Yumiko Kubota, Hiroko Seki, Yoshiki Yamaguchi**

NMR Difference Spectroscopy and its application to GPI glycan

第 50 回 NMR 討論会記念国際シンポジウム ISNMR2011. 2011 年 11 月 18 日（横浜）; L-31.

**Yukiko Kamiya, Sayoko Yamamoto, Yasunori Chiba, Yoshifumi Jigami, Koichi Kato**

Development of metabolic isotope-labeling techniques for NMR spectroscopic analyses of highmannose-type oligosaccharides

第 50 回 NMR 討論会記念国際シンポジウム ISNMR2011.  
2011 年 11 月 16 日・18 日（横浜）; P-015.

**Souichirou Kitazawa, Maho Yagi-Utsumi, Akemi Ido, Makoto Urushitani, Kenji Sugase, Koichi Kato, Ryo Kitahara**

Structure, dynamics and function of high-energy state mutant of ubiquitin

第 50 回 NMR 討論会記念国際シンポジウム ISNMR2011.  
2011 年 11 月 16 日・18 日（横浜）; P-037.

**Ryo Kitahara, Takashi Hirano, Maho Yagi-Utsumi, Kazumi Hata, Kasuyuki Akasaka, Koichi Kato**

Conformational fluctuation of Lys48-linked diubiquitin studied by high pressure NMR spectroscopy

第 50 回 NMR 討論会記念国際シンポジウム ISNMR2011.  
2011 年 11 月 16 日・18 日（横浜）; P-059.

Shinya Hanashima, Koichi Kato, Yoshiki Yamaguchi

$^{13}\text{C}$ -NMR analysis for the quantitative observation of rapid proton exchange on LewisX hydroxyl groups in water

第 50 回 NMR 討論会記念国際シンポジウム ISNMR2011.  
2011 年 11 月 16 日・18 日 (横浜); P-072.

Sayoko Yamamoto, Takumi Yamaguchi, Ying Zhang, Máté Erdélyi, Christian Griesinger, Koichi Kato 【若手ポスター賞受賞】

Application of paramagnetic NMR to analyses of conformations and dynamics of oligosaccharides

第 50 回 NMR 討論会記念国際シンポジウム ISNMR2011.  
2011 年 11 月 16 日・18 日 (横浜); P-075.

神谷由紀子

糖鎖認識を介したタンパク質社会の秩序維持機構の構造基盤の解明

特定領域研究「タンパク質の社会」平成 23 年度班会議. 2011 年 11 月 21 日 (別府) .

佐藤匡史

糖鎖修飾とユビキチン・プロテアソーム系の構造生物学研究

特定領域研究「タンパク質の社会」平成 23 年度班会議. 2011 年 11 月 22 日 (別府) .

蜷川 暁, 住吉嘉樹, 神谷由紀子, 堀本 賢, 岡田徹也, 武田俊一, 加藤晃一, 森 和俊

ニワトリ DT40 細胞を用いた EDEM Triple KO 細胞の解析

特定領域研究「タンパク質の社会」平成 23 年度班会議. 2011 年 11 月 22 日 (別府); P15.

矢木真穂

GM1 クラスタが誘起するアミロイド  $\beta$  重合の開始機構の解明

特定領域研究「タンパク質の社会」平成 23 年度班会議. 2011 年 11 月 22 日 (別府); P59.

Soh Yamamoto, Ganesh Prasad Subedi, Shinya Hanashima, Tadashi Satoh, Yoshiki Yamaguchi, Kubota Hiroshi and Hideaki Itoh

Co-chaperone HOP (HSP70/HSP90 Organizing Protein) has ATPase activity and changes its conformation in the presence of ATP

特定領域研究「タンパク質の社会」平成 23 年度班会議. 2011 年 11 月 22 日 (別府); P63.

雲井健太郎, 佐藤匡史, 矢木宏和, 廣本武史, 水島恒祐, 内山 進, 野田勝紀, 村田和義, 神谷由紀子, 加藤晃一

古細菌 PbaB によるプロテアソーム活性化機構の構造基盤

特定領域研究「タンパク質の社会」平成 23 年度班会議. 2011 年 11 月 22 日 (別府); P67.

藤森 力, 神谷由紀子, 加藤晃一, 永田和広, 細川暢子

XTP3-B が担う新たな小胞体品質管理機構の解析

特定領域研究「タンパク質の社会」平成 23 年度班会議. 2011 年 11 月 22 日 (別府); P78.

Tsutomu Nakayama, Takeshi Ishii, Yosinori Uekusa, Koichi Kato, and Shigenori

Interaction of tea catechins with phospholipids – Roles in their tastes and biological activities

2011 International Conference of Food Factors. 2011 年 11 月 22 日 (Taipei) .

**加藤晃一【招待講演】**

IgG と FcγレセプターIII の相互作用における糖鎖の役割

第9回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム. 2011年11月24日(名古屋).

**佐藤匡史【招待講演】**

糖鎖認識を介した糖タンパク質の輸送と分解の構造基盤

平成23年度日本結晶学会年会. 2011年11月25日(札幌); SC-01.

高木賢治, 金相佑, 佐伯泰, 田中啓二, 加藤晃一, 水島恒裕

プロテアソーム 19S 制御複合体の分子集合を支援する新規シャペロン Hsm3 の構造とメカニズム

平成23年度日本結晶学会年会. 2011年11月25日(札幌); OC-II-09, PC-26.

水島恒裕, 金相佑, 西出旭, 佐伯泰, 田中啓二, 加藤晃一

プロテアソーム分子集合シャペロン Rpn14 E384A 変異体の結晶構造解析

平成23年度日本結晶学会年会. 2011年11月25日(札幌); PC-20.

**加藤晃一【招待講演】**

多次元 HPLC 法および NMR 法による糖鎖解析技術

技術情報協会セミナー「抗体/バイオ医薬品の各種分析法とバリデーション」.  
2011年11月30日(東京).

Ying Zhang, Takumi Yamaguchi, Sayoko Yamamoto, and Koichi Kato

Investigation of conformations and dynamics of gangliosides by NMR technique

The 8th SOKENDAI student seminar. 2011年12月1日(掛川).

Chandak Mahesh, Takashi Nakamura, Koki Makabe, Jin Chen, Koichi Kato, and Kunihiro Kuwajima

Dynamic structural fluctuation of free heptameric GroES studied by the use of hydrogen-exchange technique and 2D NMR

The 8th SOKENDAI student seminar. 2011年12月2日(掛川).

**佐藤匡史【奨励賞受賞講演】**

細胞内レクチンによる糖タンパク質品質管理の構造基盤

東京糖鎖研究会 (GlycoTokyo) 2011 シンポジウム. 2011年12月9日(埼玉).

金川真由美, 池田明美, 佐藤匡史, 中野佑妃子, 相川京子, 山口芳樹

ヒト ZG16p とオリゴ糖鎖の複合体の X 線結晶構造解析

東京糖鎖研究会 (GlycoTokyo) 2011 シンポジウム. 2011年12月9日(埼玉); P-58.

Tsutomu Fujimori, Yukiko Kamiya, Koichi Kato, Kazuhiro Nagata, Nobuko Hosokawa

The novel role of MRH domain-containing lectin XTP3-B in endoplasmic reticulum quality control

第34回日本分子生物学会年会. 2011年12月15日(横浜); 3P-0635. 16日; 4T14pI-8.

**佐藤匡史【招待講演】**

タンパク質の翻訳後修飾の構造生物学研究

日本大学生物資源科学部生命化学セミナー. 2011年12月17日(藤沢).

加藤政博, 齊藤真司, 加藤晃一, 永田 央, 西村勝之

分子科学研究所の共同利用装置

総研大国際シンポジウム 2011 「総研大のリサーチソース」. 2011 年 12 月 18 日 (岡崎) .

佐伯 泰, 西尾和也, 坂田絵理, 平野貴志, W. Baumeister, 加藤晃一, 森本幸生, 田中啓二  
細胞内タンパク質分解装置構造と活性調節機構

ターゲットタンパク研究プログラム 平成 23 年度成果報告会. 2011 年 12 月 27 日 (東京) .

廣本武史, 佐伯 泰, 雲井健太郎, 大川慶祐, 高木賢治, 金 相佑, 水島恒裕, 加藤晃一,  
田中啓二

細胞内タンパク質分解装置の形成機構

ターゲットタンパク研究プログラム 平成 23 年度成果報告会. 2011 年 12 月 27 日 (東京) .

## 【分子生物薬学分野】

(原報)

Hiroshi Hashizume, Urara Gomita, Masayoshi Imagawa, and Shigehiro Osada.

Histone methyltransferase PR-Set7 and histone variant H2A.Z, induced during hepatocarcinogenesis, repress the promoter activity of the tumor marker gene and the ras-induced colony formation activity.

*J. Health Sci.*, **57**, 264-273 (2011).

Masae Ohno, Jun Komakine, Eiko Suzuki, Makoto Nishizuka, Shigehiro Osada, and Masayoshi Imagawa.

Interleukin enhancer-binding factor 3 functions as liver receptor homolog-1 co-activator in synergy with the nuclear receptor coactivators, PRMT1 and PGC-1 $\alpha$ .

*Biochem. J.*, **437**, 531-540 (2011).

Takahiro Hayashi, Yuriko Nozaki, Makoto Nishizuka, Masahito Ikawa, Shigehiro Osada, and Masayoshi Imagawa.

Factor for adipocyte differentiation 158 gene disruption prevents the body weight gain and insulin resistance induced by a high-fat diet.

*Biol. Pharm. Bull.*, **34**, 1257-1263 (2011).

Keishi Kishimoto, Makoto Nishizuka, Takashi Ueda, Kenji Kajita, Shinya Ugawa, Shoichi Shimada, Shigehiro Osada, and Masayoshi Imagawa.

Indispensable role of factor for adipocyte differentiation 104 (*fad104*) in lung maturation.

*Exp. Cell Res.*, **317**, 2110-2123 (2011).

(総説・著書・総合論文など)

長田茂宏

分子遺伝学の基礎と応用

「21世紀の考える薬学微生物学」第3版(共著)池澤宏郎編, 廣川書店 pp89-110, (2011).

今川正良

分子遺伝学の基礎と応用

「21世紀の考える薬学微生物学」第3版(共著)池澤宏郎編, 廣川書店 pp111-150, (2011).

長田茂宏

ヘテロクロマチン

*生化学*, **83**, 1068 (2011).

長田茂宏

ヒストンアセチル化

*生化学*, **83**, 1068 (2011).

(学会発表)

**今川正良**

パネルディスカッション「バイオの安心・安全」コーディネーター

名古屋市立大学・日本政策投資銀行連携市民公開シンポジウム 2011年1月13日(名古屋)。

**岸本圭史, 西塚誠, 長田茂宏, 今川正良**

新規遺伝子 *fad104* は肺形成に必須である

第131年会 日本薬学会 2011年3月31日(静岡); 31M-am10.

**落合なつき, 城村由和, 岸本圭史, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良**

脂肪細胞分化を正に制御する新規遺伝子 *fad24* の生体内における機能解析

第131年会 日本薬学会 2011年3月31日(静岡); 31M-pm07.

**加藤大輝, 岸本圭史, 加藤愛友美, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良**

新規遺伝子 *fad104* の細胞機能の解析

第131年会 日本薬学会 2011年3月31日(静岡); 31M-pm08.

**Keishi Kishimoto, Makoto Nishizuka, Shigehiro Osada, and Masayoshi Imagawa.**

Novel gene *fad104* is required for lung morphogenesis.

Experimental Biology 2011 (EB2011) 2011年4月13日(Washington); LB19.

**今川正良【依頼講演】**

肥満のサイエンス～脂肪は善玉か悪玉か～

ウェルフェア 2011 (第14回国際福祉健康産業展)

ウェルフェア健康大学(ポートメッセなごや) 2011年5月21日(名古屋)。

**落合なつき, 桐村拓也, 岸本圭史, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良**

脂肪細胞分化に関わる新規遺伝子 *fad24* の骨格筋における機能解析

第57回 日本薬学会東海支部大会 2011年7月9日(名古屋); B1430.

**長田茂宏**

Identification of factors interacting with histone chaperon Asf1p.

第2回 高次クロマチン研究会 2011年8月9日(蒲郡)。

**長田茂宏【依頼講演】**

化学発がん過程において発現変化するエピジェネティクスを制御する因子の解析

第10回 日本化学工業協会 LRI 研究報告会 2011年8月26日(東京)。

**岸本圭史, 西塚誠, 植田高史, 梶田健二, 鶴川眞也, 島田 昌一, 長田茂宏, 今川正良**

脂肪細胞分化関連遺伝子 *fad104* は肺胞上皮 II 型細胞の分化に必須である

第84回 日本生化学会大会 2011年9月22日(京都); 2P-0481, 2T14p-7.

**西塚誠, 浅野真美, 若林まい, 佐藤 周史, 長田茂宏, 今川正良**

脂肪細胞分化過程における *KCNK10* および *KCNK2* の役割

第84回 日本生化学会大会 2011年9月23日(京都); 3P-0395.



長田茂宏, 吉見千明, 松本美保, 今川正良

肝化学発がん過程において発現上昇するヒストンメチル化酵素 CARM1 の機能解析

第 84 回 日本生化学会大会 2011 年 9 月 23 日 (京都) ; 3P-0436.

加藤大輝, 西塚誠, 岸本圭史, 長田茂宏, 今川正良

新規遺伝子 fad104 がヒトメラノーマ細胞の移動能に与える影響の解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2011  
2011 年 11 月 23 日 (名古屋) ; C-A06.

落合なつき, 桐村拓也, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良

Fad24, a novel gene promoting adipogenesis, is involved in early embryonic development and muscle regeneration.

第 34 回 日本分子生物学会年会 2011 年 12 月 13 日 (京都) ; 1T6pI, 1P-0022.

## 【薬物送達学分野】

(原報)

Tetsuya Ozeki, Yuuki Takashima, Tatsu Nakano, Hiroshi Yuasa, Makoto Kataoka, Shinji Yamashita, Taiga Tatsumi, and Hiroaki Okada

Preparation of spray-dried microparticles using Gelucire 44/14 and porous calcium silicate or spherical microcrystalline cellulose to enhance transport of water-insoluble pranlukast hemihydrate across Caco-2 monolayers.

*Adv. Powder Technol.*, **22(5)**, 623-628(2011).

Tatsuaki Tagami, Warren D. Foltz, Mark J. Ernsting, Carol M. Lee, Ian F. Tannock, Jonathan May and Shyh-Dar Li

MRI monitoring of intratumoral drug delivery and prediction of the therapeutic effect with a multifunctional thermosensitive liposome.

*Biomaterials*, **32(27)**, 6590-6578 (2011).

Tatsuaki Tagami, Mark J Ernsting and Shyh-Dar Li

Optimization of a novel and improved thermosensitive liposome formulated with DPPC and Brij surfactant using a robust in vitro system.

*J. Control. Release*, **154(3)**, 290-297 (2011).

Tatsuaki Tagami, Mark J Ernsting and Shyh-Dar Li

Efficient tumor regression by a single and low dose treatment with a novel and enhanced formulation of thermosensitive liposomal doxorubicin.

*J. Control. Release*, **152(2)**, 303-309 (2011).

Tatsuaki Tagami, Yumi Uehara, Naoto Moriyoshi, Tatsuhiro Ishida and Hiroshi Kiwada

Anti-PEG IgM production by siRNA encapsulated in a PEGylated lipid nanocarrier is dependent on the sequence of the siRNA.

*J. Control. Release*, **151(2)**, 149-154 (2011).

Tatsuaki Tagami, Takuya Suzuki, Kiyomi Hirose, Jose Mario Barichello, Naoshi Yamazaki, Tomohiro Asai, Naoto Oku, Tatsuhiro Ishida and Hiroshi Kiwada

Argonaute2 is a potential target for siRNA-based cancer therapy for HT1080 human fibrosarcoma.

*Drug Delivery and Translational Research*, **1(4)**, 277-288 (2011).

Shyh-Dar Li, Tatsuaki Tagami, Ying-Fu Ho and Chen-Hsiang Yeang

Deciphering causal and statistical relations of molecular aberrations and gene expressions in NCI-60 cell lines.

*BMC Systems Biology*, **5**, 186(2011).

Jose Mario Barichello, Shinji Kizuki, Tatsuaki Tagami, Tomohiro Asai, Tatsuhiro Ishida, Hiroshi Kikuchi, Naoto Oku and Hiroshi Kiwada

Agitation during lipoplex formulation improves the gene knockdown effect of siRNA.

*Int. J. Pharm.*, **410(1-2)**, 153-160 (2011).

(総説・著書・総合論文など)

**尾関哲也**

粉体工学会誌

「肺胞マクロファージを標的とした結核治療のための経肺投与ナノ DDS」, 粉体工学会誌 pp140-144, (2011) .

**尾関哲也**

Colloid & Interface Communication

「Anti-solvent 効果を利用した新規 2 液混合型スプレーノズルによるポリマー・薬物ナノ粒子の設計」, コロイドおよび界面化学部会, 日本化学会 36(2), pp6-9, (2011) .

**田上辰秋, 尾関哲也**

製剤機械技術学会誌

「ポリエチレングリコール (PEG) を用いたドラッグデリバリーシステムにおける盲点—生理的に不活性な PEG によって引き起こされる予想外の免疫応答とその仕組み—」, 製剤機械技術学会 20(4), pp32-39, (2011) .

**尾関哲也**

日本化粧品学会誌

「薬学部をめぐる状況—名古屋市立大学薬学部—」, 日本化粧品学会 35(1), pp72-73, (2011) .

**尾関哲也**

エピソード—物理化学—後藤了、小暮健太郎編, 京都廣川書店, (2011) .

(学会発表)

**尾関哲也**

DDS に向けたナノ・マイクロ粒子設計に関する研究

第4回「メディショナルナノテク研究会」. 2011年2月1日 (愛知)

**尾関哲也**

特殊なノズルを装着したスプレードライヤーによる薬物/ポリマーナノ粒子の設計

住友化学農業研究所講演会. 2011年2月2日 (兵庫)

**深水啓朗, 東 初樹, 亀谷晋央, 辰巳泰我, 尾関哲也, 古石誉之, 鈴木豊史, 伴野和夫**

混合粉碎法によるアセトアミノフェンの Cocrystal 形成に関する検討

日本薬学会第 131 年会. 2011年3月29-31日 (静岡)

**深水啓朗, 小宮佑太, 青木麻里子, 亀谷晋央, 辰巳泰我, 鈴木豊史, 尾関哲也, 伴野和夫**

混合粉碎法による Cocrystal 形成に及ぼす温度条件の影響

日本薬剤学会第 26 年会. 2011年5月29-31日 (東京)

田上辰秋, Mark J Ernsting, Shyh-Dar Li, 尾関哲也

Thermosensitive liposome (HaT)による腫瘍選択的な抗癌剤送達と治療効果の検討

日本薬剤学会第26年会. 2011年5月29-31日(東京)

田上辰秋 【ワークショップでの招待講演】

免疫刺激性 siRNA 含有 PEG 修飾脂質ナノ粒子によって誘導される抗 PEG 抗体分泌の機構

日本薬剤学会第26年会. 2011年5月29-31日(東京)

橋本洋佑, 森吉直人, 上原友美, 田上辰秋, 石田竜弘, 際田弘志

siRNA 含有 PEG 修飾ナノキャリアによる anti-PEG IgM 誘導におけるトール様受容体(TLR)の関与

第27回日本 DDS 学会学術集会. 2011年6月9-10日(東京)

田上辰秋, Mark J Ernsting, Shyh-Dar Li, 尾関哲也

高い薬物放出能と温度制御能を有した新規温熱感受性リポソーム(HaT)の開発と温熱療法の併用による抗腫瘍効果の検討

第27回日本 DDS 学会学術集会. 2011年6月9-10日(東京)

伊藤竜也, 田上辰秋, 辰巳泰我, 瀧井猛将, 小野寄菊夫, 尾関哲也

抗結核薬の経肺投与を目的とした S/O/W エマルジョンの設計と物性評価に関する検討

第57回日本薬学会東海支部総会・大会. 2011年7月9日(愛知)

水迫英己, 田上辰秋, 辰巳泰我, 服部憲治郎, 尾関哲也

葉酸7分岐修飾βシクロデキストリン/ドキシソルビシン結合体の調製と葉酸受容体高発現腫瘍細胞株に対するターゲティング能力の評価

第57回日本薬学会東海支部総会・大会. 2011年7月9日(愛知)

亀谷晋央, 深水啓朗, 田上辰秋, 辰巳泰我, 鈴木豊史, 伴野和夫, 尾関哲也

アセトアミノフェンの Cocrystal スクリーニングにおける混合粉砕法の活用

第57回日本薬学会東海支部総会・大会. 2011年7月9日(愛知)

照喜名孝之, 田上辰秋, 辰巳泰我, 内藤禎人, 市川哲雄, 尾関哲也

骨の再生医療を目的とした O/W および W/O/W 水中乾燥法による Simvastatin 含有 PLGA マイクロ粒子製剤の調製

第57回日本薬学会東海支部総会・大会. 2011年7月9日(愛知)

西尾 碧, 田上辰秋, 辰巳泰我, 田中俊幸, 藤井正詞, 尾関哲也

特殊なスプレーノズルを用いた Simvastatin ナノ粒子含有マイクロ粒子の調製

第57回日本薬学会東海支部総会・大会. 2011年7月9日(愛知)

田上辰秋 【受賞講演】

PEG化製剤を利用した siRNA デリバリーシステムにおいて siRNA により誘導される免疫応答が体内動態に与える影響に関する研究

第36回製剤セミナー. 2011年7月20-22日(講演は20日)(静岡)

**Tetsuya Ozeki 【Keynote Presentation】**

Nanoparticles for Oral/Pulmonary Drug Delivery Using Special Spray Nozzle.

Particle Processes in the Pharmaceutical Industry III (PPPI-III).  
2011年7月24-29日(Presentation: 28) (Gold Coast, Australia) .

**田上辰秋**

特殊なスプレーノズルを用いて作成したナノ粒子含有マイクロ粒子による難水溶性薬物の吸収性改善効果について

第2回日本薬剤学会経口吸収フォーカスグループ合宿討論会. 2011年9月5-6日(講演は5日)  
(京都)

**尾関哲也【解説講演】**

特殊なスプレーノズルを用いたナノ粒子の設計とドラッグデリバリー戦略

平成23年度粉体工学会中部談話会講演会. 2011年9月15-16日(講演は15日)(愛知)

**田上辰秋, Shyh-Dar Li, Mark J Ernsting, 尾関哲也**

新規温熱感受性リポソーム製剤の物性評価および薬物放出制御に関する検討

平成23年度粉体工学会中部談話会講演会. 2011年9月15-16日(講演は15日)(愛知)

**Tatsuaki Tagami, Mark J Ernsting, Shyh-Dar Li and Tetsuya Ozeki**

Development of a novel thermosensitive liposome formulation (HaT) with rapid drug release profile and efficient drug delivery against solid tumor.

The 2nd Asian Symposium on Pharmaceutical Sciences and Technology.  
2011年9月19-20日(Presentation: 19) (Xi'an, China) .

小宮佑太, 青木麻里子, 深水啓朗, 亀谷晋央, 田上辰秋, 鈴木豊史, 尾関哲也, 伴野和夫  
Cocrystal のメカノケミカル形成に及ぼす温度条件の影響

第55回日本薬学会関東支部大会. 2011年10月8日(千葉)

**Tetsuya Ozeki, Yukiko Nishino, Yuuki Takashima, Hiroaki Okada, Masashi Fujii and Toshiyuki Tanaka**

Preparation of Drug-polymer Solid Dispersion Nanoparticle-including Microspheres to Enhance Its Oral Absorption.

2011 American Association of Pharmaceutical Scientists (AAPS) Annual Meeting and Exposition.

2011年10月23-27日(Presentation: 25) (Washington DC, MD, USA) .

**Toshiro Fukami, Tatsuaki Tagami, Toyofumi Suzuki, Tetsuya Ozeki and Kazuo Tomono**

Novel Cocrystals Consisting of Paracetamol and Carboxylic and Amino Acids Obtained by Cogrounding Method.

2011 American Association of Pharmaceutical Scientists (AAPS) Annual Meeting and Exposition.

2011年10月23-27日(Presentation: 25) (Washington DC, MD, USA) .

**Tetsuya Ozeki**

Preparation of Nanoparticles for Oral/Pulmonary Drug Delivery Using Special Spray Nozzles.

Pharmaceutical Seminar in University of Michigan.

2011年10月28日(Ann Arbor, Michigan, USA) .

Tetsuya Ozeki

Preparation of Nanoparticles for Oral/Pulmonary Drug Delivery Using Special Spray Nozzles.

IMRA AMERICA Seminar.

2011年10月29日 (Ann Arbor, Michigan, USA) .

西尾 碧, 田上辰秋, 田中俊幸, 藤井正詞, 尾関哲也

Twin Jet Nozzle RJ10 TLM1 を用いた Simvastatin-EUDRAGIT アンチソルベントナノ粒子の調製

第28回製剤と粒子設計シンポジウム. 2011年10月27-28日 (発表は28日) (大阪)

伊藤竜也, 田上辰秋, 瀧井猛将, 小野崙菊夫, 尾関哲也

経肺投与に特化した S/O/W ナノエマルジョン製剤による抗結核薬の効率的な送達システムの開発

第28回製剤と粒子設計シンポジウム. 2011年10月27-28日 (発表は28日) (大阪)

田上辰秋

超高感度温熱感受性リポソームによる腫瘍ターゲティングと Nanotheranostics への応用

第124回薬学談話会 (学内講演) . 2011年11月2日 (愛知)

尾関哲也【基調講演】

機能性ナノ粒子の設計とその製剤への応用

第17回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム. 2011年11月21-22日 (講演は21日)  
(愛知)

福重 香, 田上辰秋, 尾関哲也

siRNA 封入ヒアルロン酸修飾脂質ナノ粒子の調製と表面物性の検討

日本薬学会東海支部会・合同大会. 2011年11月23日 (愛知)

野田剛弘, 田上辰秋, 田原耕平, 山本浩充, 川島嘉明, 尾関哲也

慢性骨髄性白血病治療を目的とした siRNA 封入 PLGA ナノスフェアの設計

日本薬学会東海支部会・合同大会. 2011年11月23日 (愛知)

伊藤涼平, 田上辰秋, 尾関哲也

マラリア感染赤血球モデルを標的とした PEG 修飾カチオンリポソームの調製

日本薬学会東海支部会・合同大会. 2011年11月23日 (愛知)

亀谷晋央, 深水啓朗, 田上辰秋, 鈴木豊史, 伴野和夫, 尾関哲也

温度制御した混合粉碎法によるアセトアミノフェン cocrystal の形成挙動の検討

日本薬学会東海支部会・合同大会. 2011年11月23日 (愛知)

## 【生薬学分野】

(原報)

Maged F. Serag, Noritada Kaji, Claire Gaillard, Yukihiro Okamoto, Kazuyoshi Terasaka, Mohammad Jabasini, Manabu Tokeshi, Hajime Mizukami, Alberto Bianco, Yoshinobu Baba  
Trafficking and subcellular localization of multiwalled carbon nanotubes in plant cells.  
*ACS Nano*. **5**: 493–499 (2011)

Keiko Hasada, Takamitsu Yoshida, Takeshi Yamazaki, Naoki Sugimoto, Tetsuji Nishimura, Akito Nagatsu, Hajime Mizukami  
Application of <sup>1</sup>H-NMR spectroscopy to validation of berberine alkaloid reagents and to chemical evaluation of *Coptidis Rhizoma*.  
*J. Nat. Med.* **65**, 262–267 (2011)

Ayaka Sumi, Natsuko Y Hanada, Fan Bai, Toshiaki Makino, Hajime Mizukami, Takahiko Ono  
Roles of Coagulation Pathway and Factor Xa in the Progression of Diabetic Nephropathy in db/db Mice  
*Biol. Pharm. Bull.* **34**: 824–830 (2011)

Mai Nagatoshi, Kazuyoshi Terasaka, Akito Nagatsu, Hajime Mizukami  
An iridoid-specific glucosyltransferase from *Gardenia jasminoides*.  
*J. Biol. Chem.* **286**:32866–32874 (2011)

Maged F. Serag, Noritada Kaji, Enrica Venturelli, Yukihiro Okamoto, Kazuyoshi Terasaka, Manabu Tokeshi, Hajime Mizukami, Kevin Braeckmans, Alberto Bianco, and Yoshinobu Baba  
A Functional Platform for Controlled Subcellular Distribution of Carbon Nanotubes.  
*ACS Nano*, **5**: 9264-9270 (2011)

Hiroka Suzuki, Hiroshi Tanabe, Hajime Mizukami, and Makoto Inoue.  
Differential gene expression in rat vascular smooth muscle cells following treatment with coptisine exerts a selective antiproliferative effect.  
*J. Nat. Prod.*, **74**: 634-638 (2011)

(総説・著書・総合論文など)

牧野利明

薬と社会をつなぐキーワード事典 (共著)

本の泉社 (東京)、2011年3月

牧野利明

生薬と漢方薬

栄養科学シリーズNEXT 栄養薬学・薬理学入門 (共著)  
(株) 講談社サイエンティフィック、2011年4月

牧野利明

生薬学と医療薬学の融合～「臨床生薬学」の紹介

薬学雑誌 131(5): 375-382 (2011)

牧野利明

漢方薬学教育を考える

漢方の臨床 58(1):73 (2011)

牧野利明

漢方薬の副作用～偽アルドステロン症のメカニズムとその発症予防策について

ファルマシア 47(5):403-407 (2011)

牧野利明、堀美智子

生活習慣病等の方へのかぜ薬の選択

Pharma Medica 29(7) 125-129 (2011)

牧野利明

インフルエンザ感染症に対する漢方薬の効果

薬局 62(12): 74-78, (2011)

牧野利明

使用にあたり注意が必要な漢方製剤に使用される生薬について

調剤と情報 17(12) 1731-1734, 2011

(特許申請)

なし

(学会発表)

牧野利明

生薬や「いわゆる健康食品」を安全に有効に使う

名古屋市立大学・日本政策投資銀行連携市民公開シンポジウム、2011年1月13日(名古屋)

牧野利明

「津液」の不足を補う～滋陰剤、その他の代表的な処方

漢方勉強会「基礎からの漢方60分」第8回、2011年1月13日(名古屋)

牧野利明

生薬学から見た臨床薬理

病院勤務医のための漢方入門セミナー、2011年1月30日(名古屋)



**牧野利明**

基礎からの漢方30分～18回シリーズ、第4回～第6回

NPO法人医療教育研究所 eラーニング講義、2011年2月6日（東京）

**牧野利明**

臨床生薬学

第24回愛知医科大学漢方勉強会、2011年2月10日（名古屋）

**牧野利明**

「気」に関わる生薬についての最近の話題

初学者のための漢方薬学セミナー、2011年2月27日（大阪）

**牧野利明**

臨床生薬学から見た漢方医学

小太郎漢方製薬薬剤師研修会、2011年3月6日（大阪）

**牧野利明**

漢方薬・生薬における医療薬学的諸問題

漢方勉強会「基礎からの漢方60分」第9回、2011年3月10日（名古屋）

**牧野利明**

漢方薬に含まれる成分の薬物について

名古屋漢方セミナー、2011年3月17日（名古屋）

**牧野利明**

基礎からの漢方30分～18回シリーズ、第7回～第9回

NPO法人医療教育研究所 eラーニング講義、2011年3月26日（東京）

**鍵岡明奈、牧野利明、大竹沙紀、山本昇平、大澤匡弘、小野秀樹、水上 元**

オキサリプラチンによるマウス神経障害性疼痛に対する加工ブシの作用

日本薬学会第131年会、2011年3月29日（静岡）；29F-pm05

**水谷優希、二宮嘉規、永津明人、寺坂和祥、水上 元**

In situ UDP-glucose 再生系の存在下での二次代謝糖転移酵素の機能解析

日本薬学会第131年会、2011年3月30日（静岡）；30E-pm05

**岡本隼己、寺坂和祥、水上 元**

ハマボウフウ培養細胞由来 coumarin 配糖化酵素のクローニングと機能解析

日本薬学会第131年会、2011年3月31日（静岡）；31P-0446

**牧野利明**

漢方薬学の基礎1

京都漢方研究会、2011年5月8日（京都）

**牧野利明**

生薬・漢方薬と西洋薬間の薬物相互作用

北海道薬科大学生涯研修プログラム薬剤師アップデート講座、2011年5月13日（札幌）

**牧野利明**

漢方薬の学び方、生薬学との違いについて

漢方勉強会「基礎からの漢方60分」第1回、2011年5月18日（名古屋）

**河野桂子、吉田貴光、杉本直樹、山崎 壮、西村哲治、永津明人、水上 元**

qHNMR法による「ベニバナ赤色素」中の carthamin の定量

日本食品化学学会第17回総会・学術大会、2011年5月19日（東京）；10

**牧野利明**

基礎からの漢方30分～18回シリーズ、第10回～第12回

NPO法人医療教育研究所 e-ラーニング講義、2011年5月28日（東京）

**牧野利明**

生薬・漢方薬における医療薬学的諸問題

北海道大学生生涯教育公開講座、2011年6月10日（札幌）

**牧野利明**

漢方薬物学研究方法論

ロート製薬社内研修、2011年7月8日（奈良）

**小谷仁司、田邊宏樹、水上 元、井上 誠**

天然由来核内受容体 RXR リガンド honokiol によるヘテロダイマー活性化調節作用の検討

第57回日本薬学会東海支部会、2011年7月9日（名古屋）；B1610

**南 安依里、梶田梨恵、田中基裕、佐々木琢磨、水上 元**

生薬「モッコウ」に含まれる細胞致死活性成分の探索

第57回日本薬学会東海支部会、2011年7月9日（名古屋）；E1550

**吉田貴光、河野桂子、杉本直樹、山崎 壮、西村哲治、永津明人、水上 元**

定量 NMR 法による「ベニバナ赤色素」中の carthamin の定量

第57回日本薬学会東海支部会、2011年7月9日（名古屋）；E1600

**牧野利明**

漢方薬学の基礎2

京都漢方研究会、2011年7月10日（京都）

**牧野利明**

カゼに対する漢方薬①～辛温解表薬と辛温解表剤

漢方勉強会「基礎からの漢方60分」第2回、2011年7月20日（名古屋）

**牧野利明**

臨床生薬学～生薬学の知識を医療現場で応用する

いろはに漢方練馬勉強会、2011年7月30日（東京）

**牧野利明**

臨床生薬学

医学生のための漢方医学セミナー、2011年8月7日（大津）

**牧野利明**

生薬・漢方薬研究における血清薬理学の限界と可能性

第14回天然薬物研究方法論アカデミー、2011年8月20日（葉山町、神奈川県）

**城しおり、牧野利明、荒井哲也、中島賢治、水上 元**

防風通聖散のCaco-2細胞におけるコレステロールトランスポーター（NPC1L1）阻害作用

第28回和漢医薬学会学術大会、2011年8月28～29日（富山）；P0-23

**白 帆、牧野利明、小野孝彦、水上 元**

Effects of Shichimotsukokato on hypertensive CKD model

第28回和漢医薬学会学術大会、2011年8月28～29日（富山）；P0-24

2011年9月6～8日

**浅田圭祐、永利麻衣、寺坂和祥、水上 元**

ニチニチソウ由来イリドイド生合成系新規配糖化酵素の機能解析

第29回日本植物細胞分子生物学会、2011年9月6～8日（福岡）；3Aa-01

**永利麻衣、寺坂和祥、水上 元**

クチナシ由来カロテノイド酸化開裂酵素のクローニングと機能解析

第29回日本植物細胞分子生物学会、2011年9月6～8日（福岡）；3Aa-02

**岡本隼己、寺坂和祥、水上元**

ハマボウフウ培養細胞由来クマリン配糖化酵素の機能解析

第29回日本植物細胞分子生物学会、2011年9月6～8日（福岡）；3Aa-03

**牧野利明**

基礎からの漢方30分～18回シリーズ、第13回～第15回

NPO法人医療教育研究所e-ラーニング講義、2011年9月10日（東京）

**牧野利明**

臨床生薬学

京都漢方研究会、2011年9月11日（京都）

**牧野利明**

カゼに対する漢方薬②～和解剤

漢方勉強会「基礎からの漢方60分」第3回、2011年9月21日（名古屋）

**牧野利明**

防風通聖散の新しい作用メカニズム

小林製薬株式会社プレスセミナー、2011年9月22日（東京）

**岡島恭子、牧野利明、井上勝央、大嶽信弘、水上 元**

甘草の副作用、偽アルドステロン症発症メカニズムに関する研究

日本生薬学会第58回年会、2010年9月24～25日（東京）；2P-73

牧野利明  
臨床生薬学

京都漢方研究会、2011年9月25日（博多）

牧野利明  
薬用植物の解説

東海漢方協議会、2011年10月2日（名古屋）

牧野利明  
五苓散の製造方法

第13回日本漢方交流会漢方薬剤師育成研修会、2011年10月9日（徳島）

牧野利明  
基礎からの漢方30分～18回シリーズ、第16回～第18回

NPO法人医療教育研究所 e-ラーニング講義、2011年10月30日（東京）

牧野利明  
漢方の科学～現代における漢方の役割とその可能性

あいちサイエンスフェスティバル2011、2011年11月2日（名古屋）

杉真由子、鍵岡明奈、牧野利明、大竹沙紀、山本昇平、大澤匡弘、小野秀樹、水上 元  
オキサリプラチンによるマウス神経障害性疼痛に対する加工ブシの作用

第41回日本東洋医学会東海支部学術総会、2011年11月6日（名古屋）；4

水上 元  
複雑系の薬物としての漢方薬～薬学からのアプローチ

第41回日本東洋医学会東海支部学術総会、2011年11月6日（名古屋）；特別講演 I

鬼頭宏和、浅田圭祐、永利麻衣、寺坂和祥、水上 元  
スイカズラ由来イリドイド配糖化酵素の単離と機能解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会、  
2011年11月23日（名古屋）；F-A11

牧野利明  
“Clinical Pharmacognosy 臨床生薬学” Integration between Pharmacognosy and Clinical  
Pharmacy

瀋陽薬科大学特別講義、2011年11月28日（瀋陽）

永津明人、山崎麻理奈、仁田朱音、長谷部裕子、田中理恵、水上 元、羽佐田桂子、山崎 壮、  
杉本直樹、西村哲治

qNMR を用いた生薬成分の定量

第40回生薬分析シンポジウム、2011年12月1日（大阪）；2

牧野利明  
ストレス性疾患～和解剤と清熱剤

漢方勉強会「基礎からの漢方60分」第4回、2011年12月7日（名古屋）

**牧野利明**

漢方薬の作用メカニズム

遊漢方研究会、2011年12月10日（大阪）

**牧野利明**

漢方薬の基礎研究

大阪大学医学部特別講義、2011年12月14日（大阪）

**牧野利明**

和漢薬含有成分の薬物動態学

富山大学大学院薬学研究科大学院講義、2011年12月17日（富山）

## 【生体防御機能学分野】

(原報)

Yuriko Ozeki, Yukio Hirayama, Takemasa Takii, Saburo Yamamoto, Kazuo Kobayashi, Sohkiichi Matsumoto

Loss of anti-mycobacterial efficacy in mice over time following vaccination with *Mycobacterium bovis bacillus Calmette-Guérin*.

*Vaccine*. **29**, 6881-6887(2011)

Yasuhiro Horita, Takemasa Takii, Ryuji Kuroishi, Taku Chiba, Kenji Ogawa, Laurent Kremer, Yasuo Sato, YooSa Lee, Tomohiro Hasegawa, Kikuo Onozaki

Synthesis and evaluation of anti-tubercular activity of new dithiocarbamate sugar derivatives

*Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters* **21**, 899-903 (2011)

Shosuke Okamoto Miki Adachi, Satomi Chujo, Kyohei Yamada, Kunihiko Akita, Saotomo Itoh, Takemasa Takii, Kazuichi Hayakawa, Kikuo Onozaki.

Etiological role of cigarette smoking in rheumatoid arthritis: Nasal exposure to cigarette smoke condensate extracts augments the development of collagen -induced arthritis in mice.

*Biochemical and biophysical research communications*. **404**, 1088-1092 (2011)

Xu J, Itoh Y, Hayashi H, Takii T, Miyazawa K, Onozaki K.

Dihydrotestosterone inhibits interleukin-1 $\alpha$  or tumor necrosis factor  $\alpha$ -induced proinflammatory cytokine production via androgen receptor-dependent inhibition of nuclear factor- $\kappa$ B activation in rheumatoid fibroblast-like synovial cell line.

*Biol Pharm Bull*. **34**(11), 1724-30(2011).

(総説・著書・総合論文など)

総説

著書

小野寄菊夫

スタンダード薬学シリーズ4

生物系薬学 IV 演習編 日本薬学会編 東京化学同人,pp153-158, (2011) .

林大介、瀧井猛将

In vitro characteristics of BCG vaccine substrains

「BCG -Vaccine and Adjuvant -」 瀧井猛将、前山順一、山本三郎編 pp67-79,(2011)

(特許申請)

出願日：平成23年4月14日

出願番号：特願2011-090473

名称：抗凝固薬及びその用途

発明者：伊藤佐生智，瀧井猛将，小野寄菊夫，横山領介，辻勉，鴨志田剛

特許出願人：公立大学法人名古屋市立大学

(学会発表)

堀田 康弘, 瀧井 猛将, 千葉 拓, 藤原 永年, 小川 賢二, 黒石 隆司, 稲垣 衣美, 小野寄 菊夫

ジチオカルバメート誘導体の抗結核作用の機序についての検討  
日本薬学会 第 131 回年会 2011 年 3 月 30 日 (静岡) p76

谷口 恵一, 瀧井 猛将, 林 大介, 丸山 光生, 小野寄 菊夫

*Mycobacterium bovis* BCG の免疫持続に関する研究  
日本薬学会 第 131 回年会 2011 年 3 月 30 日 (静岡) p76

長谷川 倫宏, 瀧井 猛将, 堀田 康弘, 千葉 拓, 黒石 隆司, 小野寄 菊夫  
2-acetamide-2-deoxy- $\beta$ -D-glucopyranosylN,N-dimethyldithiocarbamate(OCT313) の抗結核作用についての検討

日本薬学会 第 131 回年会 2011 年 3 月 30 日 (静岡) p210

横山 領介, 伊藤 佐生智, 鴨志田 剛, 瀧井 猛将, 辻 勉, 小野寄 菊夫

黄色ブドウ球菌分泌タンパク質 SSL6 は ficolin- $\beta$  に結合する  
日本薬学会 第 131 回年会 2011 年 3 月 30 日 (静岡) p214

秋田 邦彦, 岡本 翔佑, 中条 里美, 足達 実季, 山田 恭平, 伊藤 佐生智, 瀧井 猛将, 早川 和一, 小野寄 菊夫

マウス関節炎の発症増強作用を示すタバコ成分に関する研究  
日本薬学会 第 131 回年会 2011 年 3 月 30 日 (静岡) p253

足達 実季, 岡本 翔佑, 中条 里美, 山田 恭平, 秋田 邦彦, 伊藤 佐生智, 瀧井 猛将, 早川 和一, 小野寄 菊夫

タバコ抽出物によるマウス関節炎の増強作用  
日本薬学会 第 131 回年会 2011 年 3 月 30 日 (静岡) p253

谷口恵一、林大介、伊藤佐生智、矢野郁也、山本三郎、瀧井猛将

BCG 亜株の抗原提示能の差異に関する研究

第 86 回結核病学会 2011 年 6 月 2, 3 日 (東京)

伊藤佐生智, 山本龍二, 堀田康弘, 小川賢治, 八木哲也, 大原直也, 瀧井猛将

トリ型結核菌亜種 *hominissuis* のアンモニア産生と宿主細胞内生存能との関連性  
第 86 回結核病学会 2011 年 6 月 2, 3 日 (東京)

伊藤 佐生智、横山 領介、鴨志田 剛、岡田 浩美、藤井 聡、瀧井 猛将、小野寄 菊夫、辻 勉

黄色ブドウ球菌分泌タンパク質 SSL ファミリーの血漿中標的分子の探索  
第 12 回 Pharmacology Hematology シンポジウム 2011 年 6 月 17, 18 日 (富山)

伊藤佐生智

細菌タンパク質由来血液凝固抑制剤の開発

第 10 回バイオテクノロジー国際会議 2011 年 6 月 29 日-7 月 1 日 (東京)

伊藤佐生智, 横山領介, 鴨志田剛, 岡田浩美, 藤井 聡, 瀧井猛将, 辻 勉, 小野寄菊夫  
黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL10 は血液凝固因子を標的とし、血液凝固を抑制する

第 23 回微生物シンポジウム 2011 年 9 月 3, 4 日 (千葉)

長谷川倫宏, 瀧井猛将, 堀田 康弘, 千葉 拓, 森 雅美, Angala Shiva, Chatterjee Delphi, Dean Crick, 小野寄菊夫

ジチオカルバメート糖誘導体の抗結核作用に関する研究

第 23 回微生物シンポジウム 2011 年 9 月 3, 4 日 (千葉)

Shouta Ogawa, Takemasa Takii, Ryuji Yamamoto, Yasuhiro Horita, Natsuki Hanamura, Kenji Ogawa, Tetsuya Yagi, Naoya Ohara, Yoshitaka Goto, Nagatoshi Fujiwara, Shinji Maeda, Kikuo Onozaki

Production of ammonia by *Mycobacterium avium* in acidic condition

The International Union of Microbiological Societies 2011 Congress 2011 年 9 月 10 日(札幌):P-BA28-7

伊藤佐生智

細菌の産生する抗血液凝固タンパク質

名工大・名市大合同テクノフェア 2011 2011 年 10 月 21 日 (名古屋) : G-02

足達実季, 山田恭平, 伊藤佐生智, 瀧井猛将, 早川和一, 小野寄菊夫

関節リウマチ患者由来滑膜細胞での IL-1 $\beta$  発現上昇に及ぼすタバコ煙抽出物の影響

フォーラム 2011 : 衛生薬学・環境トキシコロジー 2011 年 10 月 27, 28 日 (金沢) O6-4

竹野聖史, 秋田邦彦, 足達実季, 伊藤佐生智, 瀧井猛将, 早川和一, 小野寄菊夫

タバコ煙抽出物のマウスコラーゲン誘導性関節炎病態増悪に関する研究

フォーラム 2011 衛生薬学・環境トキシコロジー 2011 年 10 月 27, 28 日 (金沢) P123

伊藤佐生智, 横山領介, 鴨志田剛, 岡田浩美, 藤井聡, 瀧井猛将, 辻勉, 小野寄菊夫

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL10 による血液凝固抑制作用

フォーラム 2011 衛生薬学・環境トキシコロジー 2011 年 10 月 27, 28 日 (金沢) O7-4

谷口恵一, 須田早紀, 林大介, 山本三郎, 伊藤佐生智, 瀧井猛将, 小野寄菊夫

結核ワクチン株 *Mycobacterium bovis* BCG Tokyo-172 I, II 型における酸化ストレスの影響

フォーラム 2011 衛生薬学・環境トキシコロジー 2011 年 10 月 27, 28 日 (金沢) P080

谷口恵一, 瀧井猛将, 林大介, 伊藤佐生智, 矢野郁也, 山本三郎, 丸山光生, 小野寄菊夫

The duration of efficacy of BCG vaccination in murine TB model

BCG の免疫持続に関する研究

第 40 回日本免疫学会総会・学術集会 2011 年 11 月 27-29 日 (千葉) ; 3-H-W61-8-P

伊藤佐生智

抗凝固薬およびその用途

第 4 回名古屋大学 医学・バイオ系知財フェア 2011 年 12 月 16 日 (名古屋)



## 【遺伝情報学分野】

(原報)

Hosoda, N., Funakoshi, Y., Hirasawa, M., Yamagishi, R., Asano, Y., Miyagawa, R., Ogami, K., Tsujimoto, M., Hoshino, S.

Anti-proliferative protein Tob negatively regulates CPEB3 target by recruiting Caf1 deadenylase.

*EMBO J.* **30**, 1311-1323 (2011)

(総説・著書・総合論文など)

該当なし

(特許申請)

該当なし

(学会発表)

杉山遥、成瀬貴文、細田直、星野真一

PAM2モチーフ含有タンパク質 USP10 のストレス顆粒形成に果たす役割

第 57 回日本薬学会東海支部大会、2011 年 7 月 9 日 (名古屋)

田中麻記子、細田直、星野真一

テロメラーゼ RNA (TLC1) の成熟化機構の解明

第 57 回日本薬学会東海支部大会、2011 年 7 月 9 日 (名古屋)

Ogami K, Hosoda N, Funakoshi Y, Hoshino S

Anti-proliferative protein Tob negatively regulates c-myc oncogene expression by accelerating mRNA deadenylation

RNA 2011 (6<sup>th</sup> annual meeting of the RNA society), 2011 年 6 月 14 日 (京都)

尾上耕一、細田直、船越祐司、星野真一

癌抑制遺伝子産物 Tob は癌原遺伝子 c-myc の発現を負に制御する

第 131 回薬学会年会、2011 年 3 月 31 日 (静岡)

橋本芳史、細田直、星野真一

カスパーゼによる翻訳終結因子 eRF3 の分解と翻訳抑制

第 131 回薬学会年会、2011 年 3 月 30 日 (静岡)

星野真一

mRNA3'末端プロセッシングを標的とした遺伝子発現制御・RNA 品質管理機構の解明

平成 22 年度新学術領域研究『RNA 制御学』班会議、2011 年 1 月 6-7 日 (京都)

## 【細胞分子薬効解析学分野】

(原報)

Hong-Nian Liu, Susumu Ohya, Yuji Nishizawa, Kenta Sawamura, Satoshi Iino, Mohsin Md Syed, Kazunori Goto, Yuji Imaizumi, Shinsuke Nakayama  
Serotonin augments gut pacemaker activity via 5-HT<sub>3</sub> receptors

*PLoS One*, **6**, e24928 (2011).

Daiju Yamazaki, Yasuharu Tabara, Satomi Kita, Hironori Hanada, Shinji Komazaki, Daisuke Naitou, Aya Mishima, Miyuki Nishi, Hisao Yamamura, Shinichiro Yamamoto, Sho Kakizawa, Hitoshi Miyachi, Shintaro Yamamoto, Toshiyuki Miyata, Yuhei Kawano, Kei Kamide, Toshio Ogihara, Akira Hata, Satoshi Umemura, Masayoshi Soma, Norio Takahashi, Yuji Imaizumi, Tetsuro Miki, Takahiro Iwamoto, Hiroshi Takeshima

TRIC-A channels in vascular smooth muscle contribute to blood pressure maintenance

*Cell Metab.*, **14**, 231-41

(2011).

Susumu Ohya, Satomi Niwa, Yoshiyuki Kojima, Shoichi Sasaki, Motomu Sakuragi, Kenjiro Kohri, Yuji Imaizumi

Intermediate-conductance Ca<sup>2+</sup>-activated K<sup>+</sup> channel, K<sub>Ca</sub>3.1, as a novel therapeutic target for benign prostatic hyperplasia

*J. Pharmacol. Exp. Ther.*, **338**, 528-36 (2011).

Hiroaki Kito, Daiju Yamazaki, Susumu Ohya, Hisao Yamamura, Kiyofumi Asai, Yuji Imaizumi  
Up-regulation of K<sub>ir</sub>2.1 by ER stress facilitates cell death of brain capillary endothelial cells

*Biochem. Biophys. Res. Commun.*, **411**, 293-8 (2011).

Susumu Ohya, Satomi Niwa, Ayano Yanagi, Yuka Fukuyo, Hisao Yamamura, Yuji Imaizumi  
Involvement of dominant-negative spliced variants of the intermediate conductance Ca<sup>2+</sup>-activated K<sup>+</sup> channel, K<sub>Ca</sub>3.1, in immune function of lymphoid cells

*J. Biol. Chem.*, **286**, 16940-52

(2011).

Daiju Yamazaki, Hiroaki Kito, Seiji Yamamoto, Susumu Ohya, Hisao Yamamura, Kiyofumi Asai, Yuji Imaizumi

Contribution of K<sub>ir</sub>2 potassium channels to ATP-induced cell death in brain capillary endothelial cells and reconstructed HEK293 cell model

*Am. J. Physiol. Cell Physiol.*, **300**, 75-86 (2011).

(総説・著書・総合論文など)

今泉祐治、金子周司

創薬標的としてのイオンチャネル・トランスポーターの新たな研究法・探索法

日本薬理学雑誌, **138**, 227 (2011).

藤井将人、大矢 進、山村寿男、今泉祐治  
イオンチャネル標的創薬における HTS の現状と展望

日本薬理学雑誌, 138, 229-33

(2011).

(学会発表)

今泉祐治  
カルシウムシグナルと血管機能調節

九州大学大学院薬学研究院大学院講義. 2011 年 1 月 31 日 (福岡).

澤田英士、山村寿男、大矢 進、今泉祐治  
マウス気道上皮繊毛細胞におけるイオンチャネル機能解析

第 84 回日本薬理学会年会. 2011 年 3 月 22 日 (横浜) ; 01G1-J-3.

藤井将人、大矢 進、山村寿男、今泉祐治  
一回の活動電位発生による細胞死を用いた新規イオンチャネルの創薬スクリーニング系の開発

第 84 回日本薬理学会年会. 2011 年 3 月 22 日 (横浜) ; 01G2-J-5.

鈴木良明、山村寿男、大矢 進、今泉祐治  
血管平滑筋細胞における BK-VDCC 複合体に対するカベオラの寄与

第 84 回日本薬理学会年会. 2011 年 3 月 23 日 (横浜) ; 02D1-E-5.

竹本将士、山村寿男、大矢 進、竹島 浩、今泉祐治  
マウス妊娠時における子宮平滑筋での RyR3 発現と機能変化

第 84 回日本薬理学会年会. 2011 年 3 月 23 日 (横浜) ; 02F2-J-5.

鬼頭宏彰、山崎大樹、山村寿男、大矢 進、浅井清文、今泉祐治  
脳血管内皮細胞における細胞死制御因子としての内向き整流性 K<sup>+</sup> (Kir2.1) チャネル

第 84 回日本薬理学会年会. 2011 年 3 月 23 日 (横浜) ; 02G3-J-2.

今泉祐治【シンポジウム】  
イオンチャネル標的創薬におけるスクリーニング法と現状の展開

第 84 回日本薬理学会年会. 2011 年 3 月 24 日 (横浜) ; S3B30-1.

大城隼也、山村寿男、大矢 進、今泉祐治  
血管平滑筋における Ca<sup>2+</sup>活性化 Cl<sup>-</sup>チャネルの分子実体としての TMEM16 ファミリー

第 84 回日本薬理学会年会. 2011 年 3 月 24 日 (横浜) ; 03D3-J-2.

村本孝博、山村寿男、大矢 進、今泉祐治  
ホスファチジルイノシトール 4,5 ニリン酸による電位依存性カリウムイオンチャネル Kv1.3 の調節機構解析

第 84 回日本薬理学会年会. 2011 年 3 月 24 日 (横浜) ; 03G3-J-1.

大矢 進、福与由香、山村寿男、今泉祐治

マウス胸腺細胞における  $\text{Ca}^{2+}$ 活性化  $\text{K}^+$ チャネル  $\text{K}_{\text{Ca}3.1}$  機能阻害体の生理的役割  
第 84 回日本薬理学会年会. 2011 年 3 月 24 日 (横浜); 03H1-J-1.

石井秀明、丸山史登、山村寿男、大矢 進、今泉祐治  
腎動脈結紮モデル高血圧マウスにおける  $\text{Ca}^{2+}$ 活性化  $\text{K}^+$ チャネル開口薬の小動脈緊張に対する作用の解析  
日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡); 30W-am02.

藤井将人、大矢 進、山村寿男、今泉祐治  
改変遺伝子発現細胞を用いた細胞死測定による新規イオンチャネル標的創薬スクリーニング系の開発  
日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡); 30X-am11.

大矢 進、福与由香、山村寿男、今泉祐治  
マウス胸腺細胞増殖・分化における  $\text{Ca}^{2+}$ 活性化  $\text{K}^+$ チャネルの役割  
日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡); 30X-am12.

今泉祐治  
イオンチャネルをターゲットとした創薬  
北里大学大学院薬学研究科大学院講義. 2011 年 5 月 19 日 (東京)

堀場さゆり、仲村恵梨奈、大矢 進、山村寿男、今泉祐治  
接触性皮膚炎モデルマウスにおける T リンパ球カルシウム活性化カリウムチャネル発現・活性調節  
第 119 回日本薬理学会近畿部会. 2011 年 7 月 8 日 (名古屋); C-1.

鬼頭宏彰、山崎大樹、山村寿男、大矢 進、浅井清文、今泉祐治  
脳血管内皮細胞における内向き整流性  $\text{K}^+$  ( $\text{K}_{\text{ir}2.1}$ ) チャネルを介した細胞死制御機構の解明  
第 119 回日本薬理学会近畿部会. 2011 年 7 月 8 日 (名古屋); C-19.

鈴木良明、山村寿男、大矢 進、今泉祐治  
血管平滑筋機能に対する BK チャネル-VGCC 複合体とカベオラの寄与の解明  
第 119 回日本薬理学会近畿部会. 2011 年 7 月 8 日 (名古屋); C-20.

藤井将人、大矢 進、山村寿男、今泉祐治  
長期持続性活動電位を発生する細胞を用いたイオンチャネル創薬における新規スクリーニング系の開発  
第 119 回日本薬理学会近畿部会. 2011 年 7 月 8 日 (名古屋); D-7.

福与由香、大矢 進、山村寿男、今泉祐治  
炎症性腸疾患モデルにおけるカルシウム活性化カリウムチャネル阻害薬の効果  
第 57 回日本薬学会東海支部大会. 2011 年 7 月 9 日 (名古屋); c1450.

松木克仁、竹本将士、山村寿男、大矢 進、竹島 浩、今泉祐治  
マウス非妊娠・妊娠における 3 型リアノジン受容体の発現と機能変化  
第 53 回日本平滑筋学会総会. 2011 年 8 月 3 日 (東京); 01-2.

**大城隼也、橋爪圭吾、山村寿男、大矢 進、今泉祐治**

Ca<sup>2+</sup>-cloc から伝播型膜電位オシレーションへ：再構築系による末梢組織ペースメーカーモデル細胞の作製

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2011. 2011 年 8 月 31 日 (東京); B-4.

**鬼頭宏彰、山崎大樹、山村寿男、大矢 進、浅井清文、今泉祐治**

脳血管内皮細胞における Kir2.1 チャネルを介した細胞死制御機構の解明

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2011. 2011 年 8 月 31 日 (東京); B-12.

**伊奈山宗典、鈴木良明、山村寿男、大矢 進、今泉祐治**

軟骨細胞における SOCE を介した Ca<sup>2+</sup>流入経路の解明

第 120 回日本薬理学会近畿部会. 2011 年 11 月 11 日 (京都); C-1.

**福与由香、大矢 進、山村寿男、今泉祐治**

炎症性腸疾患モデルの腸間膜リンパ節 T リンパ球におけるカルシウム活性化カリウムチャンネル機能・発現解析

第 120 回日本薬理学会近畿部会. 2011 年 11 月 11 日 (京都); C-3.

**鬼頭宏彰、山崎大樹、山村寿男、大矢 進、浅井清文、今泉祐治**

脳血管内皮細胞の細胞増殖・細胞死を制御するカリウムチャンネル

生理研研究会「心血管イオンチャンネル・

トランスポーター研究の新展開 - 基礎研究と臨床研究の融合 -」. 2011 年 11 月 29 日 (岡崎).

**鈴木良明、山村寿男、大矢 進、今泉祐治**

BK チャネル-Cav1.2 複合体形成及び血管平滑筋細胞機能に対するカベオリン 1/カベオラの役割

第 21 回日本循環薬理学会. 2011 年 12 月 2 日 (岡山); YIA-4.

## 【病態生化学分野】

(原報)

Yasui, N., Kitago, Y., Beppu, A., Kohno, T., Morishita, S., Gomi, H., Nagae, M., Hattori, M., and Takagi, J.

Functional importance of covalent homodimer of reelin linked via its central region.

*J. Biol. Chem.* **286**, 35247-35256 (2011).

(総説・著書・総合論文など)

**河野孝夫、服部光治**

脳の形成におけるリーリンの真の機能は何か？

日本精神神経薬理学会雑誌 **31**, 267-271 (2011)

(特許申請)

出願日：平成23年8月18日

出願番号：特願2011-179161

名称：抗体とその利用（活性型リーリン特異的モノクローナル抗体の樹立）

発明者：服部光治、河野孝夫、鯉江真利、久永有紗

特許出願人：名古屋市立大学

(学会発表)

**鄧夢妍、鯉江真利、河野孝夫、服部光治**

リーリンおよびリーリン受容体の細胞内動態とその生理的意義解明の

日本薬学会第131年回 2011年3月30日（静岡）

**久永有紗、鈴木健太、鯉江真利、河野孝夫、服部光治**

脳形成に必須な分泌タンパク質リーリンの特異的切断を担うプロテアーゼに関する解析

日本薬学会第131年回 2011年3月30日（静岡）

**土屋綾香、河野孝夫、服部光治**

脳形成に必須な分泌蛋白質リーリンの、C末端領域の分解機構及びその生理的意義の解明

日本薬学会東海支部大会 2011年7月9日（名古屋）

**田頭大志、杉江真梨子、深見瑛、鈴木友美子、河野孝夫、服部光治**

難読症関連遺伝子 KIAA0319 による、神経細胞形態制御の分子機構

ファーマバイオフォーラム 2011 2011年10月8日（仙台）

**鯉江真利、久永有紗、佐々木一友、河野孝夫、服部光治**

脳の発生と機能に重要な分泌タンパク質リーリンの特異的分解機構

ファーマバイオフォーラム 2011 2011年10月8日（仙台）

**久永 有紗、鈴木 健太、鯉江 真利、河野 孝夫、服部 光治**

脳形成に必須な分泌タンパク質リーリンの特異的切断を担うプロテアーゼに関する解析

日本生化学会中部支部例会 2011年5月28日(静岡)

**村上達郎、河野孝夫、阪野英幸、中野良美、服部光治**

リーリンC末端領域による、大脳皮質の神経細胞層構造の形成と維持におけるメカニズムの解析

第34回日本神経科学学会 2011年9月15日(横浜)

**河野 孝夫、土屋 綾香、松丸 沙織、高柳 麻衣、服部光治**

新規分解による、リーリンの成長円錐崩壊活性制御

第34回日本神経科学学会 2011年9月16日(横浜)

**中村 晃太、阪野 英幸、中野 良美、河野 孝夫、服部光治**

リーリンCTR欠損マウスを利用した、小脳形成におけるリーリンの機能解析

第34回日本神経科学学会 2011年9月16日(横浜)

**久恒 智博、宮本 浩行、廣野 守俊、山口 直秀、菅原 健之、小川 直子、大島 登志男、山田 真久、ヘンシュ 貴雄、服部 光治、御子柴 克彦**

タイプ1型イノシトール3リン酸受容体欠損による小脳プルキンエ細胞の発火異常は、ジストニアを引き起こす

第34回日本神経科学学会 2011年9月17日(横浜)

**佐々木 一友、鈴木 健太、鯉江 真利、久永 有紗、河野 孝夫、服部 光治**

Molecular mechanism of proteolytic cleavage of Reelin.

第84回日本生化学会 2011年9月23日(京都)

**杉江 真梨子、深見 瑛、河野 孝夫、服部 光治**

難読症関連遺伝子産物 KIAA0319 と Eph ファミリーとの結合意義の解明

第84回日本生化学会 2011年9月23日(京都)

**久保 卓也、井上 貴雄、李 賢哲、佐々木 純子、中崎 康子、服部 光治、佐々木 雄彦、新井 洋由**

LPIAT1 deficiency reduces the turnover of arachidonic acid in PI in mouse embryonic fibroblasts and neuronal cells.

第84回日本生化学会 2011年9月23日(京都)

**李 賢哲、井上 貴雄、佐々木 純、中崎 康子、服部 光治、田中 史晴、宇田川 理、河野 望、伊藤 俊樹、小木曾 英夫、田口 良、佐々木 雄彦、新井 洋由**

リゾホスファチジルイノシトール特異的脂肪酸転移酵素 LPIAT1 の機能解析

第84回日本生化学会 2011年9月22日(京都)

**木谷 友次郎、鯉江 真利、久永 有紗、鈴木 健太、河野 志織、河野 孝夫、服部 光治**

脳におけるリーリンの特異的切断機構の解明

第34回日本分子生物学会年会 2011年12月13日(横浜)

Kidani, Y., Koie, M., Hisanaga, A., Kohno, T., & Hattori, M.

Mechanism of specific proteolytic cleavage of Reelin.

41<sup>st</sup> Annual meeting of the Society for Neuroscience, 2011.11.16. Washington DC, USA

Tagashira, M., Sugie, M., Kidani, Y., Kohno, T., & Hattori, M.

Interaction between the dyslexia-associated protein KIAA0319 and radixin regulates neuronal morphology.

41<sup>st</sup> Annual meeting of the Society for Neuroscience, 2011.11.13. Washington DC, USA



## 【薬物動態制御学】

(原報)

Yuichiro Imamura, Nobuyuki Murayama, Noriko Okudaira, Atsushi Kurihara, Osamu Okazaki, Takashi Izumi, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa, Hiroyuki Kusuhara, Yuichi Sugiyama  
Prediction of fluoroquinolone-induced elevation in serum creatinine levels: a case of drug-endogenous substance interaction involving the inhibition of renal secretion.

*Clin. Pharmacol. Ther.*, **89**, 81-88 (2011).

Hiroyuki Kusuhara, Sumito Ito, Yuji Kumagai, Min Jiang, Tomoyoshi Shiroshita, Yoshinori Moriyama, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa, Yuichi Sugiyama  
Effects of a MATE protein inhibitor, pyrimethamine, on the renal elimination of metformin at oral microdose and at therapeutic dose in healthy subjects.

*Clin. Pharmacol. Ther.*, **89**, 837-844 (2011).

Megumi Ishii, Kinya Ohta, Takahiro Katano, Kimihiko Urano, Jun Watanabe, Aki Miyamoto, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa  
Dual functional characteristic of human aquaporin 10 for solute transport.

*Cell. Physiol. Biochem.*, **27**, 749-756 (2011).

Tomoya Yasujima, Kinya Ohta, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa  
Characterization of human OCT1-mediated transport of DAPI as a fluorescent probe substrate.

*J. Pharm. Sci.*, **100**, 4006-4012 (2011).

(総説・著書・総合論文など)

井上勝央, 湯浅博昭

核酸輸送体.

*G.I. Research*, **19**, 426-432 (2011).

井上勝央

核酸トランスポーター.

「栄養・食品機能とトランスポーター」, 竹谷 豊, 薩 秀夫, 伊藤美紀子, 武田英二編, 日本栄養・食糧学会監修, 建帛社, pp. 121 – 144 (2011).

(学会発表)

西嶋千尋, 畠山 舞, 林 弥生, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

PCFT を介する葉酸類の輸送に対するフラボノイド類の影響.

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 29 日 (静岡); 29P-0334.

林 里佳, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

新規プロスタグランジン排出トランスポーターの輸送機能特性の解析.

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 29 日 (静岡); 29P-0351.

大久保雅彦, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

ラット小腸での nicotinate 取り込みにおける SMCT 様トランスポーターの関与.

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡); 30G-am06.

Toymoya Yasujima 【受賞講演: James R. Gillette Drug Metabolism Best Paper of 2010, ASPET】  
Evaluation of 4',6-Diamidino-2-phenylindole as a Fluorescent Probe Substrate for Rapid Assays of the  
Functionality of Human Multidrug and Toxin Extrusion Proteins.

Experimental Biology 2011. 2011 年 4 月 12 日 (Washington D.C., U.S.A.); 375.2.

伊藤澄人, 楠原洋之, 井上勝央, 湯浅博昭, 杉山雄一

cimetidine の腎薬物排泄における薬物間相互作用機構の解析.

日本薬剤学会第 26 年会. 2011 年 5 月 29 日 (東京); 29-6-06.

大井 舞, 青木那佳, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

human OCT3 の corticosterone 輸送能の解析.

日本薬剤学会第 26 年会. 2011 年 5 月 29 日 (東京); P-057.

湯浅博昭, 宮本明希, 太田欣哉, 井上勝央, 片野貴大, 浦野公彦, 渡辺 淳

human aquaporin 3 の glycerol 輸送機能特性:輸送担体様及びチャネル様メカニズムの関与.

日本薬剤学会第 26 年会. 2011 年 5 月 31 日 (東京); P-064.

青木那佳, 井上勝央, 保嶋智也, 太田欣哉, 湯浅博昭

有機カチオントランスポーターによるステロイド輸送の解析.

第 6 回トランスポーター研究会年会. 2011 年 6 月 11 日 (仙台); P27.

Hiroaki Yuasa, Chihiro Nishijima, Mai Hatakeyama, Yayoi Hayashi, Kinya Ohta, Katsuhisa Inoue

Functional modulation of proton-coupled folate transporter by flavonoids.

International Symposium on BA/BE of Oral Drug Products. 2011 年 6 月 30 日 (Kobe, Japan); P-48.

大野晴香, 林 弥生, 畠山 舞, 保嶋智也, 林 里佳, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

新規プロスタグランジン排出トランスポーターに対する各種医薬品の阻害作用

第 57 回日本薬学会東海支部大会. 2011 年 7 月 9 日 (名古屋); A1720.

Chihiro Nishijima, Katsuhisa Inoue, Kinya Ohta, Hiroaki Yuasa

Identification of a novel function of SNBT1 as a sodium-dependent urate transporter.

17th NA ISSX Meeting. 2011 年 10 月 19 日 (Atlanta, Georgia, U.S.A.) ; P330.

Hiroaki Yuasa, Masahiko Ohkubo, Kinya Ohta, Katsuhisa Inoue

Involvement of sodium-coupled monocarboxylate transporter-like activity in nicotinate uptake by brush border membrane vesicles from the rat small intestine.

17th NA ISSX Meeting. 2011 年 10 月 19 日 (Atlanta, Georgia, U.S.A.) ; P331.

Rika Hayashi, Katsuhisa Inoue, Kinya Ohta, Hiroaki Yuasa

Molecular identification of a novel prostaglandin E<sub>2</sub> transporter.

17th NA ISSX Meeting. 2011 年 10 月 19 日 (Atlanta, Georgia, U.S.A.) ; P341.

楠原洋之, 伊藤澄人, 横地美優, 井上勝央, 湯浅博昭, 杉山雄一

シメチジンによる腎薬物間相互作用への MATE の関与.

第 26 回日本薬物動態学会年会. 2011 年 11 月 16 日 (広島) ; 1-B-O3-2.

伊藤澄人, 楠原洋之, 熊谷雄治, 井上勝央, 湯浅博昭, 森山芳則, 杉山雄一

*N*-methylnicotinamide の腎排泄における MATE の寄与の解析.

第 26 回日本薬物動態学会年会. 2011 年 11 月 16 日 (広島) ; 1-D-O11-3.

西嶋千尋, 井上勝央, 大久保雅彦, 太田欣哉, 湯浅博昭

SNBT1 による尿酸輸送: 小腸における尿酸動態との関わり.

第 26 回日本薬物動態学会年会. 2011 年 11 月 16 日 (広島) ; 1-P1-15.

林 里佳, 井上勝央, 太田欣哉, 湯浅博昭

新規プロスタグランジン排出トランスポーターの機能解析.

第 26 回日本薬物動態学会年会. 2011 年 11 月 16 日 (広島) ; 1-P1-31.

岸 英弘, 太田欣哉, 片野貴大, 浦野公彦, 渡辺 淳, 井上勝央, 湯浅博昭

MDCKII 安定発現細胞におけるヒト aquaporin 10 の機能解析.

第 26 回日本薬物動態学会年会. 2011 年 11 月 16 日 (広島) ; 1-P1-34.

井上勝央【受賞講演: 平成 23 年度日本薬物動態学会奨励賞】

薬物動態に関わるトランスポーターの探索同定と創薬・臨床支援への展開.

第 26 回日本薬物動態学会年会. 2011 年 11 月 17 日 (広島).

大久保雅彦, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

ラット小腸でのニコチン酸取り込みにおける SMCT 様トランスポーターの関与.

第 26 回日本薬物動態学会年会. 2011 年 11 月 18 日 (広島) ; 3-B-O19-4.

## 【病態解析学分野】

(原報)

Noda Y, Watanabe K, Sanagawa A, Sobajima Y, Fujii S

Physicochemical properties of macrogol ointment and emulsion ointment blend developed for regulation of water absorption.

*Int. J. Pharm.*, **419**, 131-136, (2011).

Takefumi Asakura, Soichiro Iwaki, Hiromi Okada, Burton E. Sobel, Satoshi Fujii

Posttranscriptional regulation of expression of plasminogen activator inhibitor type-1 by cAMP in HepG2 liver cells.

*J. Biochem.*, **150**, 687-694, (2011).

Naomi Nakayama, Tomomi Nakamura, Hiromi Okada, Soichiro Iwaki, Burton E. Sobel, Satoshi Fujii

Modulators of induction of plasminogen activator inhibitor type-1 in HepG2 cells by transforming growth factor- $\beta$ .

*Coron. Artery Dis.*, **22**, 468-478, (2011).

Matsuzaki M, Ogihara T, Umemoto S, Rakugi H, Matsuoka H, Shimada K, Abe K, Suzuki N, Eto T, Higaki J, Ito S, Kamiya A, Kikuchi K, Suzuki H, Tei C, Ohashi Y, Saruta

T; Combination Therapy of Hypertension to Prevent Cardiovascular Events Trial Group. Prevention of cardiovascular events with calcium channel blocker-based combination therapies in patients with hypertension: a randomized controlled trial.

*J Hypertens.*, **29**:1649-59, (2011).

(総説・著書・総合論文など)

藤井 聡

バイタルサインと薬学

「6年制薬学教育を主軸とする薬系、医系、看護系大学による広域総合教育連携」

事前教育実施部会 バイタルサイン分科会 報告書 (2011).

藤井 聡, 土屋照雄, 野口博司

薬剤師リカレントプログラム：薬剤師が地域医療を支えるために

*Yakugaku Zasshi*, **131**, 29-31, (2011).

鈴木 匡, 岡田浩美, 藤井 聡

三公立大学連携による薬剤師生涯学習支援の試み

*Yakugaku Zasshi*, **131**, 51-57, (2011).

藤井 聡、伊藤 史織

線溶系からみたアテローム血栓症 血液フロンティア; **21**: 1129-1136 (2011).

藤井 聡、朝倉 健文

線溶系と炎症 血液フロンティア; **21** : 1581-1587 (2011).

藤井 聡

既卒薬剤師リカレント教育への症候論の導入によるセルフメディケーションの向上 平成 22 年度一般用医薬品セルフメディケーション調査研究・啓発事業等報告書: No5 191-202 (2011).

藤井 聡

SPC 委員会活動報告一題 23 回国際血栓止血学会 (ISTH2011) での関連領域の紹介 血管バイオロジー部会 日本血栓止血学会誌 ; 22: 391 (2011).

畠田理佳、土肥靖明、杉浦 知範、藤井 聡、明石恵子、木村和哲、前田 徹

高血圧症患者の内皮機能に影響する心理社会的要因の解明に関する研究 平成 22 年度名古屋市立大学特別研究奨励費研究成果報告書 ; 86-87 (2011).

藤井 聡、牧野 利明

大学間交流協定締結校である瀋陽医学院との交流拡充および瀋陽薬科大学との大学間交流協定締結に向けて 平成 22 年度名古屋市立大学特別研究奨励費研究成果報告書 ; 94-95 (2011).

藤井 聡

エディトリアル 日本血栓止血学会誌 ; 22: 1-2 (2011).

松井 恵利華、藤井 聡

ジャーナルクラブ 冠動脈疾患患者に対する抗血小板薬とプロトンポンプ阻害薬の併用 日本血栓止血学会誌 ; 22: 58 (2011).

森 千恵子、藤井 聡

ジャーナルクラブ 遺伝子組換え活性型 VII 因子による動脈血栓塞栓のリスク 日本血栓止血学会誌 ; 22: 58 (2011).

藤井 聡

ジャーナルクラブ CHADS2 より CHA2DS2-VASc が心房細動患者の脳卒中および血栓塞栓症のリスク予測に有用である 日本血栓止血学会誌 ; 22: 213 (2011).

(特許申請)

該当せず

(学会発表)

藤井 聡

褥瘡の創傷薬理学—軟膏基材の吸水性と酵素活性に与える影響

平成 22 年度 長寿医療研究開発費 (21 指-18) 高齢者における褥瘡・皮膚障害等に対する効果的予防・治療法開発に関する研究 プロジェクトミーティング

2011 年 1 月 8 日 大府市 長寿医療研究センター

**伊藤 史織**

インターンシップ実施報告

薬工融合型ナノメディシン創薬シンポジウム 2010 2011年1月22日 (名古屋).

**陳 偉成** (名古屋工業大学工学研究科 物質工学専攻 青木研究室)

HepG2 に低酸素と過酸化水素の刺激による PAI-1 量の変化 名古屋市立大学薬学研科  
病態解析学でのインターンシップ実施報告

薬工融合型ナノメディシン創薬シンポジウム 2010 2011年1月22日 (名古屋).

**目黒 未希** (名古屋工業大学工学研究科 物質工学専攻 山下研究室)

虚血、低酸素に対する細胞応答の解析と薬物による制御 名古屋市立大学薬学研科  
病態解析学でのインターンシップ実施報告

薬工融合型ナノメディシン創薬シンポジウム 2010 2011年1月22日 (名古屋).

**伊藤 史織** (名古屋市立大学薬学研究科 病態解析学)

形状記憶ポリマーの合成と物性の評価 名古屋工業大学工学研究科 物質工学専攻 猪股研  
究室でのインターンシップ実施報告

薬工融合型ナノメディシン創薬シンポジウム 2010 2011年1月22日 (名古屋).

**野田 康弘、藤井 聡**

外用薬の吸水性の評価 第30回 褥瘡研究会

2011年2月15日 (名古屋).

Tomonori Sugiura, Yasuaki Dohi, Sumiyo Yamashita, Chieko Mori, Soichiro Iwaki, Shiori Ito,  
Yuji Hirowatari, Ryunosuke Ohkawa, Yuko Mishima, Yutaka Yatomi, Genjiro Kimura, Satoshi  
Fujii

Statin Ameliorates the Imbalance Between Plasma Sphingosine 1-Phosphate and Serotonin in Patients  
with Early Atherosclerosis.

第75回日本循環器学会総会・学術集会. 2011年3月20日 (横浜).

**伊藤史織, 岩城壮一郎, 杉浦知範, 土肥靖明, 藤井 聡**

スフィンゴシン 1-リン酸は EPC 様接着細胞における eNOS の発現量を増加させる.

日本薬学会第131回年会. 2011年3月29日 (静岡).

**朝倉健文, 山村周平, 乗本裕明, 岡田浩美, 岩城壮一郎, 藤井 聡**

HepG2 細胞における cAMP による PAI-1 転写後調節機構の解明.

日本薬学会第131回年会. 2011年3月30日 (静岡).

**藤井 聡, 鈴木 匡, 水野 裕之, 金 允勝**

薬剤師生涯教育への症候論の導入によるセルフメディケーションへの教育効果 日本薬学会  
第131年会 2011年3月31日 (東日本大震災にて開催中止につき抄録のみ)

**鈴木 匡, 岡田 浩美, 土屋 照雄, 賀川 義之, 木村 和哲, 杉山 正, 並木 徳之, 平  
嶋 尚英, 中村 光浩, 小菅 和仁, 前田 徹, 林 秀樹, 野口 博司, 小野 秀樹, 藤井  
聡**

三公立連携薬剤師生涯学習支援講座: 3年間の活動とその評価

日本薬学会第131年会 2011年3月31日 (東日本大震災にて開催中止につき抄録のみ)

**藤井 聡**

三公立大学連携により発信する薬剤師生涯学習支援の試み：3年間の成果と今後の展開 in 薬剤師リカレント学習支援プログラム：地域医療と薬学部との連携

日本薬学会第131年会 2011年3月31日（東日本大震災にて開催中止につき抄録のみ）

**賀川 義之, 藤井 聡, 野口 博司**

薬剤師リカレント学習支援プログラム：地域医療と薬学部との連携日本薬学会第131年会  
2011年3月31日（東日本大震災にて開催中止につき抄録のみ）

**伊藤史織, 岩城壮一郎, 杉浦知範, 土肥靖明, 藤井 聡**

スフィンゴシン 1-リン酸は EPC 様接着細胞における eNOS の発現量を増加させる.

第12回 Pharmaco-Hematology シンポジウム. 2011年6月17日 (富山).

**伊藤 佐生智, 横山 領介, 鴨志田 剛, 岡田 浩美, 藤井 聡, 瀧井 猛将, 小野寄 菊夫, 辻 勉**

黄色ブドウ球菌分泌タンパク質 SSL ファミリーの血漿中標的分子の探索

第12回 Pharmaco-Hematology シンポジウム 2011年6月18日 (富山).

**伊藤史織, 岩城壮一郎, 杉浦知範, 土肥靖明, 藤井 聡**

EPC 様接着細胞におけるスフィンゴシン 1-リン酸を介した eNOS 発現の誘導.

第59回東海血栓症研究会. 2011年7月1日 (名古屋).

**藤井 聡**

褥瘡治療外用薬の基剤の吸水性およびヨウ素の反応性に関する研究 平成23年度 長寿医療研究開発費 NCGG方式の統合的な高齢者褥瘡、皮膚潰瘍に関する学問体系の発展とそれらを基盤としたチーム医療体制の提唱 プロジェクトミーティング

2011年7月3日 (大府市 長寿医療研究センター)

**真川明将, 渡邊和哉, 傍島悠, 野田康弘, 藤井聡**

褥瘡治療外用薬の基剤の吸水性およびヨウ素の反応性に関する研究

第58回日本薬学会東海支部総会・大会 2011年7月9日 (名古屋).

**山村周平, 真川明将, 岩城壮一郎, 藤井聡**

S1Pによる PAI-1 発現調節に関わる 3'-UTR 機能の解析

第58回日本薬学会東海支部総会・大会 2011年7月9日 (名古屋).

**渡邊和哉, 真川明将, 傍島悠, 野田康弘, 藤井聡**

褥瘡の治癒を促進するブレンド軟膏の吸水性に関する研究

第58回日本薬学会東海支部総会・大会 2011年7月9日 (名古屋).

**湯田雄一郎, 小池慶子, 岩城壮一郎, 藤井聡**

脂肪細胞において低酸素環境がスフィンゴ脂質代謝に及ぼす影響の解析

第58回日本薬学会東海支部総会・大会 2011年7月9日 (名古屋).

Koike K, Iwaki S, Fujii S.

Hypoxia and sphingolipids increase the expression of plasminogen activator inhibitor-1 (PAI-1) in adipocytes and induce hypofibrinolysis in obesity

第 43 回日本動脈硬化学会総会 2011 年 7 月 16 日 (札幌).

Satoshi Fujii, Ryu Miyagawa, Takefumi Asakura, Tomomi Nakamura, Hiromi Okada, Soichiro Iwaki, Burton E. Sobel

Effect of insulin on the production of plasminogen activator inhibitor type-1 in HepG2 cells: induction through 3'-untranslated region.

XXIII Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis The 57th SSC Meeting.  
2011 年 7 月 25 日 (Kyoto, Japan).

Shiori Ito, Keiko Koike, Soichiro Iwaki, Kazuya Iwabuchi, Ryunosuke Ohkawa, Yutaka Yatomi, Satoshi Fujii.

INDUCTION OF CYTOKINE EXPRESSION IN NKT CELLS BY S1P: IMPLICATIONS FOR INSULIN RESISTANCE AND ATHEROTHROMBOSIS 23rd Congress of the international Society on Thrombosis and Hemostasis.

2011 年 7 月 27 日 (Kyoto).

Sugiura T, Dohi Y, Yamashita S, Mori C, Iwaki S, Ito S, Hirowatari Y, Ohkawa R, Mishima Y, Yatomi Y, Kimura G, Fujii S.

Statin Ameliorates the Imbalance Between Plasma Sphingosine 1-Phosphate and Serotonin in Patients with Early Atherosclerosis 75th Annual Scientific Session of the Japanese Circulation Society 2011. 3. 20 (Yokohama)

Circulation Journal 2011,75(Suppl. I):I-2881 (東日本大震災にて開催中止につき抄録のみ)

2011 年 8 月 3 日-4 日 E-poster 発表

鳶田理佳、明石恵子、木村和哲、藤井 聡、土肥靖明、前田 徹

教育的介入としての高血圧セミナーの実施および評価

第 75 回日本循環器学会総会 2011 年 3 月 18 日 (横浜) (東日本大震災にて開催中止につき抄録のみ) 2011.8.3-4 E-poster 発表

伊藤史織、岩城壮一郎、岩渕和也、大川龍之介、矢富 裕、藤井 聡

NKT 細胞におけるスフィンゴシン 1-リン酸受容体を介した TNF- $\alpha$ 発現調節.

第 9 回血液・血栓オルビス. 2011 年 8 月 20 日 (東京).

野田康弘、藤井聡

ブレンド軟膏の吸水性の調整機構について

第 13 回日本褥瘡学会学術集会 2011 年 8 月 26 日 (福岡).

藤井 聡、野田康弘

褥瘡治療用外用薬の吸水特性の評価に関する研究

第 13 回日本褥瘡学会学術集会 2011 年 8 月 26 日 (福岡) (日本褥瘡学会研究助成中間報告)



藤井 聡、松井 恵利華、岩城 壮一郎、野田 康弘

創傷治癒に与える生理活性脂質の影響の検討

第 13 回日本褥瘡学会学術集会 2011 年 8 月 27 日 (福岡).

藤井 聡

静岡県薬剤師会臨床体験実習プログラム 薬剤師に必要なフィジカルアセスメント

2011 年 9 月 11 日 (静岡県立大学薬学部)

近藤理恵, 伊藤史織, 岩城壮一郎, 岩渕和也, 藤井 聡

NKT 細胞ハイブリドーマにおけるスフィンゴシン 1-リン酸によるサイトカイン産生調節機構の検討.

第 84 回日本生化学会大会. 2011 年 9 月 23 日 (京都).

智谷尊史, 伊東佐恵子, 岩城壮一郎, 花田賢太郎, 五十嵐靖之, 藤井 聡

スフィンゴシン誘導体による虚血再灌流障害抑制作用の解析.

第 84 回日本生化学会大会. 2011 年 9 月 22 日 (京都).

山村周平, 真川明将, 朝倉健文, 岩城壮一郎, 藤井 聡

S1P による PAI-1 発現調節機構に関する 3'-UTR 機能の解析.

第 84 回日本生化学会大会. 2011 年 9 月 23 日 (京都).

藤井 聡

ライセンスアカデミー進路相談 いっしょに考えよう: くすりをつくる、  
細胞や動物から学ぶ、病気をなおす—名古屋市立大学薬学部の紹介

2011 年 9 月 28 日 (愛知県立昭和高校)

藤井 聡、森 智恵子、岩城壮一郎

血管障害の発症、進展に関与するマイクロ RNA の解析

第 34 回日本高血圧学会 2011.10.20 (宇都宮).

鳶田理佳、明石恵子、木村和哲、藤井 聡、土肥靖明、前田 徹

高血圧患者を対象とした服薬アドヒアランス尺度作成の試み 高得点演題 3 コメディカル

第 34 回日本高血圧学会 2011.10.22 (宇都宮).

伊藤 佐生智, 横山 領介, 鴨志田 剛, 岡田 浩美, 藤井 聡, 瀧井 猛将, 辻 勉, 小野寄 菊夫

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL10 による血液凝固抑制作用

フォーラム 2011: 衛生薬学・環境トキシコロジー 2011 年 10 月 27 日 (金沢).

Fujii S.

Inflammation and Thrombosis. Cardiovascular Seminar, Scientific Session of the American Heart Association.

2011 年 11 月 13 日 (Orlando, USA ).

Tomonori Sugiura, Yasuaki Dohi, Sumiyo Yamashita, Nobuyuki Ohte, Shiori Ito, Chieko Mori, Soichiro Iwaki, Yuji Hirowatari, Ryunosuke Ohkawa, Yuko Mishima, Yutaka Yatomi, Genjiro Kimura, Satoshi Fujii.

Statin-Induced Improvement of Human Endothelial Function is Mediated by Sphingosine 1-Phosphate. Scientific Session of the American Heart Association.

2011年11月15日 (Orlando, USA).

智谷尊史, 伊東佐恵子, 岩城壮一郎, 花田賢太郎, 五十嵐靖之, 藤井 聡

スフィンゴシン誘導体がスフィンゴ脂質代謝に与える影響の解析.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2011.

2011年11月23日 (名古屋).

渡邊和哉, 岩城壮一郎, 中西 務, 小島 朗, 今井敬司, 隅田師玄, 鈴木 匡, 藤井 聡

薬学生が実務実習で学んだ在宅症例を用いた薬剤師生涯学習のための症例検討会の試み.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2011.

2011年11月23日 (名古屋).

Fujii S, Takuwa Y.

Roles of microparticles and lysophospholipid mediators in vascular physiology and diseases. The Japan vascular biology and medicine organization/ the Japanese society of thrombosis and hemostasis joint symposium.

The 19th annual meeting of the Japanese vascular biology and medicine organization and the 1st Asia-Pacific vascular biology meeting.

2011年12月9日 (Tokyo).

## 【医薬品代謝解析学】

(原報)

Yasumichi Inoue, Shun-ichiro Iemura, Tohru Natsume, Keiji Miyazawa, Takeshi Imamura  
Suppression of p53 activity through the cooperative action of Ski and histone deacetylase SIRT1.  
*J. Biol. Chem.*, **286**(8), 6311-6320 (2011).

Jian Xu, Yuka Itoh, Hidetoshi Hayashi, Takemasa Takii, Keiji Miyazawa, Kikuo Onozaki  
Dihydrotestosterone inhibits IL-1 $\alpha$  or TNF $\alpha$ -induced proinflammatory cytokine production via androgen receptor-dependent inhibition of NF- $\kappa$ B activation in rheumatoid fibroblast-like synovial cell line.  
*Biol. Pharm. Bull.*, **34**(11), 1724-1730 (2011).

(総説)

今村健志, 疋田温彦, 井上靖道, 羽生亜紀  
細胞周期／転移への Fucci 技術.  
*がん分子標的治療* **9**(4), 227-235 (2011).

(学会発表)

森本真宗, 新開慈子, 伊藤友香, 酒井 聡, 水谷隆治, 林 秀敏  
CYP3A4タンパク質の発現制御  
日本薬学会第131年会, 2011年3月29日(静岡); 29P-0369.

石井陽子, 中平桂子, 石戸谷その, 伊藤友香, 酒井 聡, 水谷隆治, 林 秀敏  
TGF- $\beta$ によるUGT1A1の転写調節機構の解析  
日本薬学会第131年会, 2011年3月29日(静岡); 29P-0372.

石戸谷その, 伊藤友香, 酒井 聡, 水谷隆治, 林 秀敏  
薬物代謝酵素UGT1A1タンパク質の安定性制御  
日本薬学会第131年会, 2011年3月30日(静岡); 30G-am12.

### 林 秀敏 【他大学講義】

小胞体ストレスの制御と疾患  
山口大学大学院医学系研究科 特別専門講義, 2011年4月16日(宇部).

牛山小百合, 井手祐子, 吉井由比子, 酒井 聡, ○伊藤友香, 大岡伸通, 小野崙菊夫, 井上靖道, 林 秀敏  
ストレス誘導性タンパク質TRB3によるTGF- $\beta$ シグナル抑制機構の解析  
第75回日本生化学会中部支部例会, 2011年5月28日(静岡); P42.

Yuka Itoh, Yi Yue, Mayumi Inoue, Satoshi Sakai, Kikuo Onozaki, Masayuki Saito, Hidetoshi Hayashi

Effect of TGF- $\beta$  on the differentiation and accumulation of lipid droplets in white and brown adipocytes

THE 30th NAITO CONFERENCE. 2011年6月29日(札幌); PS [I]-53.

岡山敦子, 楽 怡, 野口祐美子, 井上万由美, 伊藤友香, 小野寄菊夫, 井上靖道, 林 秀敏  
白色脂肪細胞分化における TGF- $\beta$  シグナル関連因子の遺伝子発現変化

第57回日本薬学会東海支部大会. 2011年7月9日(名古屋); B-1550.

杉山和弥, 西仲 駿, 伊藤友香, 井上靖道, 酒井 聡, 小野寄菊夫, 林 秀敏  
ストレスセンサータンパク質 TRB3 による IL-2 の転写制御

第57回日本薬学会東海支部大会. 2011年7月9日(名古屋); B-1640.

森本真宗, 松永民秀, 鈴木 匡

長期実務実習を有意義にするために

第57回日本薬学会東海支部大会. 2011年7月9日(名古屋); I-1630.

伊藤友香, 牛山小百合, 井手佑子, 酒井 聡, 大岡伸通, 小野寄菊夫, 井上靖道, 林 秀敏  
TRB3 represses TGF-beta-induced transcriptional activation by Smad3 via inhibiting of Smad3-DNA interaction

平成23年度がん若手研究者ワークショップ. 2011年9月 1日(茅野); P-25.

牛山小百合, 井手佑子, 吉井由比子, 酒井 聡, 伊藤友香, 大岡伸通, 小野寄菊夫, 井上靖道, 林 秀敏

ストレスセンサータンパク質 TRB3 と TGF- $\beta$  シグナルのクロストーク

第84回日本生化学会大会. 2011年9月22日(京都); 2P-0455.

酒井 聡, 大岡伸通, 伊藤友香, 井上靖道, 北川雅敏, 中西 真, 林 秀敏

ユビキチンリガーゼ APC/C の新規阻害分子 TRB1 の機能解析

第84回日本生化学会大会. 2011年9月22日(京都); 2P-0470.

楽 怡, 岡山敦子, 野口祐美子, 井上靖道, 伊藤友香, 小野寄菊夫, 齋藤昌之, 林 秀敏  
TGF- $\beta$  による白色脂肪細胞における脂肪滴蓄積の制御

第84回日本生化学会大会. 2011年9月24日(京都); 2P-0580.

Yuto Sakai, Katsumi Fukamachi, Mitsuru Futakuchi, Hiroyuki Tsuda, Masumi Suzui, Hidetoshi Hayashi

Apc 欠損によって引き起こされる大腸腫瘍発生における TRB3 の役割

第70回日本癌学会学術総会. 2011年10月3日(名古屋); P-1227.

Nobumichi Ohoka, Hidetoshi Hayashi, Mikihiko Naito

Role of TRB3 function in SREBP-2-regulated cholesterol homeostasis in human hepatoma cells.

第70回日本癌学会学術総会. 2011年10月4日(名古屋); P-2067.

森本真宗, 新開慈子, 酒井 聡, 伊藤友香, 井上靖道, 林 秀敏

薬物代謝第一相反応酵素 CYP3A4 タンパク質の安定性

第10回次世代を担う若手ファーマバイオフォーラム 2011

2011年10月9日(仙台); B24.

杉山和弥, 西仲 駿, 伊藤友香, 井上靖道, 酒井 聡, 小野寄菊夫, 林 秀敏

ストレスセンサータンパク質 TRB3 による IL-2 転写制御機構の解析

フォーラム 2011: 衛生薬学・環境トキシコロジー

2011年10月27,28日(金沢); P-112.

岩井俊樹, 町支優和, 井上靖道, 伊藤友香, 小野寄菊夫, 林 秀敏

TGF- $\beta$  シグナル伝達分子 Smad2 の点変異体 Smad2L440R の不安定性解析

フォーラム 2011: 衛生薬学・環境トキシコロジー

2011年10月27,28日(金沢); P-113.

酒井 聡, 大岡伸通, 伊藤友香, 井上靖道, 北川雅敏, 中西 真, 林 秀敏

ユビキチンリガーゼ APC/CCdh1 の新規阻害分子 TRB1 の機能解析

フォーラム 2011: 衛生薬学・環境トキシコロジー

2011年10月27,28日(金沢); P-097.

Mashu Morimoto, Shigeko Shinkai, Satoshi Sakai, Yuka Itoh, Yasumichi Inoue, Takaharu Mizutani, Hidetoshi Hayashi

CYP3A4 is regulated at the protein level

日本薬物動態学会第26回年会. 2011年11月16日(広島); 1-P2-23.

Yoko Ishii, Keiko Nakahira, Yuka Itoh, Satoshi Sakai, Yasumichi Inoue, Takaharu Mizutani, Hidetoshi Hayashi

Regulation of UGT1A1 promoter activity by TGF- $\beta$  through its phenobarbital-responsive enhancer module

日本薬物動態学会第26回年会. 2011年11月16日(広島); 1-P-35

宮嶋ちはる, 松平都和, 伊藤友香, 西仲 駿, 酒井 聡, 井上靖道, 小野寄菊夫, 林 秀敏

ストレス誘導性因子 TRB3 による I 型ヘルパー T 細胞 (Th1) 指向型転写因子 T-bet の活性制御

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2011.

2011年11月23日(名古屋); I-A08.

井上靖道

がん抑制遺伝子 p53、RB の機能制御とその破綻による細胞がん化

第126回薬学談話会.

2011年12月9日(名古屋).

Nobumichi Ohoka, Hidetoshi Hayashi, Mikihiro Naito, Ryuichiro Sato

Role of TRB3 function in SREBP-2-regulated cholesterol homeostasis in human hepatocellular carcinoma

第34回日本分子生物学会年会. 2011年12月15日(横浜); 3P-0245.

Yumiko Noguchi, Waka Kojima, Satoshi Sakai, Yuka Itoh, Yasumichi Inoue, Hidetoshi Hayashi

Regulation of FoxO1 activity by TRB1

第 34 回日本分子生物学会年会. 2011 年 12 月 16 日 (横浜) ; 4P-0532.

## 【中枢神経機能薬理学分野】

(原報)

Ohnami S, Tanabe M, Shinohara S, Takasu K, Kato A, and Ono H

Role of voltage-dependent calcium channel subtypes in spinal long-term potentiation of C-fiber-evoked field potentials.

*Pain*, **152**, 623-631 (2011)

Kodama D, Ono H, and Tanabe M

Increased hippocampal glycine uptake and cognitive dysfunction after peripheral nerve injury.

*Pain*, **152**, 809-817 (2011)

Ohsawa M, Carlsson A, Asato M, Koizumi T, Nakanishi Y, Fransson R, Sandström A, Hallberg M, Nyberg F, and Kamei J

The effect of substance P1-7 amide on nociceptive threshold in diabetic mice.

*Peptides*, **32**, 93-98 (2011)

Ohsawa M, Aasato M, Hayashi SS, and Kamei J

RhoA/Rho kinase pathway contributes to the pathogenesis of thermal hyperalgesia in diabetic mice.

*Pain*, **152**, 114-122 (2011)

Miyata S, Hirano S, Ohsawa M, and Kamei J

Chlorpheniramine exerts anxiolytic-like effects and activates prefrontal 5-HT systems in mice.

*Psychopharmacology (Berl)*, **213**, 441-452 (2011)

Kamei J, Ohsawa M, Hayashi SS, and Nakanishi Y

Effect of chronic pain on morphine-induced respiratory depression in mice.

*Neuroscience*, **174**, 224-233 (2011)

Kamei J, Nakanishi Y, Ishikawa Y, Hayashi SS, Asato M, and Ohsawa M

Possible involvement of tetrodotoxin-resistant sodium channels in cough reflex.

*Eur. J. Pharmacol.*, **652**, 117-120 (2011)

Ohsawa M, Carlsson A, Asato M, Koizumi T, Nakanishi Y, Fransson R, Sandström A, Hallberg M, Nyberg F, and Kamei J

The dipeptide Phe-Phe amide attenuates signs of hyperalgesia, allodynia and nociception in diabetic mice using a mechanism involving the sigma receptor system.

*Mol. Pain*, **7**, 85 (2011)

(総説・著書・総合論文など)

小野秀樹：「2011年版 実習に行く前の覚える医薬品集－服薬指導に役立つ－」分担執筆、廣川書店 2011.

大澤匡弘：「薬から診る病態生理：第1回 心疾患の病態生理；1. 不整脈」Clinical Pharmacist、メディカ出版、3,236-241,2011.

大澤匡弘：「薬から診る病態生理：第2回 心疾患の病態生理；2. 慢性心不全」Clinical Pharmacist、メディカ出版、3,337-342, 2011.

大澤匡弘：「がん領域・緩和医療に生かす薬理学」Clinical Pharmacist、メディカ出版、3, 356-361, 2011.

大澤匡弘：「薬から診る病態生理：第3回 統合失調症治療薬の病態生理」Clinical Pharmacist、メディカ出版、3,457-461, 2011.

大澤匡弘：「薬から診る病態生理：第4回 気分障害の病態生理」Clinical Pharmacist、メディカ出版、3,539-544, 2011.

(学会発表)

藤井由希, 小野秀樹, 田辺光男

青斑核 GABA 性シナプス伝達に対する一酸化窒素(NO)による NO-cGMP 経路を介した促進作用

第84回日本薬理学会年会, 2011年3月22日(横浜・誌上開催); P1J-1-5

宮辺裕輔, 山本昇平, 大澤匡弘, 小野秀樹

リゾフォスファチジン酸誘発アロディニアの起因となる知覚神経の同定

第84回日本薬理学会年会, 2011年3月22日(横浜・誌上開催); P1J-7-6

朝戸めぐみ, 石川蓉子, 大澤匡弘, 亀井厚子, 池田弘子, 亀井淳三

オランザピンによる耐糖能異常におけるヒスタミンH1受容体ならびに脳内AMPキナーゼの関与

第84回日本薬理学会年会, 2011年3月22日(横浜・誌上開催); O1E2-E-6

田中健一郎, 前田貴美子, 加藤梨紗子, 大澤匡弘, 朝戸めぐみ, 池田弘子, 亀井淳三

有痛性糖尿病性神経障害に対するアンブロキシソールの改善効果

第84回日本薬理学会年会, 2011年3月23日(横浜・誌上開催); O2F3-J-2

岡本賢, 小野秀樹, 田辺光男

神経因性疼痛維持に上位中枢で関与する一酸化窒素(NO)の合成酵素アイソフォームとNOの下流シグナルの薬理的解析

第84回日本薬理学会年会, 2011年3月23日(横浜・誌上開催); O2F3-J-4

松井千夏, 小野秀樹, 田辺光男

ラット脊髄後角におけるC-線維誘発性フィールドポテンシャルの長期増強に対するグリシンやその取り込み阻害の影響

第84回日本薬理学会年会, 2011年3月23日(横浜・誌上開催); P2J-1-8



友寄織江, 小野秀樹, 田辺光男

選択的セロトニン再取り込み阻害薬 fluvoxamine の脊髄後角一次求心性興奮性シナプス伝達レベルにおける疼痛抑制メカニズム

第 84 回日本薬理学会年会, 2011 年 3 月 23 日 (横浜・誌上開催); P2J-7-9

鍵岡明奈, 牧野利明, 大竹沙紀, 山本昇平, 大澤匡弘, 小野秀樹, 水上元

オキサリプラチンによるマウス神経障害性疼痛に対する加工ブシ的作用

日本薬理学会第 131 年会, 2011 年 3 月 29 日 (静岡・誌上開催); 29F-pm05

鈴木匡, 岡田浩美, 土屋照雄, 賀川義之, 木村和哲, 杉山正, 並木徳之, 平嶋尚英, 中村光浩, 小菅和仁, 前田徹, 林秀樹, 野口博司, 小野秀樹, 藤井聡

三公立連携薬剤師生涯学習支援講座: 3 年間の活動とその評価

日本薬理学会第 131 年会, 2011 年 3 月 31 日 (静岡・誌上開催); 31P-0899

小野秀樹, 黒野幸久

6 年制薬学教育を主軸とする薬系・医系・看護系大学による連携

日本薬理学会第 131 年会, 2011 年 3 月 31 日 (静岡・誌上開催); S29-5

山本昇平, 宮辺裕輔, 大澤匡弘, 小野秀樹

Lysophosphatidic acid 誘発アロディニアにおける有髄感覚神経の関与

第 119 回日本薬理学会近畿部会, 2011 年 7 月 8 日 (名古屋); A-9

田辺光男, 山田彩, 小野秀樹

神経因性疼痛と付随する認知機能障害に対する donepezil の改善作用

第 119 回日本薬理学会近畿部会, 2011 年 7 月 8 日 (名古屋); A-10

矢野裕恭, 山本昇平, 大澤匡弘, 小野秀樹

脊髄損傷後の運動機能障害に対する pioglitazone の改善効果と下行性セロトニン神経の関連

第 119 回日本薬理学会近畿部会, 2011 年 7 月 8 日 (名古屋); A-11

木村聡子, 丹羽由華, 岩嶋優依, 永野裕子, 山本昇平, 大井義明, 前田康博, 黒野幸久, 小野秀樹, 樋彰

抗インフルエンザウイルス薬リン酸オセルタミビルによる呼吸抑制作用

第 119 回日本薬理学会近畿部会, 2011 年 7 月 8 日 (名古屋); A-23

落合敏平, 高橋由香里, 朝戸めぐみ, 渡部文子, 大澤匡弘, 亀井淳三, 加藤総夫

神経障害性疼痛を伴う糖尿病マウスにおける侵害受容性扁桃体のシナプス伝達増強

第 34 回日本神経科学大会, 2011 年 9 月 16 日 (横浜); P3-c03

竹淵直希, 大澤匡弘, 山本昇平, 小野秀樹

神経因性疼痛モデルにおける痛覚過敏に対する gabapentin 脳室内投与の影響

第 120 回日本薬理学会近畿部会, 2011 年 11 月 11 日 (京都); A-9

山本昇平, 大澤匡弘, 小野秀樹

Contribution of TRPV1 receptor-expressing fibers in spinal ventral root discharges and hyperalgesia after mechanical noxious stimuli in spared nerve injury (SNI) model rats

第 5 回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム, 2011 年 11 月 27 日 (名古屋); O2-3

## 【医薬品安全性評価学分野】

(原報)

Mayumi Saeki, Kouichi Kurose, Ryuichi Hasegawa, Masahiro Tohkin

Functional analysis of genetic variations in the 5'-flanking region of the human MDR1 gene.

*Mol Genet Metab.*, **102**, 91-98 (2011).

Masahiro Tohkin, Nahoko Kaniwa, Yoshiro Saito, Emiko Sugiyama, Kouichi Kurose, Jun Nishikawa, Ryuichi Hasegawa, Michiko Aihara, Kayoko Matsunaga, Masamichi Abe, Hirokazu Furuya, Yukitoshi Takahashi, Hiroko Ikeda, Masaaki Muramatsu, Mayumi Ueta, Chie Sotozono, Shigeru Kinoshita, Zenro Ikezawa.

A whole-genome association study of major determinants for allopurinol-related Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis in Japanese patients.

*Pharmacogenomics J.* 2011 Sep 13. doi: 10.1038/tpj.2011.41

(学会発表)

東雄一郎、齋藤充生、石黒昭博、長谷川隆一、齋藤嘉朗、龍島靖明、山本弘史、頭金正博  
Trastuzumab 投与による Infusion Reaction 発現に関する要因の検討

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 29 日 (静岡) ; 29P-0843

Masahiro Tohkin

Ethnic Similarities and Differences in Pharmacokinetics of East Asian Populations.

DIA 47<sup>th</sup> Annual Meeting

2011 年 6 月 19-23 日 (Chicago, USA)

頭金正博【シンポジスト】

東アジアでの国際共同治験推進のための日中韓の協力

日本薬物動態学会第 26 回年会シンポジウム 4. 2011 年 11 月 17 日 (広島).

東雄一郎, 秦晃二郎, 佐井君江, 宇田川涼子, 頭金正博, 龍島靖明, 牧野好倫, 横手信昭,  
藤原康弘, 齋藤嘉朗, 山本弘史

転移性乳がんのカペシタビン療法による手足症候群発症と治療効果との関連～カペシタビンの個別化治療に向けて～

第 1 回レギュラトリーサイエンス学会学術大会. 2011 年 9 月 2 日 (東京).

## 【病院薬剤学】

(原報)

Yuji Hotta, Mayuko Hattori, Tomoya Kataoka, Risa Ohno, Mayumi Mikumo, Yasuhiro Maeda, and Kazunori Kimura

Chronic Vardenafil Treatment Improves Erectile Function via Structural Maintenance of Penile Corpora Cavernosa in Rats with Acute Arteriogenic Erectile Dysfunction

*J. Sex. Med.*, **8**, 705-711 (2011)

Yoko Nakajima, Tetsuya Ito, Yasuhiro Maeda, Sayaka Ichiki, Satoru Kobayashi, Naoki Ando, Mohamed Hamed Hussein, Yukihisa Kurono, Naruji Sugiyama, Hajime Togari

Evaluation of valproate effects on acylcarnitine in epileptic children by LC-MS/MS

*Brain Dev.*, **33**, 816-823 (2011)

大野梨紗, 吉川一規, 前田徹, 木村和哲

処方箋に臨床検査データを記載することの有用性の検討

愛知県病院薬剤師会雑誌, **39** (1), 4-9(2011)

畠田理佳, 藤井聡, 明石恵子, 土肥靖明, 木村和哲, 前田徹

高血圧症患者の服薬アドヒアランスの現状

名古屋市立大学看護学部紀要, **10**, 9-14 (2011)

(総説・著書・総合論文など)

木村和哲

症例チャートから見る薬物治療マネジメント「前立腺肥大症・過活動膀胱」

薬局別冊, **62**, 197-207 (2011)

木村和哲【共著】

2011 版 実習に行く前の覚える医薬品集 -服薬指導に役立つ-

廣川書店 発行 2011 年 3 月 20 日

木村和哲【共著】

在宅医療 Q&A 平成 23 年版 服薬支援と多職種協働・連携のポイント

じほう 発行 2011 年 8 月 22 日

木村和哲【共著】

モデル・コアカリキュラムに沿った わかりやすい病院実務実習テキスト 第 2 版

じほう 発行 2011 年 9 月 19 日

木村和哲

病気と薬パーフェクト BOOK 「勃起障害／性腺機能低下症(男性)」

薬局 増刊号, **62**, 4, 92-93,1205-1212 (2011)

(学会発表)

前田康博, 小田晴香, 伊藤哲哉, 木村和哲, 黒野幸久, 杉山成司

UPLC-MS/MS によるサリチロイルカルニチン定量と応用

日本薬学会年会 131 年会, 2011 年 3 月 29 日 (静岡); 29P-0215

鈴木匡, 岡田浩美, 土屋照雄, 賀川義之, 木村和哲, 杉山正, 並木徳之, 平嶋尚英, 中村光浩, 小菅和仁, 前田徹, 林秀樹, 野口博司, 小野秀樹, 藤井聡

三公立連携薬剤師生涯学習支援講座 3 年間の活動とその評価

日本薬学会年会 131 年会, 2011 年 3 月 29 日 (静岡); 31P-0899

前田徹, 飯塚成志, 浅井清文, 福留元美, 小黒智恵子, 明石恵子, 土肥靖明, 早野順一郎, 木村和哲, 鈴木匡

患者心理の理解とチーム医療のさらなる理解を目的とした学生の体験入院の試み

日本薬学会年会 131 年会, 2011 年 3 月 29 日 (静岡); 31P-0771

木村和哲【シンポジウム】

慢性腎臓病(CKD)治療の現在と将来の展望 CKD における血管内皮機能障害と血清 ADMA 濃度との関連性について

日本薬学会年会 131 年会, 2011 年 3 月 31 日 (静岡); S37-2

佐伯憲一, 小島恵理子, 難波昭雄, 五十鈴川和人, 小松一, 成田延幸, 荒木麻由, 鷺見正宏, 加藤輝隆, 木村和哲

トルブタミド誘導体におけるフッ素置換による代謝への影響

日本薬学会年会 131 年会, 2011 年 3 月 31 日 (静岡); 30P-0732

堀田祐志, 大野梨紗, 片岡智哉, 大野雅恵, 前田康博, 佐々木昌一, 郡健二郎, 木村和哲

Vardenafil 連日投与の効果は投与中止後も持続するのか?—動脈性 ED ラットによる検討—

第 99 回日本泌尿器科学会, 2011 年 4 月 21-24 日 (名古屋); 0P-281

Tomoya Kataoka, Mayumi Mikumo, Risa Ohno, Arufumi Shiota, Yuji Hotta, Masae Ohno, Yasuhiro Maeda, Yukihiisa Kurono and Kazunori Kimura

Studies on initiation of androgen replacement therapy on erectile function in castrated rats.

6<sup>th</sup> JAPAN-ASEAN conference on Men's Health and Aging

2011 年 6 月 30 日-7 月 3 日. (Kamakura, Japan); P-03

片岡智哉, 堀田祐志, 塩田有史, 大野雅恵, 前田康博, 黒野幸久, 木村和哲

去勢ラットを用いた Androgen 補充療法の治療開始時期の検討

第 119 回日本薬理学会近畿支部会, 2011 年 7 月 8 日 (名古屋); C-18

飯塚成志, 前田徹, 鈴木匡, 明石恵子, 木村和哲, 浅井清文, 酒々井眞澄, 早野順一郎

医薬看連携による「地域参加型学習」カリキュラムの開発とその効果

第 43 回日本医学教育学会大会, 2011 年 7 月 22 日 (広島); Suppl. Page112

塩田有史, 堀田祐志, 片岡智哉, 高畑裕, 服部由香, 大野雅恵, 前田康博, 木村和哲, 森田匡彦, 原孝博

経口シトルリン連続投与によるラット動脈性 ED の改善効果

第 21 回日本性機能学会中部総会. 2011 年 8 月 6 日(浜松) ;1

Nasu T, Maeda Y, Ito T, Nakajima Y, Tajima G, Kato S, Kurono Y, Kimura K, Sugiyama N  
ESTABLISHMENT OF SIMPLE AND EASY ENZYME ACTIVITY MEASUREMENT WITH LYMPHOCYTE BY HPLC

Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism

2011 年 8 月 30 日-9 月 2 日. (Geneva, Switzerland); A-011

Yuji Hotta, Yoshiyuki Kojima, Yuka Hattori, Masae Ohno, Yasuhiro Maeda, Shoichi Sasaki, Kenjiro Kohri, Kazunori Kimura

Effects of daily vardenafil treatment on voiding dysfunction caused by ligation of bilateral internal iliac arteries in rats

41<sup>st</sup> Annual meeting of the International Continence Society

2011 年 8 月 29 日-9 月 2 日. (Glasgow, UK); 523

黒田純子, 近藤勝弘, 山本清司, 黒井美晴, 西山毅, 小松弘和, 木村和哲

外来化学療法室における予約取消しに関する要因分析

第 49 回日本癌治療学会学術集会 2011 年 9 月 13 日(名古屋); PS135-5

堀田祐志, 服部由香, 大野雅恵, 前田康博, 小島祥敬, 窪田泰江, 佐々木昌一, 郡 健二郎, 木村和哲

両側内腸骨動脈結紮ラットの排尿機能障害に対する vardenafil 連日投与の効果

第 18 回排尿機能学会. 2011 年 9 月 15 日-18 日(福井); O-087

堀田祐志, 片岡智哉, 塩田有史, 森田匡彦, 大野雅恵, 前田康博, 木村和哲

去勢ラットの勃起機能に対するシトルリン飲水投与の効果について

日本性機能学会第 22 回学術総会. 2011 年 9 月 29 日-10 月 1 日(倉敷); 2

片岡智哉, 堀田祐志, 塩田有史, 大野雅恵, 前田康博, 木村和哲

去勢ラットを用いた Androgen 補充療法の治療開始時期の検討

日本性機能学会第 22 回学術総会. 2011 年 9 月 29 日-10 月 1 日(倉敷); 1

木村和哲【教育講演】

ED 基礎と臨床のかけはし

日本性機能学会第 22 回学術総会. 2011 年 9 月 30 日(倉敷); P128

前田康博, 加藤あゆみ, 中島葉子, 加藤沙耶香, 木村和哲, 黒野幸久, 伊藤哲哉

ピリミジン代謝異常症における代謝物の HPLC-MS/MS による同時定量法の開発

第 36 回日本医用マススペクトル学会年会. 2011 年 9 月 15 日(大阪); P-1

畠田理佳, 明石恵子, 藤井聡, 土肥靖明, 木村和哲, 前田徹

高血圧患者を対象とした服薬アドヒアランス尺度作成の試み

第 34 回日本高血圧学会総会. 2011 年 10 月 20 日(宇都宮); P380

**木村和哲【シンポジウム】**

性機能 up date 血管内皮機能から ED をみる

第 64 回日本自律神経学会総会. 2011 年 10 月 27 日(秋田) ; S6-1

前田康博, 伊藤哲哉, 加藤あゆみ, 中島葉子, 加藤沙耶香, 木村和哲, 黒野幸久, 齋藤伸治  
HPLC-MS/MS によるピリミジン代謝異常症のスクリーニング法確立とその応用

第 53 回日本先天代謝異常学会. 2011 年 11 月 26 日 (千葉) ; B-60

那須徹也, 前田康博, 伊藤哲哉, 但馬 剛, 中島葉子, 加藤沙耶香, 木村和哲, 黒野幸久,  
齋藤伸治

メチルマロン酸血症におけるメチルマロニ-CoA ムターゼ活性の測定方法の確立

第 53 回日本先天代謝異常学会. 2011 年 11 月 26 日 (千葉) ; A-79

Tomoya Kataoka, Yuji Hotta, Arufumi Shiota, Masae Ohno, Yasuhiro Maeda, Kazunori  
Kimura.

Effects of changes in the sex hormone milieu on male's erectile function in rats.

14<sup>th</sup> Congress of the European Society for Sexual Medicine.

2011 年 12 月 1 日-4 日(Milan, Italy) ; PS-02

Yuji Hotta, Tomoya Kataoka, Arufumi Shiota, Masae Ohno, Yasuhiro Maeda, Masahiko  
Morita, Hara Takahiro, Kazunori Kimura

The effects of oral treatment of L-Citrulline on erectile function in castrated rats.

14<sup>th</sup> Congress of the European Society for Sexual Medicine.

2011 年 12 月 1 日-4 日(Milan, Italy) ; PO-01-012

## 【臨床薬学分野】

(原報)

Tsujino N, Nakada T, Tsubouchi K, Masaaki Kobayashi M, Kawai Y, Yano S, Tamihide Matsunaga, Hirose M, Shigeru Ohmori, Ohhashi T, and Yamada M  
Thrombin activates  $Ca^{2+}$ -permeating nonselective cation channels through protein kinase C in human umbilical vein endothelial cells.

*Shinshu Med. J.*, **59**, 13-26 (2011).

菊池千草, 堀 英生, 前田 徹, 松永民秀, 鈴木 匡  
糖尿病薬物療法模擬体験学習の教育効果.

*薬学雑誌*, **131**, 477-483 (2011).

中村敏明, 岩尾岳洋, 東 高士, 谷 大輔, 矢野良一, 政田幹夫  
パクリタキセル注「NK」のラットにおける安全性の検討.

*医療薬学*, **37**, 551-558 (2011).

(総説・著書・総合論文など)

松永民秀

薬物動態研究における実験材料及び評価系開発の最近の動向.

*Drug Metab. Pharmacokinet.*, **26**, 5-6 (2011).

岩尾岳洋, 松永民秀

ヒト ES および iPS 細胞から肝細胞様細胞および腸管組織への分化誘導.

*Drug Metab. Pharmacokinet.*, **26**, 7-14 (2011).

鈴木 匡

6年制薬学部教育を薬局業務に活かす試み.

*薬局薬学*, **3**, 3-10 (2011).

(その他の著書)

鈴木 匡

E-ラーニング 薬局で行うワークショップシリーズ 「後発医薬品の情報提供」.

*NPO 医療教育研究所 講座作製* (2011).

鈴木 匡

6年制のめざすもの～さらにその先へ.

*四季緑風 (中北薬品(株))* № 5, 1-4 (2011).

鈴木 匡

わかりやすい病院実務実習テキスト第2版 (じほう). 監修

(学会発表)

菊池 千草, 堀 英生, 永味 千枝, 梶栗 潤子, 伊藤 猛雄, 松永 民秀

2 型糖尿病モデルラット血管壁におけるスーパーオキシド産生増加に対するプラバスタチンの慢性投与効果と PKC $\delta$  への影響の検討

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 29 日 (静岡) ; 29P-0768.

加藤 真梨, 菊池 千草, 堀 英生, 加藤 岳史, 今枝 憲郎, 岡山 直司, 松永 民秀

2 型糖尿病患者におけるスタチンの糖代謝に及ぼす影響の性差とその要因としてのアディポネクチンの関連性

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 29 日 (静岡) ; 29P-0802.

佐藤 大介, 張本 伸彦, 前田 徹, 伊藤 哲哉, 戸川 創, 松永 民秀

Glucose 6-phosphate transporter 機能低下による好中球減少症治療への応用の可能性についての検討

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 29 日 (静岡) ; 29P-0973.

堀 英生, 永味 千枝, 菊池 千草, 竹内 正義, 松永 民秀

1 型および 2 型糖尿病モデルラットの大腿動脈における酸化ストレスの亢進とその機序の解明

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 29 日 (静岡) ; 29P-0987.

青沼 安希子, 鈴木 英二, 中村 克徳, 松永 民秀, 大森 栄

正常ヒト胎児肝細胞の CYP3A 発現に及ぼす擬似低酸素誘導化合物デフェロキサミンの影響

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡) ; 30P-0377.

近藤 祐樹, 鎌田 昇, 坂本 栄, 松永 民秀, 大森 栄

ヒト人工多能性幹細胞の肝細胞への分化と薬物代謝酵素の発現解析

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡) ; 30P-0381 .

星山 望, 中村 克徳, 松永 民秀, 大森 栄

大型類人猿の肝薬物代謝酵素の特性について

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 30 日 (静岡) ; 30P-0384.

林 高弘, 尾関 克明, 福浦 久美子, 亀井 浩行, 江崎 幸治, 山村 恵子, 中尾 誠, 松永 民秀, 矢野 裕章

藤田保健衛生大学病院における実務実習への取り組み ―大学教員と指導薬剤師の共同指導による多大学合同発表会の教育効果について―

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 31 日 (静岡) ; 31P-0798.

前田 徹, 飯塚 成志, 浅井 清文, 福留 元美, 小黒 智恵子, 明石 恵子, 土肥 靖明, 早野 順一郎, 木村 和哲, 鈴木 匡

患者心理の理解とチーム医療のさらなる理解を目的とした学生の体験入院の試み

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 31 日 (静岡) ; 31P-0771.

藤井 聡, 鈴木 匡, 水野 裕之, 金 兌

薬剤師生涯教育への症候論の導入によるセルフメディケーションへの教育効果



日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 31 日 (静岡) ; 31P-0897.

鈴木 匡, 岡田 浩美, 土屋 照雄, 賀川 義之, 木村 和哲, 杉山 正, 並木 徳之, 平嶋 尚英, 中村 光浩, 小菅 和仁, 前田 徹, 林 秀樹, 野口 博司, 小野 秀樹, 藤井 聡

三公立連携薬剤師生涯学習支援講座 : 3 年間の活動とその評価

日本薬学会第 131 年会. 2011 年 3 月 31 日 (静岡) ; 31P-0899.

花房弘之, 埴岡伸光, 松永民秀, 成松鎮雄

ヒト iPS 細胞由来分化肝細胞様細胞における CYP 及び UGT mRNA 発現解析

第 52 回 (平成 23 年度) 日本生化学会中国・四国支部例会・シンポジウム. 2011 年 5 月 14 日 (広島) ; 2B-15

菊池千草, 加藤真梨, 今枝憲郎, 岡山直司, 鈴木 匡, 松永民秀

糖尿病患者に対する服薬指導教育プログラムの作成と評価

第 54 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011 年 5 月 21 日 (札幌) ; II-21-22.

松永民秀, 近藤祐樹, 岩尾岳洋, 大森 栄

ヒト iPS 細胞の肝細胞様細胞への分化と薬物代謝酵素の発現

日本法中毒学会第 30 年会. 2011 年 6 月 11 日 (長崎) ; O-15.

菊池千草, 堀 英生, 永味千枝, 梶栗潤子, 伊藤猛雄, 松永民秀

PKC  $\delta$  の糖尿病大血管障害への関与とプラバスタチンの慢性投与効果の検討

第 119 回日本薬理学会近畿部会. 2011 年 7 月 8 日 (名古屋) ; C-21.

森本真宗, 松永民秀, 鈴木 匡

長期実務実習を有意義にするために

第 57 回日本薬学会東海支部総会・大会 学生フォーラム, 2011 年 7 月 9 日 (名古屋) ; I1630

近藤祐樹, 岩尾岳洋, 三森佳代, 吉橋幸美, 大森 栄, 松永民秀

ヒト人工多能性幹細胞からの肝細胞への効率的な分化方法の検討

第 57 回日本薬学会東海支部総会・大会. 2011 年 7 月 9 日 (名古屋) ; C1730.

堀 英生, 永味千枝, 菊池千草, 竹内正義, 松永民秀

糖尿病モデルラットの大腿動脈におけるスーパーオキシド産生増加機序の解明

第 57 回 (平成 23 年度) 日本薬学会東海支部総会・大会. 2011 年 7 月 9 日 (名古屋) ; G1540.

加藤真梨, 菊池千草, 堀 英生, 加藤岳史, 今枝憲郎, 岡山直司, 松永民秀

2 型糖尿病患者の糖代謝にプラバスタチンが与える影響とアディポネクチンの関連性

第 57 回 (平成 23 年度) 日本薬学会東海支部総会・大会. 2011 年 7 月 9 日 (名古屋) ; H1640.

佐藤大介, 張本伸彦, 前田 徹, 松永民秀

ヒト組織由来 iPS 細胞の樹立とその機能評価

第 57 回日本薬学会東海支部総会・大会. 2011 年 7 月 9 日 (名古屋) ; H1650

松永民秀【依頼講演】【オーガナイザー】

ヒト ES 及び iPS 細胞の肝細胞への分化と薬物動態試験への応用

第 15 回薬物動態談話会セミナー, 2011 年 8 月 25 日 (大阪) ; セッション 1

堀 英生, 永味千枝, 菊池千草, 竹内正義, 松永民秀

糖尿病モデルラットの大腿動脈におけるスーパーオキシド産生増加機序及びプラバスタチンの慢性投与効果の検討

第 21 回日本医療薬学会年会. 2011 年 10 月 1 日 (神戸) ; 12-14:06.

菊池千草, 永味千枝, 坂 明展, 渡邊幹哉, 鐵野敦司, 松永民秀, 鈴木 匡

薬剤師によるペン型インスリン注入器用注射針 3 種類の比較

第 21 回日本医療薬学会年会. 2011 年 10 月 2 日 (神戸) ; 3-14:12.

前田 徹, 飯塚成志, 浅井清文, 福留元美, 小黒智恵子, 明石恵子, 早野順一郎, 木村和哲, 鈴木 匡

患者心理の理解と患者ストレスの評価を目的とした学生の体験入院の試み

第 21 回日本医療薬学会年会. 2011 年 10 月 2 日 (神戸) ; 1256.

鈴木 匡, 林 弥穂, 坂 明展, 高尾 雅春

保険薬局における後発医薬品情報提供を支援する新しい研修システムの開発とその効果

第 21 回日本医療薬学会年会. 2011 年 10 月 2 日 (神戸) ; 1252.

鈴木 匡 (シンポジスト)

薬剤師に求められるサイエンスをベースにした生涯研鑽 (シンポジウム 25)

日本薬学会支部および地域の取組紹介

第 21 回日本医療薬学会年会. 2011 年 10 月 2 日 (神戸) ; シンポジウム 25.

林 高弘, 久保みさき, 尾関克明, 福浦久美子, 亀井浩行, 江崎幸治, 山村恵子, 梅村雅之, 中尾 誠, 網岡克雄, 松永民秀, 鈴木 匡, 矢野裕章

藤田保健衛生大学病院における実務実習への取り組み (第 2 報) - 大学教員と指導薬剤師との連携の必要性について -

第 21 回日本医療薬学会年会, 神戸, 2011 年 10 月 2 日. (神戸) ; 1182.

Watanabe Y, Masuda T, Misumi S, Shimizu Y, Matsunaga T, Suzuki T, Hida H

Neuroprotective effect of pleiotrophin on dopaminergic neurons: analysis from receptor expressions.

Neuroscience 2011, Washington DC, USA, 2011 年 11 月 12~16 日.

佐藤大介, 張本伸彦, 松村治穂, 黒瀬光一, 松永民秀

ヒト iPS 細胞の分化指向性と分化機能評価

日本薬物動態学会第 26 回年会. 2011 年 11 月 16 日 (広島) ; 1-P2-08.

佐々木崇光, 田中 大, 高橋昌悟, 熊谷 健, 坂口 修平, 松永民秀, 永田 清

HepG2 細胞及び iPS 細胞由来肝分化細胞における HNF-6 の CYP3A4 発現誘導

日本薬物動態学会第 26 回年会. 2011 年 11 月 16 (広島) ; 1-P2-05.

花房弘之, 松永民秀, 黒瀬光一, 斎藤嘉朗, 埴岡伸光, 成松鎮雄

ヒト人工多能性幹細胞由来肝細胞様細胞における CYP 及び UGT mRNA 解析

日本薬物動態学会第26回年会. 2011年11月16日(広島); 1-P2-06.

岩尾岳洋, 永田 清, 松永民秀

ヒト iPS 細胞から小腸上皮細胞への分化

日本薬物動態学会第26回年会. 2011年11月16日(広島); 1-P2-07.

近藤祐樹, 岩尾岳洋, 斎藤昌良, 丹羽卓朗, 黒瀬光一, 永田 清, 松永民秀

ヒト人工多能性幹細胞の肝細胞への分化に与えるクエルセチンの効果

日本薬物動態学会第26回年会. 2011年11月16日(広島); 1-P2-09.

張本伸彦, 佐藤大介, 松村治穂, 松永民秀

内胚葉及び中胚葉を介したヒト人工多能性幹細胞から肝細胞への分化誘導

第21回日本病院薬剤師会東海ブロック学術大会・平成23年度日本薬学会東海支部例会, 2011年11月23日(名古屋); K-A09.

青山智佳臣, 小原博一, 川本鈴子, 菊池千草, 椿井信仁, 新美德洋, 原 和子, 福井恵子, 宮島 永, 山田和正, 中村一仁, 廣瀬君江, 勝見章男

勤務薬剤師からの要望と愛知県薬剤師会の活動についての比較

第44回東海薬剤師学術大会. 2011年11月27日(四日市); P103.

山田和正, 新美德洋, 青山智佳臣, 川本鈴子, 小原博一, 菊池千草, 椿井信仁, 原 和子, 福井恵子, 宮島 永, 中村一仁, 廣瀬君江, 勝見章男

アンケート方式による勤務薬剤師 意識調査②

第44回東海薬剤師学術大会. 2011年11月27日(四日市); P104.

近藤祐樹, 三森佳代, 吉橋幸美, 杉山留理, 岩尾岳洋, 黒瀬光一, 松永民秀

ヒト人工多能性幹細胞から肝細胞への分化に対する低分子化合物の効果

第34回日本分子生物学会年会. 2011年12月13日(横浜); 1P-0198.

佐藤大介, 張本伸彦, 松村治穂, 松永民秀

Examination of simple prediction system of the differentiation characteristics into hepatocyte between human induced pluripotent stem cell lines.

第34回日本分子生物学会年会, 2011年12月13日(横浜); 1P-0032.

## 5 科学研究費等補助金

平成23年度

(代表)					
所属分野名	補職名	氏名	研究種目	研究課題名	金額 (千円)
生命分子構造学	准教授	佐藤 匡史	特定領域	糖鎖が関わる小胞体関連分解の構造生物学的研究	3,200
遺伝情報学	教授	星野 真一	新学術領域	mRNA3'末端プロセッシングを標的とした遺伝子発現調節・RNA品質管理機構の解明	11,000
薬化学	准教授	中川 秀彦	新学術領域	活性酸素シグナル解明のための光制御ピンポイントNO類ドナー	2,600
病態生化学	教授	服部 光治	新学術領域	大脳新皮質層構造の形成と維持におけるリーリン機能の解明	4,100
細胞分子薬効解析学	教授	今泉 祐治	新学術領域	再構築系による平滑筋組織ペースメーカーモデル細胞の作製とシミュレーション	3,200
生命分子構造学	准教授	佐藤 匡史	新学術領域	G P 1 アンカー型タンパク質の輸送シグナルの提示と検知の構造生物学	1,800
精密有機反応学	教授	樋口 恒彦	基盤 (A)	化学進化的合成化学による医薬機能分子の汎用性ある効率的創製	4,500
薬化学	教授	宮田 直樹	基盤 (B)	エピジェネティックに遺伝子発現を制御する医薬品候補化合物の創製	2,600
遺伝情報学	教授	星野 真一	基盤 (B)	e R F 3 ファミリーG蛋白質によるmRNA品質管理機構の解明	3,500
分子生物薬学	教授	今川 正良	基盤 (B)	脂肪細胞分化のひきがねとして機能する因子群のシグナル伝達関連の機構解明	3,400
病態生化学	教授	服部 光治	基盤 (B)	脳における神経細胞層構造の、「形成」と「維持」を制御する分子メカニズム	4,100
臨床薬学	教授	松永 民秀	基盤 (B)	胚盤胞補完法による100%サル肝臓を持つラット-サル異種動物間キメラの作出	7,400
細胞分子薬効解析学	教授	今泉 祐治	基盤 (B)	新規創薬標的としての細胞内カルシウム正帰還制御機構と関連イオンチャネル分子群	6,600
医薬品代謝解析学	教授	林 秀敏	基盤 (C)	メタボリックシンドロームにおけるストレスとサイトカインシグナルのクロストーク	1,000
細胞分子薬効解析学	准教授	大矢 進	基盤 (C)	新規カルシウム活性化カリウムチャネル機能不全体発現調節と関連疾患での役割	1,000
生薬学	客員教授	小野 孝彦	基盤 (C)	慢性腎臓病における全身血管障害と保護薬物の探索	900
生体超分子システム解析学	准教授	田中 正彦	基盤 (C)	小脳プルキンエ細胞が複雑かつ秩序立った形態の樹状突起を形成する分子機構の解析	1,000
薬品合成化学	准教授	近藤 和弘	基盤 (C)	枯渇危惧なレアメタルを用いない、高クラーク数元素を用いる触媒的合成反応の開発	900
生薬学	教授	水上 元	基盤 (C)	植物糖転移酵素を利用した機能性化合物の糖鎖構築と消化管吸収性の改善	1,000
薬物送達学	教授	尾関 哲也	基盤 (C)	悪性脳腫瘍および結核治療のための新規ナノ粒子製剤の設計	1,000

(代表)					
------	--	--	--	--	--

所属分野名	補職名	氏 名	研究種目	研 究 課 題 名	金額 (千円)
薬化学	准教授	中川 秀彦	基盤 (C)	新規TEMPO誘導体をMRI造影剤とするオルガネラ酸化ストレスイメージング	1,000
生体防御機能学	准教授	瀧井 猛将	基盤 (C)	結核菌生菌特異的な宿主細胞傷害活性におけるインターロキン1産生誘導機構の解析	1,100
病態解析学	教授	藤井 聡	基盤 (C)	新規S1P供与体を用いた初期動脈硬化病変の先駆的治療法の開発	1,100
薬品合成化学	教授	中村 精一	基盤 (C)	抗腫瘍性サポニン類の完全化学合成と生物活性評価	1,700
生体超分子システム解析学	教授	平嶋 尚英	基盤 (C)	開口放出部位を模した脂質平面膜法を用いた分泌小胞局在CaチャンネルOrai2の解析	2,000
分子生物薬学	准教授	長田 茂宏	基盤 (C)	発がん初期に発現上昇するクロマチン関連因子の細胞がん化・防御に与える影響	1,400
臨床薬学	講師	菊池 千草	基盤 (C)	持続高血糖と食後高血糖による糖尿病血管障害発症樹序の解明と治療法の開発	2,700
医薬品安全性評価学	教授	頭金 正博	基盤 (C)	レセプト等の大規模医療情報を用いた医薬品による副作用の検出方法に関する研究	1,700
薬化学	講師	鈴木 孝禎	挑戦的萌芽研究	C-H・・・O相互作用の基礎と医薬化学への応用	1,600
遺伝情報学	教授	星野 真一	挑戦的萌芽研究	酵母を利用したアミロイドーシス治療薬のハイスクリーンシステムスクリーニング系の開発	1,700
細胞分子薬効解析学	教授	今泉 祐治	挑戦的萌芽研究	1発の活動電位発生により細胞死に至る細胞の作製と新規創薬スクリーニング系の開発	1,800
精密有機反応学	教授	樋口 恒彦	挑戦的萌芽研究	カテナン・ロタキサン構造の導入による生理活性分子の活性制御新手法	1,300
薬物動態制御学	教授	湯浅 博昭	挑戦的萌芽研究	樹状細胞に高発現する小胞体膜局在性トランスポーターの機能と免疫系における役割	1,500
病態解析学	助教	岩城 壮一郎	若手 (B)	動脈硬化発症の初期病変を効率的に評価可能なバイオマーカーの探索	900
生薬学	助教	寺坂 和祥	若手 (B)	植物の二次代謝産物配糖体生成に関わる糖鎖伸長酵素の分子基盤の解明	1,600
コロイド・高分子物性学	助教	豊玉 彰子	若手 (B)	荷電コロイド系の結晶核生成および成長過程のその場・実時間観察	1,000
遺伝情報学	講師	細田 直	若手 (B)	翻訳停止を感知しmRNA分解経路を規定する分子基盤	1,600
精密有機反応学	助教	加藤 信樹	若手 (B)	新規カスケード反応を基盤とする複雑な分子構造を持つ天然物の全合成研究	1,400
生命分子構造学	助教	矢木 宏和	若手 (B)	これまで植物糖として考えられてきたキシロース含有糖鎖の神経系における機能の解明	1,200
生体防御機能学	講師	伊藤 佐生智	若手 (B)	創薬に指向した黄色ブドウ球菌免疫かく乱タンパク質ファミリーSSLの機能解析	900
医薬品代謝解析学	助教	伊藤 友香	若手 (B)	TGFβによる脂肪滴蓄積能の変化と治療薬開発に向けた新規制御因子の同定	1,300
分子生物薬学	講師	西塚 誠	若手 (B)	脂肪細胞分化を促進するfad104の肺形成における機能の解析	1,400
薬物動態制御学	准教授	井上 勝央	若手 (B)	外因性の尿酸前駆体物質及び尿酸に対するヒト特異的な生体防御機構の解明	1,300
医薬品代謝解析学	講師	井上 靖道	若手 (B)	革新的インビボイメージングを駆使した癌の浸潤・転移における変異型p53の機能解析	1,400
(代表)					

所属分野名	補職名	氏名	研究種目	研究課題名	金額 (千円)
生体超分子 システム解析学	助教	田所 哲	若手 (B)	細胞サイズのプロテオリポソームを用いた人工分泌 細胞の刺激-分泌連関	1,900
細胞分子薬効 解析学	講師	山村 寿男	若手 (B)	血管平滑筋のカルシウムマイクロドメインを安定化 させる新規足場構造の同定	2,100
中枢神経機能 薬理学	准教授	大澤 匡弘	若手 (B)	グリア細胞の遠隔活性化に着目した慢性疼痛発現メ カニズムの解明とその治療法の確立	2,200
生薬学	准教授	牧野 利明	若手 (B)	甘草による偽アルドステロン症発症メカニズムの解 明とその予防のための検査方法の開発	2,200
病態生化学	助教	河野 孝夫	研究スタート	脳形成に必須な分泌蛋白質リーリンの、特異的分解に よる機能制御機構の解明	1,160
薬物送達学	特任講 師	田上 辰秋	研究スタート	高機能性温熱感受性リポソームによる薬剤耐性癌に 対する新規治療戦略	1,300

平成23年度 厚労科研費

研究種目	所属分野名	研究者	補職名	分担金配分額(千円)	課題名
食品の安心・安全確保推進研究事業	臨床薬学	松永 民秀	教授	2,000	いわゆる「健康食品」と医薬品との併用に関わる安全性評価に関する研究
食品の安心・安全確保推進研究事業	医薬品安全性評価学	頭金 正博	教授	2,000	いわゆる「健康食品」と医薬品との併用に関わる安全性評価に関する研究
地球規模保健課題推進研究事業 (国際医学協力研究事業)	生体防御機能学	瀧井 猛将	准教授	350	国際共同基盤研究に応用する抗酸菌感染症研究の整備
食品の安心・安全確保推進研究事業	生薬学	水上 元	教授	1,500	既存添加物の有効性と品質を確保するための規格試験法の開発
地球規模保健課題推進研究事業	医薬品安全性評価学	頭金 正博	教授	5,000	医薬品の国際共同開発及び臨床データ共有の推進に向けた東アジアにおける民族的要因に関する研究
地球規模保健課題推進研究事業	医薬品安全性評価学	頭金 正博	教授	研究費配分なし	医療機器の国際的な情報交換のための基礎整備に関する研究
化学物質リスク研究事業	細胞分子薬効解析学	今泉 祐治	教授	2,800	カーボンナノマテリアルによる肺障害と発がん作用の中期評価法とその作用の分子機序解析法の開発に関する研究
創薬基盤推進研究事業	生薬学	牧野 利明	准教授	3,000	漢方薬の作用機序を解明するための研究
創薬基盤推進研究事業	生薬学	牧野 利明	准教授	500	漢方薬に使用される薬用植物の総合情報データベース構築のための基盤整備に関する研究
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	医薬品安全性評価学	頭金 正博	教授	950	医薬品等の市販後安全対策のための医療情報データベースを活用した薬学疫学的手法の確立及び実証に関する研究
政策創薬総合研究事業	臨床薬学	松永 民秀	教授	3,000	医薬品開発のための副作用予測法・評価法の開発
政策創薬総合研究事業	臨床薬学	松永 民秀	教授	2,000	創薬研究における人由来初代細胞および幹細胞の利用円滑化に向けた研究
政策創薬総合研究事業	生薬学	水上 元	教授	1,000	天然物医薬品の評価手法と標準化に関する研究
政策創薬総合研究事業	生体防御機能学	瀧井 猛将	准教授	2,000	新興・再興感染症を標的としたプライムブーストワクチンの開発と有効性・安全性評価システムの構築



## 「その他の研究補助金」

科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 さきがけ（平成23年度）

研究課題名 二光子励起で発生させるガス状細胞情報伝達分子を駆使したストレス計測（代表）

氏名 中川 秀彦

金額（千円） 10,880

武田科学振興財団

研究課題名

氏名 梅澤 直樹

金額（千円） 3,000

特別研究奨励費（学長奨励）

研究課題名 「環状化」を鍵とするペプチド機能の光制御法

氏名 梅澤 直樹

金額（千円） 600

平成23年度研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）探索タイプ，独立行政法人科学技術振興機構

研究課題名 可視光励起可能な発蛍光型タンパク質標識プローブの開発（代表）

氏名 梅澤 直樹

金額（千円） 1,700

平成22年度（第43回）倉田奨励金

研究課題名 スピロイミン構造をもつ生物活性天然物の全合成研究（代表）

氏名 中村 精一

金額（千円） 1,050

長瀬科学技術振興財団 平成23年度研究助成金

研究課題名 アザスピロ環を特徴とする海洋毒の全合成研究（代表）

氏名 中村 精一

金額（千円） 2,500

公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金

研究課題名 開口放出過程をターゲットとしたナノ粒子を用いたプロセス標的薬の開発（代表）

氏名 平嶋 尚英

金額（千円） 1,100

平成23年度名古屋市立大学特別研究奨励費

研究課題名 単一細胞エレクトロポレーションを用いたRNA干渉法を応用した、神経樹状突起形成異常治療薬の標的遺伝子探索（代表）

氏名 田中 正彦

金額（千円） 600

JST 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP

フィージビリティスタディステージ 探索タイプ

研究課題名 イオン性界面活性剤を用いた温度誘起コロイド結晶化による光学材料の創成

氏名 山中 淳平

金額（千円） 764

平成23年度名古屋市立大学特別研究奨励費

研究課題名 荷電コロイド系における一方向結晶成長の物理的メカニズムの解明

氏名 奥菌 透

金額（千円） 600

文部科学省ターゲットタンパク研究プログラム

研究課題 巨大で複雑なタンパク分解装置の動態と作動機構（分担）

プロテアソームを舞台とするタンパク間相互作用ネットワークのNMR解析

氏名 加藤 晃一

金額（千円） 6,384

保健医療分野における基礎研究推進事業研究プロジェクト

研究課題 抗体医薬品等のバイオ医薬品の合理的開発のための医薬品開発支援技術確立を目指した研究（分担）

担当課題 NMRを利用した抗体の高次構造解析

氏名 加藤 晃一

金額（千円） 10,625

（財）薬学研究奨励財団 第31回（平成22年度）研究助成金

研究題目 Fad104による骨細胞ならびに脂肪細胞への分化運命決定機構の解明

氏名 西塚 誠

金額（千円） 1,000

持田記念医学薬学振興財団

委託研究事業名 高機能性温熱感受性リポソームによる腫瘍新生血管・薬物耐性癌を標的とした薬物送達システムの基礎研究（代表）

氏名 田上 辰秋

金額（千円） 3,000

先進医薬研究振興財団

委託研究事業名 マラリアに対するNanoTheraNosricsを目指した新規ナノ粒子の開発（代表）

氏名 田上 辰秋

金額（千円） 1,000

財団法人旗影会 平成23年度 研究助成

研究課題名 配糖化による機能性食品素材の消化管吸収の改善

氏名 牧野 利明

金額（千円） 1,000

平成 23 年度 和漢医薬学総合研究所公募型共同研究

研究課題名 漢方薬と西洋薬の有機アニオントランスポーターを介する薬物相互作用  
に関する研究

氏名 牧野 利明

金額（千円） 800

国立国際医療センター国際医療研究開発事業

研究課題 「結核菌によって宿主細胞より誘導される抗結核菌活性因子の探索と同定」  
（分担）

氏名 瀧井 猛将

金額（千円） 2,000

厚生労働科学研究費補助金政策創薬総合研究事業

分担課題 「BCG ワクチン亜株間の獲得免疫誘導能の差異に関する研究」

氏名 瀧井 猛将

金額（千円） 2,800

大山健康財団

黄色ブドウ球菌免疫回避タンパク質 SSL の機能解析および毒力評価, 創薬への応用

氏名 伊藤 佐生智

金額（千円） 1,000

独立行政法人 科学技術振興機構

研究課題名 イオンチャネル標的創薬のための新規スクリーニング系実用化

氏名 今泉 祐治

金額（千円） 5,476

有限会社 チャネロサーチテクノロジー

研究課題名 スギ生物科学研究所との連携に基づく創薬スクリーニング技術開発と技  
術移転

氏名 今泉 祐治

金額（千円） 1,035

公益財団法人 武田科学振興財団

研究課題名 カルシウム活性化カリウムチャネルの新規発現調節機構と創薬への応用

氏名 大矢 進

金額（千円） 3,000

公益財団法人 鈴木謙三記念医科学応用研究財団

研究課題名 炎症性疾患における T リンパ球カリウムチャネル活性・発現調節

氏名 大矢 進

金額（千円） 1,000

医科学応用財団研究助成金

巨大分泌タンパク質リーリンの機能低下による、神経疾患発症機構（代表）

氏名 服部 光治

金額（千円） 2,000

平成 23 年度名古屋市立大学特別研究奨励費

研究課題名 薬学国際交流の推進（代表）

氏名 湯浅博昭

金額（千円） 500

平成 23 年度名古屋市立大学特別研究奨励費

研究課題名 MATE1 及び 2-K の転写調節因子の同定

氏名 太田欣哉

金額（千円） 600

平成 22 年度（第 23 回）中富健康科学振興財団研究助成金

研究課題名 新規核酸塩基トランスポーターの機能解析とがん組織を指向した薬物送達への  
応用（代表）

氏名 井上勝央

金額（千円） 1,000

財団法人アサヒビール学術振興財団第 26 回（2011 年度）研究助成

研究課題名 水溶性ビタミンの吸収を効率化する機能的食品成分に関する研究（代表）

氏名 井上勝央

金額（千円） 700

社団法人全日本コーヒー協会平成 23 年度研究助成

研究課題名 網羅的な膜タンパク質発現系を用いたコーヒー由来ポリフェノール化合物の吸  
収における分子機構の解明（代表）

氏名 井上勝央

金額（千円） 1,500

財団法人エリザベス・アーノルド富士財団平成 23 年度学術研究助成金

研究課題名 パン素材の摂取による水溶性ビタミン吸収の促進効果とその機能的食品成分の  
探索（代表）

氏名 井上勝央

金額（千円） 700

平成 23 年度研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）探索タイプ，独立行政法人科学技術  
振興機構

研究課題名 次世代型創薬スクリーニングに対応可能な薬物間相互作用予測のためのバイオ  
センシングデバイスの創製と最適化（代表）

氏名 井上勝央

金額（千円） 1,700

財団法人横山臨床薬理研究助成基金平成 23 年度研究助成

研究課題名 ホルモン感受性乳がんにおけるエストロゲン供給経路の分子基盤とその阻害に  
基づく治療戦略（代表）

氏名 井上勝央

金額（千円） 1,000

平成 23 年度日本食品化学研究振興財団研究助成

研究課題名 アントシアニン色素の消化管吸収に関わるトランスポーター分子の同定

氏名 井上勝央

金額（千円） 900

財団法人食生活研究会平成 23 年度研究助成

研究課題名 腸管における栄養素・ビタミンの吸収効率を最適化する食品成分の探索

氏名 井上勝央

金額（千円） 1,000

平成 23 年度長寿医療研究開発費 NCGG 方式の統合的な高齢者褥瘡、皮膚潰瘍に関する学問体系の発展とそれらを基盤としたチーム医療体制の提唱

氏名 藤井 聡

金額（千円） 1,500

財団法人一般用医薬品セルフメディケーション振興財団 調査研究助成 平成 23 年  
既卒薬剤師リカレント教育への症候論の導入によるセルフメディケーションの向上

氏名 藤井 聡

金額（千円） 600

財団法人 東洋医学研究財団 研究・調査助成 平成 23 年

メタボリックシンドロームの血栓傾向に対するクルクミンの効果の検討

氏名 藤井 聡

金額（千円） 300

東邦薬品 平成 23 年度

薬剤師のフィジカルアセスメントの能力向上に関する教育手法の開発

氏名 藤井 聡

金額（千円） 1,000

平成 23 年度 独立行政法人科学技術振興機構 A-STEP

研究課題名 原がん遺伝子産物 Ski を標的とした新規分子標的薬の創製（代表）

氏名 井上 靖道

金額（千円） 1,700

平成 23 年度 興和生命科学振興財団 研究助成

研究課題名 原がん遺伝子産物 Ski を標的とした新規がん治療戦略（代表）

氏名 井上 靖道

金額（千円） 1,000

平成 23 年度 薬学研究奨励財団 研究助成金

研究課題名 TRB3 によるがん抑制遺伝子 p53 機能制御と発がん機構の解明（代表）

氏名 井上 靖道

金額（千円） 1,000

平成 23 年度 日本リウマチ財団 リウマチ性疾患調査研究・助成

研究課題名 関節リウマチ関連タンパク質 PADI4 による TGF- $\beta$ シグナル伝達能制御機構の解

析（代表）

氏名 井上 靖道

金額（千円） 1,000

平成 23 年度 がん若手共同研究支援

研究課題名 白血病発症における Trib ファミリータンパク質と TGF $\beta$ /Smad シグナル経路の相互作用の検討（分担、（代表：横山 隆志））

氏名 伊藤 友香

金額（千円） 288（総額 800）

第 13 回（2011 年度） 財団法人薬理研究会研究助成

研究課題名 シナプス伝達効率亢進による慢性疼痛発症のメカニズム解明と創薬への応用（代表）

氏名 大澤 匡弘

金額（千円） 1,000

平成 23 年度（第 34 回） 財団法人東洋医学研究財団研究・調査助成

研究課題名 オキサリプラチンによる末梢神経障害に対する漢方薬の作用機序に関する研究（代表）

氏名 大澤 匡弘

金額（千円） 300

平成 23 年度 公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団調査研究助成

研究課題名 アストロサイトのエネルギー調節を標的とした中枢性血糖調節機構の解明と創薬への応用（代表）

氏名 大澤 匡弘

金額（千円） 1,000

平成 22 年度名古屋市立大学特別研究奨励費

研究課題名 刺激後に持続する痛覚過敏症状に着目した神経因性疼痛機構の薬理学的研究（代表）

氏名 山本 昇平

金額（千円） 600

平成 23 年度 名古屋市立大学特別研究奨励費（指定分）「医・薬・看の連携研究の推進」

研究課題 名古屋市における多剤耐性菌拡大予防のための地域ニーズ発掘とその対策  
～地域の感染予防機能の向上をめざして～

氏名 木村 和哲

金額（千円） 100

平成 23 年度 名古屋市立大学特別研究奨励費

研究課題 タンデムマスを用いた先天性代謝疾患の診断と臨床応用  
-有機酸代謝異常症における酵素活性測定法の確立-

氏名 前田 康博

金額（千円） 600

平成 23 年度 名古屋市立大学特別研究奨励費（学内公募分） 新規

研究課題 ヒト iPS 細胞から成熟肝細胞および小腸上皮細胞への分化と探索動態試験への応用  
氏名 岩尾 岳洋  
金額 (千円) 600

平成 23 年度 名古屋市立大学特別研究奨励費 (学内公募分) 新規  
研究課題 糖原病 I b 型の患者から樹立した疾患特異的ヒト人工多能性幹細胞 (iPS 細胞) を用いた疾患モデル細胞の構築と有用性の評価  
氏名 前田 徹  
金額 (千円) 500

平成 21 年度文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマ A】大学推進プログラム医療系学部連携チームによる地域参加型学習 (薬学部担当者) 継続  
研究期間 H21~H23 年度  
氏名 鈴木 匡  
金額 (千円) 18,800

平成 23 年度文部科学省 専門的看護師・薬剤師等医療人養成事業チーム医療に貢献する薬局薬剤師の養成 (事務局長) 新規  
氏名 鈴木 匡  
金額 (千円) 6,560

## 6 学外との共同研究等



## 「学外との共同研究等」

### 共同研究

宮田 直樹、鈴木 孝禎  
「新規生理活性化合物の創製研究」  
(小野薬品工業株式会社)

宮田 直樹、鈴木 孝禎  
「新規HDAC阻害の創製」  
(理化学研究所)

山中 淳平  
「コロイド結晶の新規光学素子応用に関する研究」  
(富士化学株式会社)

加藤 晃一  
「ヒト IgG1 とヒト Fc $\gamma$ 受容体 IIIa との結合状態の構造解析」  
(協和発酵キリン株式会社 バイオ医薬研究所)

加藤 晃一、水島 恒裕、廣本 武史  
「ユビキチンプロテアソームシステムの構造生物学」  
(東京都臨床医学総合研究所)

加藤 晃一、栗本 英治  
「自己組織化ナノ内面の化学」  
(東京大学大学院工学系研究科)

水島 恒裕、矢木 宏和  
「920MHz 超高磁場NMR装置を用いたタンパク質・複合糖質の構造解析」  
(分子科学研究所分子スケールナノサイエンスセンター)

加藤 晃一、佐藤 匡史、矢木宏和  
「抗体医薬品の合理的開発のための医薬品開発支援技術の確立を目指した研究」  
(国立医薬品食品衛生研究所)

今川 正良、長田 茂宏、西塚 誠  
「脂肪細胞分化におけるイオンチャンネル遺伝子の機能解析」  
(独立行政法人 家畜改良センター)

尾関 哲也  
「ビタミンEの血管内皮に対する抗炎症作用の研究」  
(アイシン精機株式会社)

尾関 哲也  
「医薬品の品質特性にX線照射が与える影響調査」  
(アンリツ産機システム株式会社)

牧野利明、水上 元

「漢方エキスの薬効評価及び活性成分の探索」

(ロート製薬株式会社)

牧野利明、水上 元

大建中湯含有成分の体内動態に関する研究

(株式会社ツムラ)

牧野利明、水上 元

「附子の低温ストレス負荷マウスに対する拮抗作用に関するメタボロミクス解析研究」

(ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社)

今泉祐治、大矢 進

「前立腺肥大症の細胞増殖機構の解明」

(大鵬薬品工業株式会社, 名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野)

湯浅博昭、井上勝央

「トランスポーター関連分子の創薬標的としての評価」

(小野薬品工業株式会社)

藤井 聡

医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進のための薬剤師によるフィジカルアセスメント教育プログラムの開発

(東邦薬品)

木村和哲

「食品成分の経口投与が性機能に及ぼす影響に関する研究及ぼす影響に関する研究」

(協和発酵バイオ)

鈴木 匡

「薬剤師および薬学生教育研修用教材開発研究」

(株式会社スズケン)

## 連携研究

中川 秀彦

「二光子励起型 NO ドナー化合物による時間空間選択的な NO 投与法の開発」  
(自然科学研究機構生理学研究所)

中川 秀彦

「抗プリオン活性化化合物に関する研究」  
(広島大学大学院医歯薬学総合研究科、帝京大学薬学部、東北大学大学院医学系研究科、北海道大学大学院獣医学研究科、明治大学理学部)

中川 秀彦

「光制御型 NO 放出化合物に関する研究」  
(東邦大学理学部)

樋口 恒彦

「電場形成分子-色素複合体の Stark 分光学による電場評価」  
(橋本 秀樹 教授 大阪市立大学 大学院理学研究科)

樋口 恒彦

「車両等工業製品の合成 DNA による汎用性の高い標識化」  
(日産自動車 (株)、オペロンバイオテクノロジー (株))

樋口 恒彦、梅澤 直樹

「 $\gamma$ -セクレターゼ阻害剤と酵素機能探索分子の開発」  
(東京大学大学院薬学研究科)

樋口 恒彦

「シトクロム P450, NO 合成酵素モデル錯体の共鳴ラマン分光による解析」  
(石森 浩一郎 教授、北海道大学大学院理学研究院)

樋口 恒彦、梅澤 直樹

「新規キラルポリアミンの DNA 折りたたみに及ぼす影響」  
(京都大学大学院理学研究科、立命館大学生命科学部)

平嶋 尚英、田中 正彦

「メラノサイトからケラチノサイトへのメラノソーム移行の研究」  
(日本メナード化粧品株式会社)

田中 正彦

「小脳発達研究における GABA 作動性神経細胞可視化技術の応用」  
(群馬大学大学院医学系研究科)

田中 正彦

「小脳発達における myosin Va の役割の研究」  
(名古屋大学環境医学研究所)

加藤 晃一

「安定同位体利用NMR法による複合糖質の構造解析技術の開発」  
(理化学研究所ゲノム科学総合研究センター)

加藤 晃一、神谷 由紀子

「ペプチド：N-グリコナーゼの構造解析」  
(理化学研究所)

加藤 晃一、神谷 由紀子

「プロテインジスルフィドイソメラーゼの立体構造変化に関する研究」  
(慶応大学理工学部、九州大学生体防御医学研究所)

加藤 晃一、栗本 英治、神谷 由紀子、矢木 真穂

「コラーゲン特異的分子シャペロン Hsp47 および小胞体関連分解に関わる酵素・レクチンの構造・機能解析」  
(京都大学再生医科学研究所)

加藤 晃一、矢木 真穂

「アミロイドβペプチドとガングリオシド GM1 の相互作用解析」  
(国立長寿医療センター研究所)

加藤 晃一、矢木 宏和、水島 恒裕

「ユビキチンリガーゼ HOIL-1 の高次構造解析」  
(大阪市立大学大学院医学研究科)

加藤 晃一、矢木 宏和

「糖鎖-糖鎖相互作用にかかわるN型糖鎖の構造解析」  
(University of Washington)

加藤 晃一、山口 拓実

「NMRを利用したN型糖鎖の立体構造解析」  
(マックス・プランク生物物理化学研究所)

加藤 晃一、矢木 宏和

「中性子小角散乱測定によるタンパク質複合体の構造解析」  
(京都大学原子炉研究所)

加藤 晃一

「超遠心分析法を利用したタンパク質の相互作用解析」  
(大阪大学大学院工学研究科)

加藤 晃一、神谷 由紀子

「酵母を利用した糖鎖の安定同位体標識法の開発」  
(独立行政法人産業技術総合研究所)

加藤 晃一、矢木 宏和  
「神経幹細胞における糖鎖の機能解析」  
(Georgia Health Science University)

今川 正良  
「脂肪細胞分化の分子機構」  
(名古屋市立大学大学院医学研究科)

今川 正良  
「脂肪細胞分化の分子機構」  
(大阪大学微生物研究所附属遺伝情報実験センター)

今川 正良  
「脂肪細胞分化の分子機構」  
(東京大学大学院農学生命科学研究科)

今川 正良  
「脂肪細胞分化の分子機構と糖尿病治療薬の開発」  
(日水製薬株式会社)

長田 茂宏  
「肝化学発がん腫瘍マーカー陽性細胞における遺伝子発現変化の解析」  
(名古屋市立大学大学院医学研究科)

長田 茂宏  
「前立腺がんにおける HDAC 阻害剤の効果」  
(名古屋市立大学大学院医学研究科)

尾関 哲也  
「Cocrystal の製剤設計」  
(日本大学薬学部、薬剤学研究室)

尾関 哲也  
「リピデュアをベースとしたエマルションの製剤学的検討」  
(日油株式会社)

尾関 哲也  
「スプレードライヤーによるナノ粒子設計」  
(大川原化工機株式会社)

水上 元、牧野利明  
「漢方薬の副作用発現因子成分／バイオマーカーの探索と患者側リスク要因に関する基礎研究」  
(株式会社ツムラ)

牧野利明、水上 元  
「防風通聖散の作用機序解明に関する研究」  
(小林製薬株式会社)

小野寄菊夫  
「喫煙と関節リウマチに関する研究」  
(金沢大学大学院自然科学研究科, キッセイ薬品工業)

小野寄菊夫  
「IL-1 の大量調製に関する研究」  
(鹿児島大学農学部)

瀧井猛将  
「加齢における BCG 接種の有効性に関する研究」  
(国立長寿医療センター研究所、日本 B C G 研究所)

瀧井猛将  
「*Mycobacterium avium* 亜種に関する研究」  
(名古屋大学医学部附属病院、国立病院機構名古屋病院、名城大学薬学部、宮崎大学農学部、大阪市立大学医学部、結核予防会結核研究所)

伊藤 佐生智  
「黄色ブドウ球菌の免疫回避に関する研究」  
(星薬科大学)

星野 真一  
「RNA 代謝機構の物理化学的解析」  
(東京大学大学院薬学系研究科)

星野 真一  
「翻訳終結因子とアポトーシス制御に関する研究」  
(Thomas Jefferson University)

星野 真一  
「翻訳終結因子 eRF3 による翻訳制御機構の研究」  
(東京大学大学院薬学系研究科)

星野 真一  
「ポリ(A)鎖分解酵素の構造生物学的解析」  
(東京大学大学院薬学系研究科)

星野 真一  
「Psi+プリオンの生物学的意義の解明」  
(Georgia Tech)

今泉 祐治

「心血管系におけるイオンチャネルに関する分子薬理学的研究」  
(カナダ・カルガリー大学運動生理学部 Wayne R. Giles 教授)

今泉 祐治

「リアノジン受容体に関する分子薬理学的研究」  
(カナダ・カルガリー大学医学部 Wayne Chen 教授)

今泉 祐治

「リアノジン受容体に関するトランスポートソーム研究」  
(京都大学大学院薬学研究科 竹島 浩教授)

今泉 祐治

「血液-脳関門のイオンチャネルに関する分子薬理学的研究」  
(名古屋市立大学大学院医学研究科 浅井 清文教授)

今泉 祐治

「Na<sup>+</sup>-Ca<sup>2+</sup>交換輸送体に関する分子薬理学的研究」  
(福岡大学医学部 岩本 隆宏教授)

服部 光治

「脳の層構造形成を司る巨大分泌タンパク質リーリンのトラフィックに関する研究」  
(東京大学薬学部)

服部 光治

「脳の層構造形成を司る巨大分泌タンパク質リーリンの構造に関する研究」  
(大阪大学蛋白質研究所)

服部 光治

「脳の層構造形成に関する研究」  
(慶應義塾大学医学部)

服部 光治

「小脳におけるリーリン受容体の発現と、その制御に関する研究」  
(名古屋大学医学部)

服部 光治

「リーリンの細胞内情報伝達に関する研究」  
(理化学研究所脳総合研究センター)

服部 光治

「脳の層構造に関する分子メカニズムの研究」  
(理化学研究所脳発生再生研究センター)

服部 光治

「リーリンの分解に関する研究」  
(国立生理学研究所)

服部 光治

「小脳プルキンエ細胞の樹状突起形成に関するメカニズムの研究」  
(早稲田大学先進理工学部)

藤井 聡、岩城 壮一郎

「TMSによる虚血再還流障害抑制機構の解析」  
(北海道大学、国立感染症研究所)

藤井 聡、岩城 壮一郎

「インフルエンザウイルスの感染に関わる細胞表面糖鎖の解析」  
(中部大学)

藤井 聡、岩城 壮一郎

「低酸素環境における癌細胞の生存機序と脂質代謝」  
(名古屋大学)

藤井 聡、岩城 壮一郎

「中国人冠動脈疾患におけるバイオマーカーと脂質代謝の関係」  
(中国瀋陽市 奉天医院)

藤井 聡、岩城 壮一郎

スフィンゴ脂質による線溶系抑制因子の発現制御機序の解析」  
(米国 バーモント大学)

林 秀敏

「性ホルモンと関節リウマチに関する研究」  
(北里大学医学部, 北海道大学大学院薬学研究科, 聖マリアンナ医科大学, 愛知学院大学薬学部, キッセイ薬品)

林 秀敏

「ストレスと疾患」  
(北海道大学大学院薬学研究科, 山口大学大学院医学研究科, 富山大学, 東京大学大学院農学生命科学研究科, 北海道大学大学院農学生命科学研究科, 国立長寿医療センター研究所)

林 秀敏

「TGF $\beta$ のシグナル伝達機構の解析」  
(癌研究会癌研究所, 筑波大学, 浜松医科大学)

大澤 匡弘

「臨床と基礎の橋渡しのための研究」  
(国立がん研究センター)

頭金 正博

「医療情報データベースを活用した薬剤疫学的手法の確立及び実証に関する研究」  
(国立医薬品食品衛生研究所、浜松医科大学)

頭金 正博

「いわゆる「健康食品と医薬品との併用に関わる安全性評価に関する研究」  
(信州大学、東北薬科大学)



頭金 正博

「東アジアでの臨床データにおける民族的要因に関する研究」  
(東邦大学、日本大学、国立医薬品食品衛生研究所)

鈴木 匡

「チューリップ・エルシーエス地域連携チーム ー薬局薬剤師と福祉職連携による新しい在宅療養管理指導の試みー」  
(平成23年度 厚生労働省医政局チーム医療実証事業)

松永民秀

「ヒト胎児肝細胞における CYP3A 分子種の発現変動要因の解明」  
(信州大学医学部附属病院薬剤部)

松永民秀

「ヒト iPS 細胞を利用したビタミン K サイクルを標的とする発がん予防機構の研究」  
(信州大学医学部附属病院薬剤部)

松永民秀

「いわゆる「健康食品」と医薬品との併用に関わる安全性評価に関する研究」  
(東北薬科大学薬学部、千葉科学大学薬学部、信州大学医学部附属病院薬剤部)

松永民秀

「胚盤胞補完法による 100%サル肝臓を持つラットーサル異種動物間キメラの作出」  
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科、イナリサーチ)

松永民秀

「ヒト iPS 細胞の肝細胞及び胆管上皮細胞への分化と創薬研究への応用」  
(信州大学医学部附属病院薬剤部)

松永民秀

「医薬品開発のための副作用予測法・評価法の開発」  
(国立医薬品食品衛生研究所、田辺三菱製薬株式会社、小野薬品工業株式会社、九州大学大学院農学研究院、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)

松永民秀

「創薬研究における人由来初代細胞および幹細胞の利用円滑化に向けた研究」  
(国立成育医療研究センター、田辺三菱製薬株式会社、株式会社トランスパレント、東洋合成工業株式会社)

前田 徹、松永民秀

「糖原病 Ib 型の患者から樹立した疾患特異的ヒト人工多能性幹細胞 (iPS 細胞) を用いた疾患モデル細胞の構築と有用性の評価」  
(名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野、国立成育医療研究センター)

松永民秀

「ヒト iPS 細胞の肝細胞への分化と凍結保存に関する研究」  
(プライマリーセル、セーレン)

## 7 新聞報道等

## 「新聞報道等」

加藤 晃一

「岡崎の頭脳—自然科学研究機構の素顔」 分子科学研究所  
中日新聞、2011年11月30日

牧野 利明

東洋医学をもっと知ろう。医療現場でも広く使われている漢方  
中日新聞ショッパー南エリア版、2011年2月26日

牧野 利明

健康食品による肝機能障害  
健康食品情報誌 あるたな14号、2011年5月1日

牧野 利明

小林製薬、漢方薬「防風通聖散」の食事から摂取されるコレステロールの吸収抑制作用を確認  
日経プレスリリース、2011年9月22日

牧野 利明

メタボリックシンドローム：中高年の男性3人に1人が該当者および予備軍 4割以上がセルフケアを実施  
毎日新聞、2011年9月24日

牧野 利明

小林製薬 - 名古屋市立大学、漢方薬「防風通聖散」、抗肥満作用を解明  
化学工業日報、2011年9月28日

牧野 利明

小林製薬、漢方薬「防風通聖散」の食事から摂取されるコレステロールの吸収抑制作用を確認  
マイライフ手帳@ニュース、2011年10月3日

牧野 利明

小林製薬、防風通聖散の効果を発表  
石鹼日用品新報、2011年10月5日

牧野 利明

小林製薬、防風通聖散の研究成果発表～コレステロールの吸収抑制作用  
日本医療衛生新聞、2011年10月5日

牧野 利明

高まる“メタボ”への自覚率と愛書意識  
薬事日報、2011年10月5日

牧野 利明

防風通聖散が消化管上皮細胞へのコレステロールの取り込みを阻害

ドラッグトピックス、2011年10月10日

牧野 利明

多成分系生薬研究の最前線、薬理と臨床の強い連携で勧める漢方研究～第14回天然薬物研究方法論アカデミー

漢方医薬新聞、2011年10月15日

牧野 利明

薬局経営講義と製剤実習で育成研修

漢方医薬新聞、2011年12月1日

藤井 聡

血管障害の発症、進展に関与するマイクロRNAの解析

Medical Tribune Congress News Wave (URL: <http://site2.mtpro.jp/jpnsh/34/contents/>) 2011年10月24日

頭金 正博

【厚労省研究班】3剤の薬物動態に民族差見られずー同一条件で臨床試験

薬事日報、2011年11月2日

田中正彦

「運動上達タンパク質」働き解明

中日新聞 平成23年4月20日

## 8 進路および就職状況

## 平成 23 年度学部卒業者の進路

### 進路状況 (生命薬科学科)

	就職	進学	その他	未定	合計
男	2	25	0	0	27
女	0	11	0	0	11
合計	2	36	0	0	38

### 進路状況 (薬学科)

	就職	進学	その他	未定	合計
男	28	3	0	0	31
女	20	1	0	0	21
合計	48	4	0	0	52

### 学部卒業者就職先一覧(生命薬科学科)

産業及び職業分類	男	女	小計	市内	県内	県外
公務	2		2	1	1	
国家公務	1		1	1		
財務省 名古屋税関	1		1	1		
地方公務	1		1		1	
愛知県	1		1		1	
合計	2		2	1	1	

### 学部卒業者就職先一覧(薬学科)

産業及び職業分類	男	女	小計	市内	県内	県外
製造業	10	3	13	1		12
化学工業	8	2	10	1		9
トーアエイヨー株式会社	1		1			1
株式会社三和化学研究所	1		1	1		
株式会社TAT		1	1			1
興和株式会社	1		1			1
小林薬品工業株式会社	1		1			1
鳥居薬品株式会社	1		1			1
塩野義製薬株式会社	1		1			1
株式会社サンフコ	1		1			1
アステラス製薬株式会社		1	1			1
武田薬品工業株式会社	1		1			1
食料品		1	1			1
サントリーホールディングス株式会社		1	1		1	
学術・開発・研究	2		2			2
株式会社中外臨床研究センター	2		2			2
卸売・小売業	4	5	9	2		7
小売業	4	5	9	2		7
株式会社アインファーマシーズ	1		1			1
株式会社杏林堂薬局		1	1			1
株式会社ミック		1	1			1

有限会社ハート調剤薬局		1	1	1		
保健共同企画ふくい	1		1			1
株式会社スギヤマ薬品		1	1	1		
株式会社スギ薬局	1		1			1
株式会社キリン堂		1	1			1
株式会社 CFS コーポレーション	1		1			1
医療, 福祉	13	11	24	5	6	13
医療業	13	11	24	5	6	13
愛知県厚生農業協同組合連合会			1		1	
安城更生病院	1					
社会保険中京病院	1		1	1		
社会福祉法人聖隷福祉事業団		1	1			1
市立四日市病院		1	1			1
市立伊勢総合病院		1	1			1
藤田保健衛生大学病院		1	1		1	
豊橋市民病院	1		1		1	
名古屋第二赤十字病院		1	1	1		
名古屋大学医学部附属病院		1	1	1		
医療法人豊田会						
刈谷豊田総合病院	1		1		1	
埼玉医科大学病院	1		1			1
伊勢崎市民病院	1		1			1
京都第二赤十字病院		1	1			1
大阪市立大学医学部附属病院		1	1			1
名古屋第一赤十字病院		1	1	1		
愛知県(薬剤師)	1		1		1	
福山市(薬剤師)	1		1			1
名古屋市(保健衛生)		1	1	1		
東京都特別区 (江東区、保健衛生)	1		1			1
静岡市(薬剤師)	1		1			1
栃木県(薬剤師)	1		1			1
香川県(薬剤師)		1	1			1
豊橋市(薬剤師)	1		1		1	
大分県(薬剤師)	1		1			1
公務	1	1	2		1	1
国家公務	1		1			1
特許庁(特許審査官)	1		1			1
地方公務		1	1		1	
愛知県		1	1		1	
合計	28	20	48	8	7	33

## 平成 23 年度博士前期課程修了者の進路

### 進路状況

	就職	進学	その他	未定	合計
男	17	3	0	2	22
女	6	4	2	0	12
合計	23	7	2	2	34

### 博士前期課程修了者就職先一覧

産業及び職業分類	男	女	小計	市内	県内	県外
製造業	14	6	20	1		19
化学工業	14	6	20	1		19
塩野義製薬株式会社	4		4			4
富山化学工業株式会社	1		1			1
京都薬品工業株式会社	1	1	2			2
マルホ株式会社		1	1			1
松浦薬業株式会社	1		1	1		
興和株式会社	1		1			1
田辺三菱製薬株式会社	1		1			1
トーアエイヨー株式会社	1		1			1
大日本住友製薬株式会社	1		1			1
大正製薬株式会社	1		1			1
日医工株式会社		1	1			1
グラクソスミスクライン株式会社		1	1			1
日本たばこ産業株式会社		1	1			1
小野薬品工業株式会社		1	1			1
第一三共株式会社	1		1			1
久光製薬株式会社	1		1			1
学術・開発・研究	2		2			2
EPS株式会社	2		2			2
公務	1		1	1		
地方公務	1		1	1		
名古屋市	1		1	1		
合計	17	6	23	2		21

## 平成 23 年度博士後期課程修了者の進路

### 進路状況

	就職	進学	その他	未定	合計
男	8	0	1	0	9
女	2	0	1	0	3
合計	10	0	2	0	12



博士後期課程修了者就職先一覧

産業及び職業分類	男	女	小計	市内	県内	県外
製造業	2	2	4	1		3
化学工業	2	2	4	1		3
アステラス製薬株式会社		1	1			1
日本ロレアル株式会社	1		1			1
田辺三菱製薬株式会社	1		1			1
ホーユー株式会社		1	1	1		
公務	2		2			2
国家公務	1		1			1
厚生労働省	1		1			1
地方公務	1		1			1
三重県	1		1			1
学校教育	4		4	3		1
岐阜薬科大学(助教)	1		1			1
名古屋市立大学(助教)	1		1	1		
ポスドク (日本学術振興会特別研究員)	2		2	2		
合計	8	2	10	4		6

## 9 薬学部在籍者名簿

## 在籍者名簿

[2012年1月1日現在]

薬学研究科長・薬学部長：宮田 直樹（薬化学分野教授兼務）

副 研 究 科 長：平嶋 尚英（生体超分子システム解析学分野教授兼務）

副 研 究 科 長：小野 秀樹（中枢神経機能薬理学分野教授兼務）

分野名の後の（ ）内は学部学科目名に対応する。

創薬生命科学専攻

医薬化学講座

### 薬化学分野（薬化学）

教 授：宮田 直樹

准 教 授：中川 秀彦

客 員 教 授：鈴木 孝禎

大学院博士後期課程3年：池田 麻美子，菱川 和宏

大学院博士後期課程2年：家田 直弥

大学院博士前期課程2年：小笹 弘貴，粕谷 侑輝，河合 翔太，田中 裕子

大学院博士前期課程1年：會澤 和之，川合 洸大，小笠原 大介，後藤 仰

卒業研究生 6年：井原 将太，松原 拓也

卒業研究生 5年：平石 龍大，武藤 伸輔

卒業研究生 4年：澤田 英之，服部 弘，福島 直樹

卒業研究生 3年：薄井 佑奈，喜多村 佳委，真庭 大介

## 精密有機反応学分野（薬品製造化学）

教 授：樋口 恒彦  
准 教 授：梅澤 直樹  
助 教：加藤 信樹  
大学院博士後期課程2年：今村 優希  
大学院博士前期課程2年：北尾 考史，渡辺 二規  
大学院博士前期課程1年：稲垣 秀樹，白川 慶典  
卒業研究生 6年：松浦 秀敏，松下 直樹  
卒業研究生 5年：坂田 陽輔，中田 康敬  
卒業研究生 4年：天野 祐一，藤川 鷹王，高田 将史  
卒業研究生 3年：國枝 一輝，寶来 侑平，本間 紘次郎  
研 究 員：小林 由布子

## 薬品合成化学分野（薬品合成化学）

教 授：中村 精一  
准 教 授：近藤 和弘  
助 教：菊畷 孝太郎  
大学院博士後期課程1年：赤堀 禎紘  
大学院博士前期課程1年：坂崎 美香，松井 清美  
卒業研究生 6年：佐野 亜由美，古川 崇  
卒業研究生 5年：古田 愛果  
卒業研究生 4年：沖塚 翔太，鈴木 恵介，中西 知弘，本田 清高  
研 究 生：戸井田 明憲（北海道大学）

## 機能分子構造学分野（物理分析化学）

准 教 授：池田 慎一  
講 師：白井 直洋

大学院博士後期課程3年：安部（鈴木） 賀央里

卒業研究生 6年：山田 健司

卒業研究生 5年：森 みな美

卒業研究生 4年：森田 有香，平野 忍

卒業研究生 3年：長縄 遼太郎

生命分子薬学講座

### 生体超分子システム解析学分野（薬品分析化学）

教授：平嶋 尚英

准 教授：田中 正彦

助 教：田所 哲

客 員 准 教 授：古野 忠秀（愛知学院大学）

大学院博士後期課程3年：田原 耕平

大学院博士前期課程2年：大橋 令

大学院博士前期課程1年：亀川 沙知，堀江 侑季

卒業研究生 6年：石川 万里子，児玉 卓也，西本 綾

卒業研究生 5年：笹野 綾乃，西川 心，原田 広翔

卒業研究生 4年：田中 順一，宮地 克真，大橋 一輝，近藤 裕太，  
日下部 美帆，三浦 愛美

卒業研究生 3年：中野 勝真，藤田 真弥，望月 雄司

研 究 員：伊納 義和（愛知学院大学），井上 悠，  
野村 英宏（名古屋大学医学部附属病院）

### コロイド高分子物性学（薬品物理化学）

教授：山中 淳平

准 教授：奥菌 透

助 教：豊玉 彰子

大学院博士後期課程3年：吉澤 幸樹

大学院博士前期課程2年：小森 和紀，菅生 行紘，谷地 知大  
大学院博士前期課程1年：村門 愛  
卒業研究生6年：鈴木 美紗記，中村 友紀，成瀬 愛子  
卒業研究生5年：伊藤 昌美，土本 高嗣，野村 茉由  
卒業研究生4年：佐藤 雄一，増田 竜大，藤原 ゆかり  
卒業研究生3年：松田 あゆみ  
研 究 員：今井 宏起（富士化学株式会社），  
今井 佐和子（富士化学株式会社），  
堀井 晴奈（富士化学株式会社）

### 生命分子構造学分野（薬品製造工学）

特 任 教 授：加藤 晃一  
准 教 授：佐藤 匡史  
助 教：矢木 宏和  
特 任 助 教：廣本 武史  
客 員 教 授：山口 芳樹  
大学院博士後期課程2年：西尾 美穂（日本学術振興会特別研究員）  
大学院博士前期課程2年：宇野 剛，山本 さよこ  
大学院博士前期課程1年：大川 慶輔  
卒業研究生6年：雲井 健太郎，大道 好恵  
卒業研究生5年：大鹿 高史，齋藤 拓也  
卒業研究生4年：稲垣 宏弥，野田 隆一郎  
卒業研究生3年：鈴木 康介  
研 究 員：栗本 英治（名城大学）  
水島 恒裕，高木 賢治（兵庫県立大学）  
植草 義徳，神谷 由紀子，矢木 真穂，山口 拓実  
（岡崎統合バイオサイエンスセンター）  
坂田 絵理（東京都臨床医学総合研究所）  
近藤 幸子，竹内 英明，矢部 宇一郎（グライエンス）  
千田 紀代美，服部 久美子，平松 佳永

## 分子生物薬学分野（微生物薬品学）

教授：今川 正良

准 教授：長田 茂宏

講師：西塚 誠

大学院博士後期課程3年：林 孝弘，岸本 圭史

大学院博士前期課程2年：伊佐 憲吾，有江 瑞洋，落合 なつき

大学院博士前期課程1年：加藤 大輝

卒業 研究生 6 年：中山 裕介，野木森 雅人，山田 博久

卒業 研究生 5 年：桐村 拓也，新海 大智，若林 まい

卒業 研究生 4 年：田村 律人，舟木 ゆかり，栗津 輝彦，新美 有希，  
長谷川 郁恵，堀之内 渉

卒業 研究生 3 年：神谷 光，佐藤 友亮，芝田 裕一

## 薬物送達学分野（薬物送達学）

教授：尾関 哲也

特 任 講師：田上 辰秋

大学院博士後期課程2年：尾形 哲夫，野田 剛弘

大学院博士前期課程2年：福重 香

大学院博士前期課程1年：伊藤 竜也，水迫 英己

卒業 研究生 6 年：伊藤 涼平，照喜名 考之，西尾 碧

卒業 研究生 5 年：亀谷 晋央，羽倉 丈史

卒業 研究生 4 年：今尾 ゆき乃，上原 一彰，後藤 薫，柳井 浩志  
高橋 朋弘，久保田 雅仁

卒業 研究生 3 年：竹内 堂朗，三間 健裕，駄栗毛 美緒

## 構造薬学分野（放射薬品学）

講師：黒田 良孝

## 医療機能薬学専攻

### 医療分子機能薬学講座

#### 生薬学分野（生薬学）

教授：水上 元

准 教 授：牧野 利明

助 教：寺坂 和祥

客 員 教 授：小野 孝彦

大学院博士後期課程3年：林 克弘，永利 麻衣，白 帆

大学院博士後期課程2年： 1 名

大学院博士後期課程1年；趙 伯陽

大学院博士前期課程2年：島戸 陽太，梶田 梨恵

大学院博士前期課程1年：浅田 圭祐，春日谷友英，吉田 貴光，高 勝莉

卒業 研 究 生 6 年：鬼頭 宏和，酒井 玲

卒業 研 究 生 5 年：小杉 加奈，山田 容子，犬飼 竜徳，田代 雄祐，  
杉 真由子，堀場亜佐子

卒業 研 究 生 4 年：鮎川美奈子，立岩 千佳，山本 彩乃，横山 尚美  
城 しおり，田中 和貴，南 安依里

卒業 研 究 生 3 年：篠田祐布香，鈴木 俊章，全 智揚

研 究 員：井上 誠，永津 明人，大野 高政，田邊 宏樹，  
安井 敏洋，加藤 哲夫，山下 弘高，呉 春珍，  
塚本 恒星，角谷 盛夫

#### 生体防御機能学分野（衛生化学）

教授：小野寄 菊夫

准 教 授：瀧井 猛将

講 師：伊藤 佐生智

大学院博士前期課程2年：谷口 恵一，横山 領介



大学院博士前期課程1年：足達 実季，長谷川 倫宏  
卒業研究生 6年：須田 早紀，山岡 奈津子，山田 恭平，李 祐司  
卒業研究生 5年：花村 菜月，林 亜季，村瀬 千鶴子  
卒業研究生 4年：小川 翔大，竹野 聖史，花井 朱璃，奥村 拓也，  
筑比地 慧，寺本 真弓，宮田 江里香  
卒業研究生 3年：宮竹 佑治

### 遺伝情報学分野（生物薬品化学）

教 授：星野 真一  
准 教 授：藤井 陽一  
講 師：細田 直  
大学院博士後期課程2年：岡本 淳志，尾上 耕一，山岸 良多  
大学院博士後期課程1年：橋本 芳史  
大学院博士前期課程2年：成瀬 貴文  
大学院博士前期課程1年：北川 聖巳，杉山 遥，田中 麻記子  
卒業研究生 6年：市川 史，前畑 高明，村上 仁志  
卒業研究生 5年：三瓶 祥子，木村 悠平，光永 紘子  
卒業研究生 4年：木寺 絵美，前川 彩乃，脇田 恵里，門屋 恵理，  
津坂 剛史，富田 一範  
研 究 員：山本 肇

### 細胞分子薬効解析学分野（薬品作用学）

教 授：今泉 祐治  
准 教 授：大矢 進  
講 師：山村 寿男  
客 員 教 授：村木 克彦（愛知学院大学）  
大学院博士後期課程3年：丹羽 里実  
大学院博士後期課程2年：鈴木 良明，藤井 将人  
大学院博士後期課程1年：大城 隼也，鬼頭 宏彰

大学院博士前期課程 2 年：木下 智仁，丸山 史登  
大学院博士前期課程 1 年：伊奈山 宗典，清田 恵子，高橋 瀬奈  
卒業 研 究 生 6 年：福与 由香，堀場 さゆり  
卒業 研 究 生 5 年：足立 大和  
卒業 研 究 生 4 年：梅田 俊太郎，大羽 輝弥，松木 克仁，近藤 るびい，  
服部 美波，松井 未来  
卒業 研 究 生 3 年：栗田 卓，西村 歌織，林 恵介

## 病態生化学分野

教 授：服部 光治  
助 教：河野 孝夫  
大学院博士前期課程 2 年：木谷 友次郎，田頭 大志  
大学院博士前期課程 1 年：鈴木 友美子，鄧 夢妍，中村 晃太  
卒業 研 究 生 6 年：杉江 真梨子，土屋 綾香，水谷 健二，佐々木 一友  
卒業 研 究 生 5 年：鯉江 真理，松丸 沙織，山本 恭平  
卒業 研 究 生 4 年：尾上 文，水上 智晴，森下 駿介，久永 有紗，  
村上 達郎，本間 夏美  
卒業 研 究 生 3 年：梅田 健太郎，小林 大地，牧野 誠

## 医療薬学講座

### 薬物動態制御学分野（薬剤学）

教 授：湯浅 博昭  
准 教 授：井上 勝央  
助 教：太田 欣哉  
大学院博士後期課程 3 年：片野 貴大，古宮 舞，保嶋 智也  
大学院博士後期課程 2 年：石丸 宗徳  
大学院博士前期課程 2 年：大久保 雅彦，西嶋 千尋，林 里佳  
大学院博士前期課程 1 年：竹原 一成，古川 純士

卒業研究生 6 年：江藤 友哉，岸 英弘，小林 宏将  
卒業研究生 5 年：青木 那佳，平賀 由佳，横岩 沙耶  
卒業研究生 4 年：伊藤 悠子，稲岡 枝梨菜，田島 健太郎，  
為平 翔太，福井 佑実，三村 佳久，宗重 克  
卒業研究生 3 年：石山 高範，山城 貴弘，山田 知美  
研 究 員：石黒 雅江（早蕨会福祉村病院），井上 健（海南病院），  
大野 春香（金城学院大学），  
川出 義浩（名古屋第二赤十字病院），  
近藤 徹（小野薬品工業株式会社），佐野 直也（名古屋市），  
鈴木 成樹（マルコ製薬株式会社）

### 病態解析学分野（製剤学）

教 授：藤井 聡  
准 教 授：樫本 紀夫  
助 教：岩城 壮一郎  
客 員 准 教 授：野田 康弘（金城学院大学）  
大学院博士後期課程 1 年：伊藤 史織  
大学院博士前期課程 2 年：智谷 尊史  
卒業研究生 6 年：近藤 理恵，山村 周平，湯田 雄一郎  
卒業研究生 5 年：真川 明将，傍島 悠，渡邊 和哉  
卒業研究生 4 年：長崎 彩子，齊藤 美加  
卒業研究生 3 年：甲神 知紗登，長谷川 諒  
研 究 員：小泉 恵子（名古屋大学），隅田 師玄（東邦薬品）

### 医薬品代謝解析学分野（医薬品代謝学）

教 授：林 秀敏  
講 師：井上 靖道  
助 教：伊藤 友香  
大学院博士後期課程 2 年：坂井 勇斗

大学院博士後期課程1年：岩井 俊樹，西川 佐紀子

大学院博士前期課程2年：王 暁慧，野口 祐美子，宮嶋 ちはる，樂 怡

大学院博士前期課程1年：石井 陽子，加藤 直樹

卒業研究生 6年：岡山 敦子，杉山 和弥，森本 真宗

卒業研究生 5年：川井 麻友美，久保 知紗希，戸田 洋平，吉井 由比子

卒業研究生 4年：永尾 優始，川原田 祐貴，鈴木 美沙紀，西尾 愛梨紗，  
松平 厚蔵

卒業研究生 3年：澤中 美希，野原 匠，宮田 和弥

研究員：吉田 康子（名古屋大学），中田 佳宏

### 中枢神経機能薬理学分野（薬物治療学）

教授：小野 秀樹

准教授：大澤 匡弘

助教：山本 昇平

大学院博士前期課程2年：大竹 沙紀，倉岡 聖哉，柵木 悠

大学院博士前期課程1年：鈴木 悠馬

卒業研究生 6年：岩嶋 優依，竹渕 直希，藤澤 佳史

卒業研究生 5年：加藤 篤博，茶藪 かおり，中村 梨余

卒業研究生 4年：池原 繁之，井上 昇，勝 弘毅，讃井 しおり，  
橋本 裕一，加藤 康浩，長岡 優也，森 優作

卒業研究生 3年：村上 友康

### 医薬品安全性評価学分野

教授：頭金 正博

卒業研究生 4年：渡邊 崇，岡田 佑輔

卒業研究生 3年：中野 駿，山田 健人

研究員：萩原 宏美

## 病院薬剂学

教 授：木村 和哲  
教 授：黒野 幸久  
講 師：前田 康博  
助 教：内藤 敏子  
特 任 助 教：大野 雅恵  
大学院博士後期課程3年：堀田 祐志  
大学院博士後期課程2年：塩田 有史  
大学院博士後期課程1年：片岡 智哉，山本 清司，高木 三千代  
大学院博士前期課程1年：那須 徹也  
卒業研究生 6年：縣 優介，石田 曜子，高畑 裕，南條 晶子  
卒業研究生 5年：小川 修平，小田 晴香，加藤 あゆみ，久野 亜耶奈，  
服部 由香  
卒業研究生 4年：後藤 佳奈，本間 崇正，山本 侑佳，渡辺 美里

## 臨床薬学分野（臨床薬学教育研究センター）

教 授：松永 民秀  
教 授：鈴木 匡  
講 師：前田 徹  
講 師：菊池 千草  
助 教：岩尾 岳洋  
客 員 教 授：神村 秀隆（積水メディカル株）  
大学院博士後期課程1年：近藤 祐樹，佐藤 大介  
卒業研究生 6年：加藤 真梨，林 弥穂，張本 伸彦  
卒業研究生 6年：牛田 英里，永味 千絵，三森 佳代，吉橋 幸美，  
渡辺 陽子  
卒業研究生 4年：新原 浩太，杉山 留理，外ノ池 文乃，松村 千穂  
客 員 研 究 員：中村 克徳（信州大学医学部附属病院）  
研 究 員：堀 英生（笠寺病院），片木 淳（小野薬品工業株）

## 東海臨床薬学教育連携センター

教 授：黒野 幸久（病院薬学分野教授兼務）  
特 任 薬 剤 師：菅谷 真紀

## 施設・事務・図書

### 総合機器分析施設

衛 生 技 師：加藤 節子，岩澤 加奈

### 薬学部事務室

事 務 長：竹本 浩一  
学 務 係 長：黒野 正裕  
主 事：内木 篤，山田 治夫  
業 務 士：山田 俊也  
事 務 系 職 員：森長 広樹，堀田 佑以子  
再 雇 用 職 員：水野 久美子

### 総合情報センター田辺通分館-薬学部

分 館 長：湯浅 博昭（薬物動態制御学分野教授兼務）  
司 書：政谷 浩子，佐藤 由季

## 教職員の異動（2011年1月1日～2011年12月31日）

### 教員

退 職：水島 恒裕 准教授（兵庫県立大学（教授）へ，2011年3月31日）  
岡田 浩美 特任助教（2011年3月31日）  
恩田 佐智子 特任助教（2011年3月31日）  
酒井 聡 特任助教（新潟薬科大学薬学部（助教）へ，2011年3月31日）  
辰巳 泰我 特任助教（2011年3月31日）

鈴木 孝禎 講師（京都府立医科大学医学部（教授）へ，2011年8月31日）

採用：井上 靖道 講師（2011年2月1日）

菊嶋 孝太郎 助教（2011年2月1日）

頭金 正博 教授（2011年4月1日）

佐藤 匡史 准教授（2011年4月1日）

田上 辰秋 特任講師（2011年4月1日）

#### 職員

退職：奥村 明子（事務系職員）（2011年1月31日）

佐藤 比早子（事務系職員）（2011年3月31日）

中山 裕子（事務系職員）（2011年11月30日）

採用：森長 広樹（事務系職員）（2011年4月1日）